

**ボリビア多民族国**  
**持続的農村開発のための実施体制整備計画**  
**フェーズ2**  
**終了時評価報告書**

平成 26 年 3 月  
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構  
農村開発部

農村
J R
14-115

**ボリビア多民族国**  
**持続的農村開発のための実施体制整備計画**  
**フェーズ2**  
**終了時評価報告書**

平成 26 年 3 月  
(2014 年)

**独立行政法人国際協力機構**  
**農村開発部**

## 序 文

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、ボリビア多民族国政府の要請を受けて、技術協力プロジェクト「持続的農村開発のための実施体制整備計画フェーズ2」を2009年5月21日から2014年5月20日まで実施しました。

2013年11月14日から12月7日まで、当機構農村開発部畑作地帯課課長・加藤憲一を総括とする終了時評価調査団を現地に派遣し、協力期間中の実績の確認、計画に対する達成度の検証、及び本協力の実施による教訓の取りまとめを行いました。その結果、プロジェクトはおおむね順調に進捗し、プロジェクト終了までに所期の成果をほぼ達成できる見込みが高いと判断されました。

本報告書は、同調査団による調査・評価結果を取りまとめたものであり、本プロジェクトの今後の運営並びに関連する国際協力の推進に広く活用されることを期待します。

ここに、本調査にご協力いただいた内外の関係各位に対し、心から感謝の意を表します。

平成26年3月

独立行政法人国際協力機構  
農村開発部長 熊代 輝義

# 目 次

序 文  
目 次  
位置図  
現地写真  
略語表

評価調査結果要約表（和文・英文）

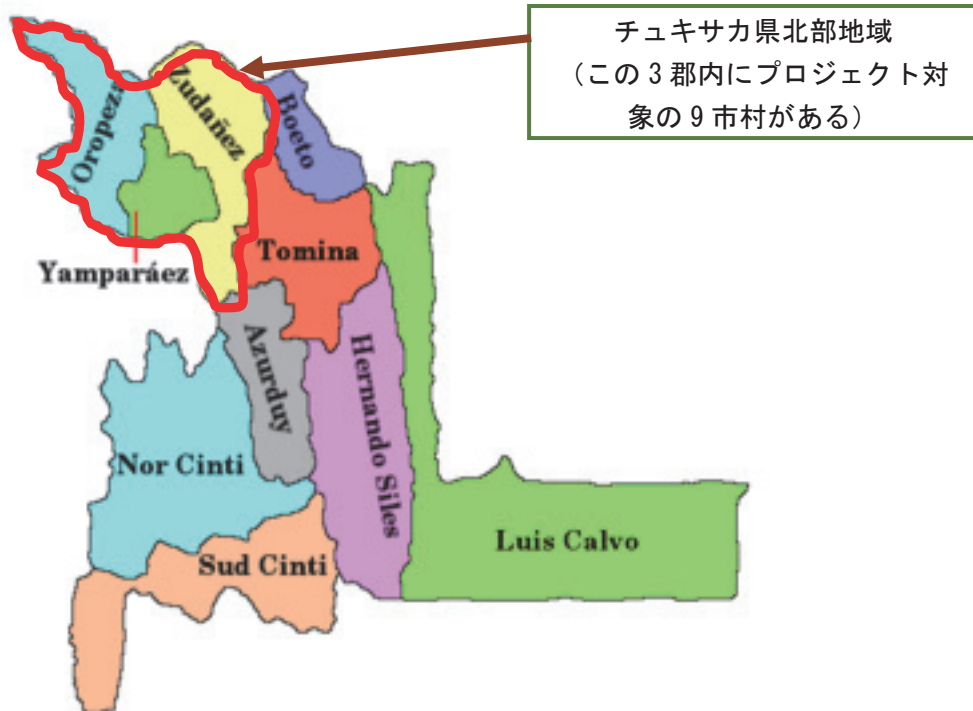
第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-1-1 プロジェクト実施の背景	1
1-1-2 調査の目的	1
1-2 調査団の構成と調査期間	2
1-2-1 調査団の構成	2
1-2-2 調査日程	2
1-3 プロジェクトの概要	2
第2章 終了時評価調査の方法	6
2-1 主な調査項目	6
2-2 データ収集・分析方法	6
2-3 評価調査の制約・限界	6
第3章 プロジェクトの実績及び実施プロセス	7
3-1 投入実績	7
3-1-1 日本側	7
3-1-2 ボリビア側	7
3-2 成果達成状況	8
3-2-1 成果1	8
3-2-2 成果2	12
3-2-3 成果3	14
3-2-4 成果4	15
3-3 プロジェクト目標達成状況	15
3-3-1 本プロジェクトにおける用語の定義	15
3-3-2 プロジェクト目標の達成見込み	15
3-4 実施プロセスにおける特記事項	16
第4章 評価結果	17
4-1 妥当性	17

4-2	有効性	18
4-3	効率性	18
4-4	インパクト	19
4-5	持続性	20
4-6	結論	21
第5章 提言と教訓		22
5-1	提言	22
5-2	教訓	22
付属資料		
1.	評価報告書（スペイン語）	25

# 位置图







## 現地写真



ハウスによるカーネーション栽培



女性グループによる編み物



JICA 展示圃場（左）と対比圃場（右）



果樹の苗木栽培



テラスでのトマト栽培



果樹の点滴灌漑



品種改良されたヤギ



ヤギのチーズ



## 略 語 表

略語	スペイン語・英語名称	日本語名称
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAC	Development Assistance Committee	開発援助委員会
GIS	Geographic Information System	地理情報システム
GNI	Gross National Income	国民総所得
GPS	Global Positioning System	全地球測位システム
INE	Instituto Nacional de Estadística de Bolivia	ボリビア国家統計局
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
M/M	Minutes of the Meeting	ミニッツ（協議議事録）
PDC	Plan Desarrollo Comunal	集落開発計画
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PEC	Plan Estratégico Comunal	集落戦略計画
PMC	Plan Maestro Comunal	集落マスタープラン
PO	Plan of Operation	活動計画表
POA	Plan de Operación Anual	年間活動計画
R/D	Record of Discussions	討議議事録
SFX 大学	Universidad Mayor, Real y Pontifica de San Francisco Xavier de Chuquisaca	サンフランシスコ・ハビエル大学
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
VIPFE	Ministerio de Planificacion y Desarrollo	開発企画省

## 評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ボリビア多民族国	案件名：持続的農村開発のための実施体制整備計画 フェーズ2
分野：農業開発・農村開発 - 農村開発	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：農村開発部	協力金額：3.8 億円
協力期間	(R/D)：2009 年 5 月 22 日～ 2014 年 5 月 21 日
	(延長)：なし
	(F/U)：なし
	先方関係機関：サンフランシスコ・サビエル大学、チュキサカ県庁、対象 9 市村
	日本側協力機関：なし
	他の関連協力：なし
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>ボリビア多民族国（以下、「ボリビア」と記す）チュキサカ県北部地域は、貧困率 92.5%、極貧率 87.8%（2001 年人口センサス）と同国内で最も貧困割合が高い地域のひとつである。同地域では大規模な土壌侵食や水資源枯渇による耕作適地の減少や農地の生産性低下が生じており、自給的な農牧業を営む農民の生活は困窮していた。</p> <p>このような状況に技術的な改善策を示すため、わが国政府は 1999 年から 2003 年までチュキサカ県において「農地・土壌侵食防止対策実証調査」を行い、その成果を農村開発計画及び土壌侵食防止手法としてまとめた。同調査では技術的な指針が示されたが、その成果を用いて開発事業を推進する体制確立が課題として残された。</p> <p>この課題を解決するため、ボリビア国政府の要請を受けて、JICA は技術協力プロジェクト「持続的農村開発のための実施体制整備計画」（フェーズ 1 に相当）をサンフランシスコ・ハビエル大学（以下、「SFX 大学」と記す）、チュキサカ県庁及び対象地域の 4 村役場をカウンターパート（C/P）機関として 2006 年 1 月から 2008 年 1 月までの 2 年間実施した。同プロジェクトでは、4 市村の 8 集落における開発計画の策定、農村開発に係る人材育成、開発資金源に関する調査がなされた。</p> <p>ボリビア政府の更なる要請に基づき、対象をチュキサカ県北部の 9 市村（36 集落）に拡大し、2009 年 5 月から 2014 年 5 月までの 5 年間の予定で技術協力プロジェクト「持続的農村開発のための実施体制整備計画フェーズ 2」（以下、「プロジェクト」と記す）を実施した。フェーズ 2 は、フェーズ 1 の成果を踏まえて農村開発の計画から実施までのプロセスをボリビアにおける「自然資源の回復と保全を軸とした住民主体の農村開発モデル」として確立させ、持続的な農村開発実施体制を構築することをめざしたものである。</p>	
<p>1-2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標： <u>チュキサカ県内に農村開発モデルが普及し、小農の生活水準が改善される。</u></p> <p>(2) プロジェクト目標： <u>チュキサカ県北部地域における農村開発事業の実施を通じ、農村開発モデルと実施体制が確立される。</u></p>	

(3) 成果

1. 集落と市村（実施機関）、県庁と大学（支援機関）に農村開発事業の中核人材が養成される。
2. 集落開発計画に基づいた農村開発事業の実施を通じて、農村開発事業の計画から実施までのプロセスがモデル化される。
3. 市村、県及び SFX 大学により、総合農村開発事業実施のための内部及び外部の開発資金が調達される。
4. 市村、県及び SFX 大学により、チュキサカ県北部地域の総合農村開発の方向づけを行うための調整委員会が適切に運営される。

(4) 投入（評価時点）

日本側：総投入額	3.8 億円
長期専門家派遣	3 名
短期専門家派遣	4 名
機材供与	1,680,406.44 ポリビアーノ（約 2,800 万円）
ローカルコスト負担	5,487,665.84 ポリビアーノ（約 9,500 万円）
研修員受入	11 名

相手国側：

カウンターパート配置	27 名（延べ人数）
土地・施設提供	

2. 評価調査団の概要

調査者	(1) 総括	加藤 憲一	JICA 農村開発部 畑作地帯課課長
	(2) 農村開発	久保 仁	農林水産省 近畿農政局 整備部整備課 事業調整室長
	(3) 計画管理	村上 亮介	JICA 農村開発部 畑作地帯課
	(4) 評価分析	望月 昭宏	株式会社アイコンズ
	(5) 通訳	大滝 節子	一般財団法人日本国際協力センター
調査期間	2013 年年 11 月 14 日～12 月 7 日(24 日間) (総括、農村開発、計画管理、通訳団員は 11 月 23 日本邦出発、15 日間)		評価種類：終了時評価

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果の達成度

成果 1：集落と市村（実施機関）、県庁と大学（支援機関）に農村開発事業の中核人材が養成される。

指標 1-1：10 名の大学教員、8 名の県の技術者、9 名の市村の普及員、9 名の市村の計画担当者及び各集落の住民リーダーが、それぞれ育成されている。

指標 1-2：研修実施結果を反映した研修教材・カリキュラムが整備されている。

指標 1-3：SFX 大学で設立を予定している研究・普及・人材育成を担当する部署において、技術者研修年 1 回、農民研修年 2 回程度実施される。

指標 1-1、1-3 は達成された。指標 1-2 は部分的に達成された。よって成果 1 はほぼ達成された。

指標 1-1 に関して、目標値として養成すべき指導者の人数が各関係機関で目標値に達していることが確認された。

指標 1-2 は研修結果を反映した研修教材が整備されていることが確認された。カリキュラムについては SFX 大学の「農村開発センター」の活動内容に合わせて今後作成される予定であり、プロジェクト期間中に整備される見込みは低い。

指標 1-3 はプロジェクト期間中（5 年間）に技術者研修が 24 回、農民研修が 211 回実施された。

成果 2：集落開発計画に基づいた農村開発事業の実施を通じて、農村開発事業の計画から実施までのプロセスがモデル化される。

指標 2-1：対象 9 市村の 36 集落がそれぞれ集落開発計画を有する。

指標 2-2：個々のミニプロジェクト及びパイロットプロジェクトのモニタリング・評価結果に基づき、自然資源保全・生活向上のために活用可能な技術リストが整理されている。

指標 2-3：総合農村開発事業の参加型の計画策定、実施、モニタリング及び評価の手法が開発事業のサイクルとしてまとめられている。

指標 2-1 はほぼ達成された。指標 2-2、2-3 はプロジェクト期間中の達成見込みが高い。よって成果 2 はプロジェクト期間中にほぼ達成される見込みである。

成果 3：市村、県及び SFX 大学により、総合農村開発事業実施のための内部及び外部の開発資金が調達される。

指標 3-1：資金調達手続きがまとめられている。

指標 3-2：普及員や市村の計画担当者、県及び SFX 大学の担当者が各種資金申請手続きを理解している。

指標 3-3：対象 36 集落において総合農村開発事業の資金調達のために、適切な申請書類が作成されている。

指標 3-4：9 市村の対象 36 集落において調達された資金が活用されている。

指標 3-1、3-2、3-3、3-4 とともに達成された。よって成果 3 は達成された。

指標 3-1 は資金調達手続きマニュアルが完成していることが確認された。

指標 3-2、3-3、3-4 については 20 回に及ぶ説明会・作成指導が実施され、関係各機関の担当者が各種資金申請手続きを理解し、資金調達のための適切な申請書類が作成し、調達された資金が活用されていることが確認された。

成果 4：市村、県及び SFX 大学により、チュキサカ県北部地域の総合農村開発の方向づけを行うための調整委員会が適切に運営される。

指標 4-1：チュキサカ県北部の総合農村開発に取り組むための調整委員会が設置され、その中で、市村、県及び SFX 大学の役割分担が合意される。

指標 4-2：調整委員会が、総合農村開発の活動を協議・調整するために定期的に開催さ



れている。

先方実施機関間の政治的対立により、調整委員会によらず、それぞれの役割を明確にしたうえで、持続的総合農村開発事業を実施するのが適当との結果に至った。そのため、指標 4-1、指標 4-2 の達成は困難になったが、実質的には組織体制は整備され、成果 4 は達成された。

## (2) プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標：チュキサカ県北部地域における農村開発事業の実施を通じ、農村開発モデルと実施体制が確立される。

指標 1：農村開発モデルとして提示できる優良事例が各市村で 1 件以上実施されている。

指標 2：県、SFX 大学及び各市村に農村開発モデルの実施に必要な人員が配置されている。

指標 3：SFX 大学農学部で総合農村開発事業を支援する研究・普及・人材育成を担当する部署が設置され、必要な人員が配置されている。

指標 1 は達成された。指標 2、指標 3 についてはほぼ達成された。よってプロジェクト目標はほぼ達成された。

SFX 大学は総合農村開発事業を支援する部署の設置、人員配置ともに大学の方針として決定し、部署の体制構築や人員選定もほぼ完了している。以上より、プロジェクトの残り期間内においてプロジェクト目標は達成可能とみられる。

## 3-2 評価結果の要約

### (1) 妥当性：高い

#### 1) 対象地域・社会のニーズとの整合性

チュキサカ県は一部を除いて標高 4,000m 以上の高地であり、貧困率 90% 以上と、ボリビア国で最も貧困割合が高い地域のひとつである。同地域では、渓谷地帯の限られた耕作適地において収奪的な農業が行われてきた結果、土壌侵食や水資源の枯渇が進行し、耕作適地の減少や農地の生産性低下が起きており、同地住民の生活は困窮している。伝統的な農牧生産物の生産向上による食糧生産増加とともに、他の収入源創出を通じた生計向上も必要とされている。本プロジェクトは、自然資源の回復と保全、農牧業開発、社会開発といった総合的農村開発を通じて、農村住民の食糧生産増加や収入源創出等を図り、農村住民の生活の質の向上に寄与しようとするものであり、現地のニーズに合致している。

#### 2) ボリビア国政府の開発政策との整合性

国家開発計画（2006～2011 年）のあとを受けて発表された国家アジェンダ 2025 においても食糧の生産性向上が掲げられている。農村開発土地省の農牧セクター開発計画（2011～2015 年）では食糧安全と食糧主権をめざした農村開発を目的に掲げ、8 つの政策を示している。その政策には、食糧安全と食糧主権のための農牧生産、生産的な農牧開発、収入創出と持続性のある農牧生産物余剰、灌漑水へのアクセスが含まれている。本プロジェクトは、総合農村開発を通じて農村住民の生活の質の向上に寄与する目的を有することから、ボリビア国政府の政策に合致しているといえる。

### 3) 日本政府の支援方針との整合性

日本政府は、対ボリビア国別援助計画（2009年4月）の中で、「貧困削減のための社会開発支援」及び「持続的経済成長のための支援」を支援の柱としている。また対ボリビア国別援助方針（2012年6月）の中で、「地方開発等を通じた生産力向上」は重点分野となっており、農業生産性の向上は貧困削減の観点から重視されている。したがって、農村住民の生活水準の向上をめざす本プロジェクトは、日本政府の援助方針と合致している。

### 4) プロジェクトアプローチの妥当性

本プロジェクトの対象地域はボリビア側が選定を行った。選定地域は都市部周辺に位置し、水、電気といった各種基本インフラが整備されておらず、極貧層が居住している地域である。傾斜地が多く土壌侵食が生じやすい地域であり、また年間雨量も少ないチュキサカ県北部地域において、自然資源の回復・保全（持続的な土壌、水、植生の管理）を基礎としつつ、農牧業生産向上や収入源の創出といった活動を通じて、持続的な農村開発を進めるものであり、プロジェクトのアプローチは妥当性がある。

## (2) 有効性：やや高い

### 1) プロジェクト目標達成見込み

成果1と成果2と成果3について、当初の予定していた成果はほぼ達成された。一方、成果4については、2012年7月頃よりチュキサカ県庁とSFX大学の政治的対立から県庁がSFX大学の活動と距離を置くこととなり、調整委員会の運営は困難となった。調整委員会が開催されなくなったことにより、県が負担していた予算分の減少、あるいは一部市村との協働体制にも支障が生じ、プロジェクトの円滑な運営に一部支障を来した。

実施機関の連携に障害は生じたが、プロジェクト後半では、各実施機関がそれぞれの強みを生かし、独立して事業を運営する体制に整理したことで、全プロジェクト実施期間を通じて農村開発事業は実施されてきた。当初想定していた複数の実施機関が有機的に機能する体制ではないが、それぞれの実施機関が独自の力で事業を実施できる体制は構築されたといえる。またこれらの農村開発事業をもとに、プロジェクトで技術リストや参加型事業の実施方法が取りまとめられ、農村開発モデルが確立された。以上より、プロジェクト目標はおおむね達成したと解釈できる。

### 2) 成果とプロジェクト目標の関係

政治的な外部要因により、当初想定された成果からプロジェクト目標へつながる流れとはならなかったが、もともとの成果とプロジェクト目標の関係性に特段問題はなかったと判断する。

## (3) 効率性：高い

プロジェクト活動全般の進捗については、おおむね順調で成果を上げつつあり、本プロジェクトの効率性は、満足できる水準であると判断される。

### 1) プロジェクトの運営管理について

既述のとおり、政治的対立により2012年7月以降、調整委員会が開催されなくなり関係機関間、特に市村との調整は必ずしも十分ではなかった。

現在、チュキサカ県においては県庁が主導的に実施する農村開発事業と、大学が主導的に実施する農村開発事業が併存している。本来、大学、県庁ともに同一プロジェクト

の実施団体であったので、残りのプロジェクト期間を円滑に実施するために、市村、裨益者が混乱しないよう留意してプロジェクトを実施していくことが求められる。

#### 2) 日本側投入について

日本側の投入（専門家、本邦研修、第三国研修、機材供与、現地業務費）は、プロジェクト活動を進めるためにおおむね適切なものであり、プロジェクト活動の効率的実施に用いられた。なお、これまでに実施されているボリビア国内や第三国での技術や経験の交換交流は、C/P 並びに農民の能力強化の効果が高いと判断される。

#### 3) ボリビア側投入について

2013年11月時点で、計27人のC/Pが配置されている。内訳は、SFX大学が11人、プロジェクト対象地域の市村が16人である。なお、チュキサカ県庁については政治的対立後、C/Pの位置づけがあいまいになったため、C/P人数としてはカウントしていない。

ボリビア側関係機関は、それぞれプロジェクト活動に対して予算支出をしており、プロジェクト活動推進に寄与している。今後も、プロジェクト活動への資金的投入が継続され、プロジェクト活動の効率的で円滑な実施が継続することが期待される。

### (4) インパクト：高い

#### 1) 上位目標達成の見込み

個別農家レベルでは、上位目標達成につながるインパクトが確認されている。ボリビア側が持続的、効果的に農村開発モデルを普及させることで、これらのインパクトが面的に広がって上位目標達成にいたる見込みは十分にある。

#### 2) その他

チュキサカ県北部地域では、土壌流出により土壌生産性が低下し、さらに灌漑施設が未整備のため安定的な農業生産が行えず、出稼ぎ人口の増加や当該地域からの人口流出が起きていた。その中で、プロジェクトにより灌漑設備が整備され、土壌状態や水資源を考慮した持続的な農業モデルが構築されたことは、プロジェクト対象集落の人口流出を防ぐことにつながっている。このことは一部地域において、女性の集落活動の活性化や学童の登校率の向上につながっており、正のインパクトといえる。

### (5) 持続性：高い

#### 1) 政策面

政策面では、国家開発計画、国家アジェンダ2025などの農村開発計画において国家レベル、県レベルにわたり食糧生産や自然資源・環境保全を計画として打ち出しており、本プロジェクトの成果を持続的に活用することが見込まれる。

#### 2) 組織面

組織面では、SFX大学、チュキサカ県庁とも組織として農村開発を推進しており、プロジェクト終了後もこの体制は維持される見込みである。なお、大学においては本プロジェクトに参加した農業技師を引き続き農村開発事業に従事させることが決定された。他方、県庁においては本プロジェクトが雇用していた農業技師を、県庁が独自に実施する農業開発事業のために雇用するなどされており、組織面における持続性も高いことが見込まれる。

#### 3) 財政面

財政面では、大学は炭化水素税に加え株を所有するセメント会社の株式配当により安定的な財政基盤があり、県庁も2018年まで5年間農村開発プログラムの予算を確保して

おり、それぞれの機関が農村開発を継続する財政基盤がある。

#### 4) 技術面

技術面では、大学は本プロジェクトにおいて作成された技術リストを利用して、各農村に適した支援モデルを作成、実施する能力を農業技師が修得していることより、技術的な観点における持続発展性が見込まれる。

#### 3-3 効果発現に貢献した要因

政治的対立という外部状況の変化に際し、先方関係機関と粘り強く調整を行った結果として、当初想定していた複数の実施機関が有機的に機能する体制ではないが、各実施機関が独力で事業を実施できる体制づくりへと、柔軟に方針を変更したことはプロジェクト目標達成の貢献要因として挙げられる。

#### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

ボリビアの地方政府機関においては、選挙で自治体首長が交代すると、人員配置や組織の方針が大きく変更されることがよくある。本プロジェクトにおいても、自治体首長の交代により、人員配置や組織の方針が変更し、効率性を低下させる要因となった。

#### 3-5 結論

終了時評価時点における指標達成度は高く、成果及びプロジェクト目標はほぼ達成されたと判断される。また、上位目標においてもプロジェクト終了後に達成される見込みは高い。

5項目評価においては、妥当性と効率性とインパクトと持続性は「高い」、有効性は「やや高い」と判断される。したがって、本プロジェクトは予定どおり2014年5月に終了することとする。

#### 3-6 提言

- ・プロジェクトは技術協力終了までの6カ月間、技術リスト及び参加型農村開発のマニュアルの作成を着実に進める必要がある。
- ・プロジェクトで作成した技術リストや参加型農村開発マニュアルは、SFX大学での活用が想定されている。プロジェクト終了まで、SFX大学以外のチュキサカ県農村開発に関心のある者に対しても、プロジェクトの成果を知らしめ、かつ成果がプロジェクト終了後も活用されるよう、広報と普及に努めるべきである。
- ・チュキサカ県北部の農村開発に関わる各機関が、それぞれの立場と活動を尊重し、農村開発における共通課題に取り組むべきことが望まれる。

#### 3-7 教訓

プロジェクトの実施機関が複数にわたる場合、各機関間の調整をいかに図るかが円滑なプロジェクト実施の鍵となる。本プロジェクトでは、当初緊密に連携していた複数の実施機関が政治的な対立により、ある時期を境に協調関係を保つことが困難になった。そのため、今後政治的対立が生じる可能性がある場合は、必ずしも多くの機関が協調して事業運営に関わることを前提とせず、事業実施のイニシアティブを取る機関を決め、その他の機関は支援機関と位置づけるなどの工夫をすることにより、円滑な事業実施の実現に貢献可能になる場合もあると考えられる。



## Summary of Terminal Evaluation

1. Outline of the Project		
<b>Country:</b> Plurinational State of Bolivia (hereafter referred to as Bolivia)		<b>Project:</b> The Project of Establishment of Implementation System for Sustainable Rural Development Phase II(hereafter referred to as the Project)
<b>Sector:</b> Rural Development		<b>Type of Cooperation:</b> Technical Cooperation Project
<b>Responsible Agency:</b> Field Crop Based Farming Area Division, Rural Development Department, JICA		<b>Amount of Cooperation:</b> 380 Million Yen
<b>Period of Cooperation:</b>	<b>(R/D):</b> From 22th May 2009 to 21st April 2014	<b>Local Related Agencies:</b> University of San Francisco Xavier(hereafter referred to as USFX), Government of Chuquisaca Prefecture, Beneficiaries of 9 Municipalities
	<b>(Extension):</b> NA <b>(F/U) :</b> NA	<b>Japanese Collaborating Agency:</b> NA <b>Another relative collaboration:</b> NA
<b>1-1. Background and Profile of the Cooperation</b>		
<p>The northern Chuquisaca is one of the poorest areas which the poverty rate is more than 90% in Bolivia. As a result that exploitation agriculture has been practiced in limited areas of cultivation, land suitable for cultivation has been reduced and land productivity has been deteriorated caused by large-scale soil erosion and depletion of water resource, and farmers engaged in subsistence agriculture and stock farming which accounts for many of the residents has had distressed life.</p> <p>In order to demonstrate technical improvement plan, Japanese government (through Ministry of Agriculture, Forestry and Fishery) conducted JGREEN (Japan Green Resources Corporation) for the prevention of erosion of agricultural land from 1999 to 2003 in the Department of Chuquisaca. These results were compiled as methods for the planning of rural development and the prevention of erosion. The survey demonstrated technical guidelines for the conservation of soil. On the other hand, the organization system to implement projects by those methods is still not established.</p> <p>To solve this problem, in response to the request of the Government of Bolivia, the International Cooperation Agency of Japan (hereinafter will be referred to as JICA ) conducted a technical cooperation project “Project of Establishment of Implementation System of Sustainable Rural Development” with the implementing agencies, the University of San Francisco Xavier (hereinafter will be referred to as USFX ) , the Interior Department of Chuquisaca (referred to hereafter as the Interior) and 4 municipalities in the project areas for two years from January 2006 to January 2008. In this cooperation, surveys for planning development, the training of human resources related to rural development and financial resource in 8 communities in 4 municipalities were conducted.</p> <p>Subsequently, in response to the additional request of the government of Bolivia, JICA is conducting a technical cooperation project “Project of Establishment of Implementation System of Sustainable Rural Development phase II” (referred to hereafter as “the project”) during the period of 5 years from May 2009 to May 2014, expanding the areas to 36 communities in 9 municipalities in the north of the department of Chuquisaca. The project aims to establish processes from planning to implementation as a “Rural Development</p>		

Model Centering on the Recovery and Conservation of Natural Resources by Local Residents” and to build the system for the implementation of sustainable rural development based on the results of Phase I.

## **1-2. Cooperation Overview**

### **(1) Overall Goal:**

Rural development model is extended and the quality of life of small farmers in the Northern Department of Chuquisaca is improved.

### **(2) Project Purpose:**

Model and implementation body for sustainable rural development and its implementation system is established through implementing rural development projects in the Northern Department of Chuquisaca.

### **(3) Outputs:**

Output1: Core human resource in agricultural rural development is trained in communities, municipalities (implementation agencies), the Government and USFX (support agencies).

Output2: Process from plan to implementation of rural development is modeled through implementation of agricultural community development plan based on rural development plan.

Output3: Development fund implementation of agricultural community development plan is procured by municipalities and the government.

Output4: Organizations system to implement sustainable integrated rural development is established in municipalities, government and USFX in the north of the department of Chuquisaca.

### **(4) Inputs:**

#### **Japanese Side:**

380 Million Yen

Long term dispatch expert :	3 persons
Short term dispatch experts :	4 persons
Equipment :	1,680,406.44 Bolivianos (28 Million yen)
Local cost :	5,487,665.84 Bolivianos (95 Million yen)
Training in Japan/3 <sup>rd</sup> Country :	11 persons

#### **Bolivian Side :**

Counterpart : 27 persons (Total numbers)

Land and Facilities

<b>2. Evaluation Team and Period</b>			
<b>Evaluation Members:</b>	Mr. Kenichi KATO	Team Leader	Director Field Crop Based Farming Area Division, Rural Development Department, JICA
	Mr. Hitoshi KUBO	Rural Development	Chief, Project Coordinator Section Design Division, Kinki Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
	Mr. Ryosuke MURAKAMI	Cooperation Planning	Field Crop Based Farming Area Division, Rural Development Department, JICA
	Mr. Akihiro MOCHIZUKI	Evaluation Analysis	Consultant, ICONS Inc.
	Ms. Setsuko OTAKI	Interpreter	JICE
<b>Period of Evaluation:</b>	23/Nov 2013 - 7/Dec/2013 (15 days) (Team Leader, Rural Development, Cooperation Planning, Interpreter) 14/Nov 2013 – 7/Dec/2013 (24 days) (Evaluation Analysis)		<b>Type of Evaluation:</b> Terminal Evaluation
<b>3. Summary of Evaluation Results</b>			
<b>3-1. Verification of the Project's Achievement</b>			
<b>(1) Achievement of outputs</b>			
Output1: Core human resource in agricultural rural development is trained in communities, municipalities (implementation agencies), the Government and USFX (support agencies)			
<i>Indicator 1-1: 10 teachers of USFX, 8 technicians of government, 9 extension workers of municipalities, 9 municipality planners, and each community leaders are trained.</i>			
<i>Indicator 1-2: Training materials and the curriculum is developed reflecting the results of the implementation of the courses.</i>			
<i>Indicator 1-3: Training course for technicians is conducted and trainings for farmers is conducted 2 times annually in a section for research, interaction and training of human resources of USFX.</i>			
Indicators 1-1 and 1-3 are achieved and indicator 1-2 is partially achieved. Therefore Output 1 is mostly achieved.			
In Indicator 1-1, it is confirmed that targeting number of trainers to be trained in each relevant organization is achieved.			
In Indicator 1-2, it is confirmed that training materials is prepared reflecting the results of the implementation of the courses. The curriculum will be created after establishment of “Rural Development Center” in USFX.			
In Indicator 1-2, trainings for technicians were conducted 24 times and trainings for farmers were conducted 211 times in the project.			

Output 2: Process from plan to implementation of rural development is modeled through implementation of agricultural community development plan based on rural development plan.

*Indicator 2-1: The 36 communities in 9 municipalities have their own plan for rural development.*

*Indicator 2-2: A technical list that can be utilized for the conservation of natural resources and the improvement of life is developed based on the result of monitoring and evaluation of each mini project and pilot project.*

*Indicator 2-3: Methodology of participatory planning, implementation, monitoring and evaluation of integrated rural development activities is summarized as a development cycle.*

Indicator 2-1 is mostly achieved. Indicator 2-2 and 2-3 expect to be achieved within the project period.

Output 3: Development fund for implementation of agricultural community development plan is procured by municipalities and the government.

*Indicator 3-1: process of funds procurement is summarized.*

*Indicator 3-2: Extension workers, planners and municipalities responsible for Government and USFX comprise the application process for funding application.*

*Indicator 3-3: In 36 communities the funding application documents are properly prepared for integrated rural development projects.*

*Indicator 3-4: Fund procured in 36 communities in 9 municipalities is utilized.*

All indicators (3-1, 3-2, 3-3, 3-4) are achieved.

In Indicator 3-1, manuals on fund procurement process are completed.

In Indicator 3-2, 3-3 and 3-4, more than 20 times seminars and technical trainings are implemented and person in charge acquired knowledge of various fund procurement process. As a result, appropriate applications are prepared and procured fund is utilized.

Output 4: Organizations system to implement sustainable integrated rural development is established in municipalities, government and USFX in the north of the department of Chuquisaca.

*Indicator 4-1: The Coordination committee is established for integrated rural development in the north of the department of Chuquisaca, and role of municipalities, Interior and USFX is agreed.*

*Indicator 4-2: The coordination committee is held regularly to consult and to coordinate the activities of integrated rural development.*

Due to political conflict between the implementing agencies, the project aim to establish organizations



system to implement sustainable integrated rural development without the coordinating committee. Therefore, indicator 4-1 and 4-2 expect not to be achieved by the end of the project. However organizations system to implement sustainable integrated rural development is practically established. In other words, Output 4 is practically achieved.

## **(2) Prospect of achievement for project purpose**

Model and implementation body for sustainable rural development and its implementation system is established through implementing rural development projects in the Northern Department of Chuquisaca.

*Indicator 1: More than one good practice which can be presented as a rural development model is implemented in each municipality.*

*Indicator 2: Necessary staff is allocated to implement the model of rural development in Government, USFX and municipalities.*

*Indicator 3: Sections in charge of research, interaction and training of human resources is established in the Faculty of Agricultural Sciences USFX to support the activities of integrated rural development and the necessary staff is allocated.*

Indicator 1 is completed. Indicator 2 and 3 are mostly achieved. Establishment of the sections for support of the integrated rural development projects and allocation of the necessary staff are mostly completed based on the policy of USFX.

Therefore the project purpose is achievable in the rest of the project period.

## **3-2. Summary of Evaluation**

### **(1) Relevance: High**

#### **Necessity in target area**

Chuquisaca department is a distinctive highland (over 4000m altitude) area and one of the poorest areas in Bolivia with the poverty rate above 90%. The extractive agriculture that has been practiced over years in this valley region has brought soil erosion and depletion of water resources. As a result, suitable area for cultivation and the productivity of the land are reduced and the level of poverty in the area is deteriorated.

In addition to increasing of the productivity of traditional agricultural production, improvement of the quality of life through other income generation is essential. The project aims to increase food productivity and generate revenue through integrated rural development based on recovery and conservation of natural resources, agricultural development and social development.

Therefore, the project is consistent with the need to subject areas, society and the target group of the project.

#### **Integrity with development policy of Bolivian government**

“Agenda Nacional 2025” which was published following “the National Development Plan 2006-2011” also gave priority for improvement of food productivity. Food sovereignty and food security was set as a purpose for the rural development in “the Development Plan of Cultivation Sector 2011-2015” published by Ministry of Rural Development and Land. The plan also shows eight policies containing

the cultivation production for food sovereignty and food security, productive development of cultivation, income generation, sustainable production surplus and access to irrigation water. Since the project aims to contribute to improvement of the quality of life of farmers through integrated rural development, it is consistent with the policy of Bolivian government.

#### **Integrity with assistance policy of Japanese government**

Japanese government focuses on “Support for sustainable economic growth” and “support for social development for poverty reduction” as main components of assistance. Also Japanese government attaches great importance to the assistance through social development and rural development from the point of poverty reduction. The project aims to improve the living standards of rural residents and is consistent with aid policy of the Japanese government and the national policy of JICA.

#### **Relevance of Project approach**

The target area of the Project had been selected by Bolivian side. The area is located near the urban area where the people live in extreme poverty without basic infrastructure such as water supply, electricity and so on. The northern part of Chuquisaca province is the slope area and soil erosion is likely to occur, moreover the annual rainfall is low. The project aims to promote sustainable rural development based on the recovery and conservation of natural resources (sustainable management of soil, water and vegetation) through activities that improve cultivation production and revenue. Therefore There is relevance in the approach of the project..

### **(2) Effectiveness: Relatively High**

#### **Prospect of Achievement for the Project Purpose**

The Outputs 1, 2, 3 will be achieved during the Project period and the Output 4 remains.

Due to political discord among related organization, the coordination committee consisted from the prefectural government, municipalities and USFX has not been held. This lack of collaboration and cooperation among related organizations made negative effect towards the activities of the project.

Regardless of insufficient relationship among related organizations, the implementation system that each organization conducts each project independently is prepared. Based on this system, the model “Rural Development Model Centering on the Recovery and Conservation of Natural Resources by Local Residents” is established. Therefore, the project purpose is mostly achieved.

#### **Relationship between Outputs and Project / Promoting Factor**

By above political factors, the flow from the Outputs to the Project purpose becomes different from the way expected. The relationship between the original outputs and the original project purpose is not assumed problem. The flexible modification of the flow from the Outputs to the Project purpose considering of the political external circumstances can be cited as a promoting factor for the project purpose.

### **(3) Efficiency: High**

#### **Project implementation management**

Due to the apparent disagreement towards implementation process and structure, it was inadequate coordination among the related organization, especially with municipalities. Regardless of insufficient relationship among related organizations, each organization conducts each project successfully.

### **Japanese inputs**

Japanese inputs (professional, Training in Japan, third-country training, provision of equipment, local business expense) are considered adequate and appropriate for proceeding the Project activities, and used for smooth and efficient implementation of the Project activities.

In addition, it is considered high contribution for the improvement capacities of counterparts and farmers thorough the exchange experiences and technology program that have been implemented in Bolivia and third countries so far.

### **Bolivian inputs**

Until November 2013, 27 counterparts have been assigned. The breakdown is as follows: 11 persons from USFX, 16 persons from the municipalities. It is not counted prefectural government of Chuquisaca as a counterpart because of the political discord among related organization.

## **(4) Impact: Relatively High**

### **Prospect of achievement for overall goal**

The project positive impact begins to expand due to disseminate of rural development model in the target villages. It is confirmed of certain impacts have started appearing that can lead to overall goal achievement.

### **Others**

Positive effects have been confirmed such as women's participation to the Project through harvesting fungi, improving financial management capacity of village through the saving for maintenance and repair cost of mill that was granted by the Project, furthermore children could attend school without absence due to release from daily fetching water work.

## **(5) Sustainability: High**

### **Policy aspect**

In policy aspect, due to National Development Plan, Agenda National 2025 in both national and prefectural level have come out of the following plan like natural food production, resource and environmental protection. It is expected to utilize continuously the outputs

### **Organizational aspect**

In organization aspect, both USFX and Government of Chuquisaca Prefecture have been dedicating for rural development as an organization so the implementation structure will be continued after the Project. In USFX, the agricultural engineers who have participated to the Project also will be deployed in rural development program. Meanwhile Government of Chuquisaca Prefecture has employed the agricultural engineers who have been employed by the Project for implementation to its own rural development program. In this circumstance, the sustainability in organizational aspect is also considered as high.

### **Financial aspect**

In financial aspect, USFX has stable financial base through dividend distribution by cement company hold its stocks in addition to the revenue of hydrocarbon tax. Meanwhile Government of Chuquisaca Prefecture also set aside 5 years budget for rural development program up to 2018. Each organization has

its own financial base for continuity of rural development.

### **Technical aspect**

Regarding technical aspect, agricultural engineers of USFX have acquired the capacity to elaborate the suitable development model for each village and to implement in the field using the technical lists which were prepared by the Project. Considering the circumstances, there is sustainable perspective in technical aspect.

### **3-3. Promoting factors**

It can be said a promoting factor of the project purpose that the project flexibly changed the plan in the face of political conflict between the implementing agencies as mentioned in “3-2. Summary of Evaluation, (2) Effectiveness, Prospect of Achievement for the Project Purpose”.

### **3-4. Inhibiting factors**

In Bolivia, staffs and policy of the organization are changed significantly when local government chiefs alternates. In this project, Counter parts and policy of the organization are changed when local government chiefs alternated. This can be said one of the inhibiting factors.

### **3-5. Conclusion**

It is concluded that achievement of indicators are generally high, also outputs and project purpose are almost achieved. In addition overall goal will be achieved after the Project.

In regard to evaluation with DAC five criteria, relevance, effectiveness, impact and sustainability are evaluated as “High”, efficiency are “Relatively high”. In conclusion, the Project will be concluded in May 2014 as scheduled.

### **3-6. Recommendations**

Implementing organizations of the Project should disclose and disseminate the “model of rural development” which was developed by the Project to those who have interest for rural development of department of Chuquisaca in order to be known to and utilized outputs.

It is desired for each organization which is involved in rural development of department of Chuquisaca that should respect one another the position and activities of other organizations then dedicate mutual agenda and task for rural development.

### **3-7. Lessons Learnt**

The key point for smooth project operation is to establish good coordination among various implementing organizations. In the beginning of this Project, the coordination and linkage among related organizations worked very well. However, it has turned into difficult situation to maintain the good relation among these organizations due to the political discord among related organization.

According to the experience, it could be contribute smooth implementation of project to define a main organization which will take initiative for implementation and other organizations will collaborate as supporting organization instead of related to project as equal partner in the future.



# 第1章 終了時評価調査の概要

## 1-1 調査団派遣の経緯と目的

### 1-1-1 プロジェクト実施の背景

- ① ボリビア多民族国（以下、「ボリビア」と記す）チュキサカ県北部地域は、貧困率 92.5%、極貧率 87.8%（2001 年人口センサス：スクレ市街地を除く）と同国内で最も貧困割合が高い地域のひとつである。同地域では限られた耕作適地において収奪的な農業が行われてきた結果として、大規模な土壌侵食や水資源の枯渇による耕作適地の減少や農地の生産性低下が生じており、住民の多くを占める自給的な農牧業を営む農民の生活は困窮していた。
- ② このような状況に技術的な改善策を示すため、農林水産省管轄の緑資源公団（現独立行政法人森林総合研究所）は 1999 年から 2003 年までチュキサカ県において「農地・土壌侵食防止対策実証調査」を行い、その成果を農村開発計画の策定及び土壌侵食防止に関する手法としてまとめた。同実証調査では土壌保全に係る技術的な指針が示されたが、その成果を用いて住民のニーズに応えた開発事業を推進する体制を確立することが課題として残された。
- ③ この課題を解決するため、ボリビア国政府の要請を受けて、JICA は技術協力プロジェクト「持続的農村開発のための実施体制整備計画」（フェーズ 1 に相当）をサンフランシスコ・ハビエル大学（以下、「SFX 大学」と記す）、チュキサカ県庁及び対象地域の 4 村役場をカウンターパート(C/P)機関として 2006 年 1 月から 2008 年 1 月までの 2 年間実施した。同プロジェクトでは、4 市村の 8 集落における住民のニーズを反映した開発計画の策定、農村開発に係る人材育成、開発資金源に関する調査が実施された。
- ④ ボリビア国政府の更なる要請に基づき、対象をチュキサカ県北部の 9 市村（36 集落）に拡大し、2009 年 5 月から 2014 年 5 月までの 5 年間の予定で技術協力プロジェクト「持続的農村開発のための実施体制整備計画フェーズ 2」（以下、「プロジェクト」と記す）を実施中である。フェーズ 2 は、フェーズ 1 の成果を踏まえて農村開発の計画から実施までのプロセスをボリビアにおける「自然資源の回復と保全を軸とした住民主体の農村開発モデル」として確立させ、持続的な農村開発実施体制を構築することをめざしたものである。
- ⑤ 今般、現行 R/D に基づき、プロジェクトの終了 6 カ月前になったことから、協力事業に関する終了時評価を実施することとなった。

### 1-1-2 調査の目的

本調査は、プロジェクトの終了 6 カ月前にあたり、終了時の目標達成見込み、事業の効率性、今後の持続性の見通しなどの観点から、プロジェクトの実施状況を総合的に判断し、残り期間の事業計画の見直しや、プロジェクト終了の適否、先方政府が独自に継続する場合の留意点の有無を判断する。

なお、先方政府内 C/P 機関間の政治的対立により、公平な評価が困難となっているところ、合同評価ではなく、日本側調査団が独自の評価結果を取りまとめ、ボリビア国政府に提出するものとする。

## 1-2 調査団の構成と調査期間

### 1-2-1 調査団の構成

No.	担当	氏名	役職
1	総括	加藤 憲一	JICA 農村開発部 畑作地帯課課長
2	農村開発	久保 仁	農林水産省 近畿農政局 整備部整備課 事業調整室長
3	計画管理	村上 亮介	JICA 農村開発部 畑作地帯課
4	評価分析	望月 昭宏	株式会社アイコンズ
5	通訳	大滝 節子	一般財団法人日本国際協力センター

### 1-2-2 調査日程

2013年11月14日～12月7日（24日間）

（総括、農村開発、計画管理、通訳団員は11月23日日本邦出発、15日間）

## 1-3 プロジェクトの概要

### (1) 上位目標：

チュキサカ県北部地域内に農村開発モデルが普及し、小農の生活水準が改善される。

### (2) プロジェクト目標：

チュキサカ県北部地域における農村開発事業の実施を通じ、農村開発モデルと実施体制が確立される。

### (3) 成果：

1. 集落と市村（実施機関）、県庁と大学（支援機関）に農村開発事業の中核人材が養成される。
2. 集落開発計画に基づいた農村開発事業の実施を通じて、農村開発事業の計画から実施までのプロセスがモデル化される。
3. 市村、県及びSFX大学により、総合農村開発事業実施のための内部及び外部の開発資金が調達される。
4. 市村、県及びSFX大学により、チュキサカ県北部地域の総合農村開発の方向づけを行うための調整委員会が適切に運営される。

### (4) 活動

- 1-1：プロジェクトの技術者チーム（大学教員や技術者）に対して持続的農村開発に必要な技術・手法の研修を実施する。
- 1-2：技術者チームが、普及員や集落住民に対して参加型農村開発手法・有用技術等に関する研修を実施する。
- 1-3：前フェーズで作成した研修教材とカリキュラムを見直し、研修内容を向上させる。
- 1-4：大学の農村開発センターに域内及び国内に提供し得る人材育成システムを整備する。
- 2-1：後発28集落において集落開発計画を策定する。

- 2-2：先発 8 集落において農村開発事業を実施（詳細設計・実施・検査）する。
- 2-3：対象 36 集落において小規模パイロット事業を実施する。
- 2-4：対象 36 集落での開発事業のプロセス及び結果を分析し、計画から実施までの最適なプロセスを、農村開発モデルとしてまとめる。
- 3-1：フェーズ 1 で調査された開発資金源のうち、活用可能な資金源に関する資金調達の手続きを明確にする。
- 3-2：普及員や市村の計画担当者、県の行政官に対して、資金調達に関する研修を実施する。
- 3-3：小規模雑用水、農道整備等ある程度以上の規模の資金申請について、農業農村開発環境省が、市村及び県庁の申請書類の作成を支援する。
- 3-4：市村及び県庁が、各々の集落の開発計画に沿って事業実施に必要な資金を調達する。
- 4-1：実施機関及び支援機関に、農村開発事業の計画から実施までを適切に運営・支援するために必要な部署を設け、人員を配置する。
- 4-2：実施機関及び支援機関に、実施体制の存続や活動に係る恒常的な予算枠を設ける。
- 4-3：農村開発人材育成が適切かつ継続的に実施されるよう、大学内に部署を設け、業務内容を規定に定める。
- 4-4：農村開発事業が継続的に実施されるよう、市役所、村役場では市村の規則で、県庁では県の条例等で農村開発担当部署の設置と業務内容について言及する。

(5) プロジェクト期間：

2009 年 5 月 21 日～ 2014 年 5 月 20 日（5 年間）

(6) ターゲットエリアと受益者

本プロジェクトのターゲットエリアと受益者は下表のとおり。

表 1-1 チュキサカ県北部地域 9 市村の 36 集落

	市村（集落数）	対象集落名	集落の世帯数	集落の人口
1	Poroma (73)	Poroma	78	344
2		Chilchista	37	139
3		Palaja	データなし	データなし
4		Chijmuri	36	147
5		Saichuma	22	117
6		Churuni	22	94
7	Presto (38)	Misión Pampa	65	214
8		Presto Porvenir	60	304
9		Puca Pampa	94	376
10		Pasopaya	98	909

11	Yamparae (38)	Sajpaya	87	364
12		San Jose de Molles	60	266
13		Catana	60	278
14		Molle Punku	64	408
15	Sucre Rural (117)	Mamahuasi	35	175
16		Tumpeka	85	481
17		Maracori/ Sunchu Pampa	50	300
18		Molle Molle	47	251
19	Yotala (46)	Tipoyo	79	402
20		Chamina	27	136
21		Anfaya del Peral	35	140
22		Palamana	44	241
23	Icla (31)	Molle Molle	56	297
24		Kollpa Pampa	130	663
25		Guitarrani	40	236
26		Chunca Cancha	135	850
27	Zudañez (29)	Mayu Torcoco	65	260
28		Pata Torcoco	66	264
29		Cerezal	37	148
30		Pirhua Mayu	48	192
31	Mojocoya (31)	Rio Tocolo	48	260
32		Rumi Cancha	46	200
33		Chiquerillos	55	200
34		Casa Grande	120	340
35	Tarabuco	Puno	データなし	データなし
36		Cusi Huasi	データなし	データなし
計			2,031	9,996

注：括弧内の数値は、市村内の総集落数

#### (7) プロジェクト対象地域に関する情報

本プロジェクトの対象地域は、チュキサカ県北部地域の9市村である。基本的には、各市村当たり4集落を選定し、プロジェクト活動が実施されている。

チュキサカ県北部地域の市村ごとの人口、識字率、貧困率、人間開発指数を表1-2に示す〔スクレ市については、市の農村部の一部(Distrito 8)についてのデータである〕。同表のとおり、対象地域には、計471集落があり、人口は約11万人である。識字率は、4割から6割であり、貧困率は80%以上と高い貧困度を示している。

表 1-2 プロジェクト対象地域概要

市村名	集落数	人口 (人)			識字率 (%)	貧困割合 (%)	人間開発指数
		男性	女性	計			
Sucre Rural (Distrito 8)	117	10,957	10,945	21,902	58.1	94.5	0.688
Yotala	46	4,663	4,834	9,457	65.9	80.3	0.534
Poroma	73	8,048	8,053	16,101	50.5	99.3	0.389
Tarabuco	69	9,405	10,149	19,554	46.7	93.7	0.406
Yamparaez	38	4,826	5,187	10,013	58.6	93.2	0.481
Zudañez	29	3,755	3,668	7,423	57.3	93.2	0.472
Presto	38	4,346	4,546	8,892	40.6	99.0	0.347
Mojocoya	30	4,023	3,903	7,926	66.9	97.5	0.497
Icla	31	4,615	4,626	9,241	46.8	86.4	0.405
計	471	54,638	55,911	110,549	73.4 (参考: チュキサカ県平均)	58.6 (参考: 全国平均)	0.641 (参考: 全国平均)

出典: プロジェクト作成資料 [元データは、2001年センサス (INE 及び UNDP)]

(8) 本プロジェクトの枠組み・コンセプト

本プロジェクトのコンセプトを図で表すと図 1-1 のようになる。

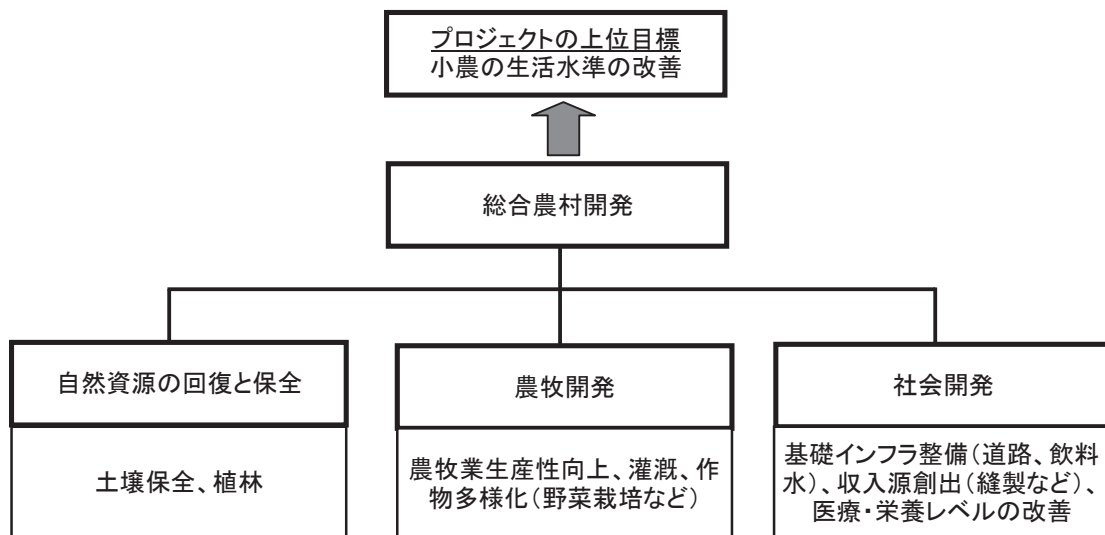


図 1-1 本プロジェクト概念図



## 第2章 終了時評価調査の方法

### 2-1 主な調査項目

本プロジェクトは、プロジェクトの枠組みに関する文書、プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）及び討議議事録（R/D）に基づき、日本側の終了時評価チームが実施した。レビュー作業には、報告書のレビュー、現地視察、インタビュー調査（関係機関職員、JICA 専門家、プロジェクト対象地域の裨益住民）が含まれる。本終了時評価調査は、経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が定める5項目評価基準に基づき実施された。

### 2-2 データ収集・分析方法

定量データと定性データの両方を収集し、分析に使用した。データの収集先は下記のとおり。

① 関連資料のレビュー：

- ・詳細設計調査報告書
- ・中間レビュー報告書
- ・プロジェクト事業報告書

② 主要関連団体へインタビュー：

- ・プロジェクトに配属された日本人専門家（3名）
- ・SFX 大学関係者（学長、農学部長、プロジェクト参加教員）
- ・裨益農民

### 2-3 評価調査の制約・限界

- ① 本プロジェクトは3機関（SFX 大学、チュキサカ県庁、9市村）が対象となっている。本プロジェクトに関わる各機関からの各データの取りまとめはSFX 大学が行ったが、実施機関間の対立があり、チュキサカ県庁と9市村からの情報提供は限られたものとなった。
- ② 現地調査のためのスクレ市滞在期間は16日間であったが、プロジェクトサイトへのアクセスに要する時間の制限上、36集落のうち14集落のみの訪問となった。

## 第3章 プロジェクトの実績及び実施プロセス

### 3-1 投入実績

#### 3-1-1 日本側

##### (1) JICA 専門家派遣

長期専門家として3分野の専門家が派遣されている。①現地リーダー、②農村開発、③業務調整である。また、短期専門家として、チーフアドバイザーが派遣されている。専門家の派遣実績については巻末付属資料「評価報告書（スペイン語）」の Anexo 3 を参照のこと。

##### (2) 本邦研修及び第三国研修

終了時評価時点で、本邦研修に7名、第三国研修（エクアドル）に4名が参加した。詳細は、同 Anexo 4 を参照のこと。

##### (3) 機材供与

オートバイ、ピックアップトラック、小型バスなどの車両、コンピュータやプリンター等の事務機器などが供与された。終了時評価時点の供与機材費は、1,629,236 ボリビアーノ（約2,800万円）である。詳細は、同 Anexo 5 を参照のこと。

##### (4) 日本側負担現地経費

プロジェクト活動実施のために日本側が負担した経費は、2013年11月時点で、2,844,274 ボリビアーノ（約4,900万円）である（専門家派遣経費及び本邦研修経費は含まない）。詳細は、同 Anexo 6 を参照のこと。

#### 3-1-2 ボリビア側

##### (1) ボリビア側カウンターパート（C/P）の配置

2013年11月時点で、計27人のC/Pが配置されている。内訳は、サンフランシスコ・ハビエル大学（SFX 大学）が11人、プロジェクト対象地域の市村が16人である。詳細は、同 Anexo 7 を参照のこと。なお、チュキサカ県庁については政治的対立後、C/Pの位置づけがあいまいになったため、C/P人数としてはカウントしていない。

##### (2) ボリビア側経費負担

ボリビア側が2009年から2011年までの間、プロジェクト活動のために負担した経費は、7,170,921 ボリビアーノ（約1.2億円）である。なお、2012年以降の経費は、政治的な要因によりボリビア実施機関からの情報提供がなかったため不明である。

表3-1 機関別ボリビア側経費負担一覧

（単位：ボリビアーノ）

機関名	2009年支出額	2010年支出額	2011年予算額	計
チュキサカ県庁	841,867	751,029	744,342	2,337,238

SFX 大学	1,359,915	586,891	874,978	2,821,784
スクレ市	182,085	100,290	150,000	432,375
YAMPARAEZ 村	74,551	34,489	38,401	147,441
YOTALA 村	39,741	60,357	82,000	182,098
POROMA 村	40,093	27,101	31,925	99,119
ZUDAÑES 村	71,300	64,000	105,000	240,300
MOJOCOYA 村	55,300	98,000	98,000	251,300
PRESTO 村	178,100	135,678	135,678	449,456
ICLA 村	94,800	24,009	91,000	209,809
計	2,937,753	1,881,844	2,351,324	7,170,921

(3) プロジェクト施設、機材の提供

SFX 大学がプロジェクト事務所、車庫を提供している。

### 3-2 成果達成状況

PDM に記載されている各成果の、終了時評価における達成度を以下のとおり示す。

#### 3-2-1 成果1：集落と市村（実施機関）、県庁と大学（支援機関）に農村開発事業の中核人材が養成される。

以下の各指標の達成状況のとおり、成果1はほぼ達成された。

指標 1-1： 指導者として 10 名の大学教員、8 名の県庁技術者が、実施者として 9 名の普及員、9 名の計画担当者及び各集落の住民リーダーが、それぞれ育成されている。

指標 1-1 は達成された。

本プロジェクトでは SFX 大学教員 11 名、県庁技術者が 8 名、市村では 16 名の普及員が養成された。そして、計画担当を担う技術者向け研修に延べ 287 人、集落住民リーダー向け研修に 64 名が参加している。具体的な研修内容は以下のとおり。

技術者向けの研修は、これまでに 24 回実施され、参加者数の延べ人数は 287 人、研修総時間数は、383 時間である。なお、一部の技術者向け研修には、SFX 大学の学生及び実習生も参加している。詳細は、巻末付属資料「評価報告書（スペイン語）」の Anexo 10 を参照のこと。このほか、第三国技術交換研修、国内技術交換研修に大学教官、県及び市村の技術者が参加し、技術力の向上が図られた。

表 3-2 技術者向け研修プログラムのテーマ

課題	小課題	研修日数 (日)
基礎コース	本プロジェクトのコンセプト	1
	本プロジェクトの実施体制とコンポーネント	1

	戦略的な項目の識別	1
	プロジェクト・サイクルの紹介	1
	ミニプロジェクトの紹介	1
	持続的開発の紹介	1
	日本の経験	1
	本プロジェクトにおける技術者の活動	2
	報告書作成と写真	1
自然資源の回復と保全	苗木の生産と植林苗畑の管理	2
	流域に焦点をあてた自然資源保全（浸透溝、テラス、石積み）	2
	持続的農村開発：農村コミュニティの現状	1
	小規模灌漑システム（用水システム）	
	用水システムの管理	2
	システム管理（GIS、GPS、トータルステーション）	2
管理：コミュニケーション、組織化、管理技術	プロジェクト・サイクル。適用手法。	1
	資金管理 1：草の根無償資金	1
	資金管理 2	1
	ミーティングの進め方、プロフェッショナルの役割、農牧普及戦略、ツールと参加型技術	2
	組織化と組織間連携（異文化間）	1
	ジェンダー間の公平性	1
社会開発	農村開発のための手法	2
	収入源の創出	2
	衛生教育と保健活動	1
農牧開発	土壌肥沃度の改善	
	作物ローテーション	2
	緑肥	2
	混植	2
	作物残渣の利用	2
	ミミズ利用	2
農牧生産体系	有機栽培	
	植物被覆	1
	殺虫剤作り	2
	家庭菜園	2
	薬草	2

		収穫後処理技術	2
		販売用の新規作物の導入	2
		種子の改良	2
	農牧製品の加工		
		牧畜基礎／動物衛生	2
		養蜂	2
		牛乳の衛生	2
		商品化とマーケティング	2

農民向け研修は、土壌保全、森林、農業、牧畜、果樹、野菜、プロジェクト紹介、啓発、計画等の計 18 分野で、延べ 209 回実施された。また、農民向け研修に参加し、その成果を自分の畑で実践している者（農民リーダー）を対象とした農民リーダー向けの研修が 6 回実施され、参加者数の延べ人数は 64 人である。農民リーダー向け研修の内容は、自然資源劣化とその対策（方法と技術）、コミュニケーションと組織化に関わる管理、農牧開発（土壌肥沃度改善及び農牧生産体系）、評価・計画、農牧製品加工で構成される。詳細は、同 Anexo 10 を参照のこと。

今後、活動の経験を積み重ねることで、県及び市村の技術者が、農村開発事業の中核人材となることが期待される。

指標 1-2： 研修結果を反映した研修教材・カリキュラムが整備されている。

指標 1-2 は部分的に達成された。

フェーズ 2 プロジェクトで作成された教材には、表 3-3、3-4 のとおり、32 テーマの研修教材が作成された。内訳は技術者向けの 6 種類、農民向けの 26 種類となっている。カリキュラムについては、SFX 大学が設立を予定している「農村開発センター」の活動内容に合わせて、今後作成していく予定であり、プロジェクト期間中に完成される見込みは低い。

表 3-3 技術者向け教材

1	微生物群に基づく栽培方法の有効性
2	動物衛生マニュアル
3	ミシンの維持管理マニュアル
4	日常の食事における野菜の利用マニュアル
5	展示圃場計画マニュアル
6	資金運用の研修技術に係るガイド



表 3 - 4 農民向け教材

1	自然資源
2	土壌と浸食
3	等高線上の石積みづくりとその管理
4	石と土を用いた壁づくり
5	ガリー浸食の管理
6	浸透溝
7	衛生的な搾乳
8	チーズづくり
9	桃の生産
10	りんごの生産
11	かんきつ類の生産
12	桃の剪定
13	りんごの剪定
14	かんきつ類の剪定
15	山羊
16	森林材用苗床
17	植林の評価と管理
18	カーネーションの生産
19	果樹栽培
20	土壌改善（緑肥）
21	灌漑
22	水管理
23	キノコ
24	養蜂
25	組織強化
26	羊

指標 1-3： 大学の農村開発センターにおいて、技術者研修年 1 回、農民研修年 2 回程度実施される。

指標 1-3 は達成されたと判断できる。

SFX 大学の農村開発センターは現在、設立準備中である。プロジェクトでは、農村開発センターが始動後に当該センターに配置される C/P とともに、以下の研修を実施してきた。

農民向け研修は 5 年間のプロジェクト期間中（2009 ～ 2013 年）に 21 集落で合計 211 回の研修を実施した。プロジェクト開始当初は参加人数の記録不備のため正確な人数確認ができてい

ないため除外するが、その後改善して記録されている参加人数は延べ2,635人となっている。技術者向け研修は5年間で24回実施され、延べ287人が参加した。

3-2-2 成果2：集落開発計画に基づいた農村開発事業の実施を通じて、農村開発事業の計画から実施までのプロセスがモデル化される。

以下の各指標の達成状況のとおり、成果2はプロジェクト期間中にほぼ達成される見込みである。

指標 2-1： 対象9市村の36集落が集落開発計画を有する。

指標 2-1 はほぼ達成された。

30集落において集落開発計画が完成している。また、残る6集落でも現在作成中であり、プロジェクト期間中に完成する見込みである。

集落開発計画作成のプロセスは次のとおりである。

- ① ベースライン調査 (Estudio Basico) の実施：収集データ整理と要約文書作成
- ② 集落マスタープラン (Plan Maestro Comunal : PMC) (今後10年程度の集落のニーズ) の作成
- ③ 集落開発計画 (Plan Dessarrollo Comunal : PDC) の作成：本プロジェクト期間の開発計画
- ④ 年間活動計画 (Plan de Operación Anual : POA) の作成：本プロジェクトの集落における年間活動計画

プロジェクト対象集落ごとの各計画作成状況は下表のとおり。

表 3-5 集落開発計画の作成状況

(X：作成済み EE：作成中)

	市村	対象集落名	ベースライン調査 (EB)		PMC	PDC	POA 2013	PDM
			データ	要約	集落マスタープラン	集落開発計画	年間活動計画 2013	市村開発計画
1	Poroma	Poroma	X	X	X	X	X	有
2		Chilchista	X	X	X	X	X	
3		Plaja	EE	EE	EE	EE	EE	
4		Chijmuri	X	EE	EE	EE	X	
5		Saichuma	X	EE	X	X	X	
6		Churuni	EE	EE	EE	EE	EE	

7	Presto	Misión Pampa	X	X	X	X	X	有
8		Presto Porvenir	X	X	X	X	X	
9		Puca Pampa	X	X	X	X	X	
10		Pasopaya	X	X	X	X	X	
11	Yamparae	Sajpaya	X	X	X	X	X	有
12		San Jose de Molles	X	X	X	X	X	
13		Catana	X	X	X	X	X	
14		Molle Punku	X	X	X	X	X	
15	Sucre (Distrito Rural 8)	Mamahuari	X	X	X	X	X	有
16		Tumpeka	X	X	X	X	X	
17		Maracori/ Sunchu Pampa	X	X	X	X	X	
18		Molle Molle	X	X	X	X	X	
19	Yotala	Tipoyo	X	X	X	X	X	有
20		Chamina	X	X	X	X	X	
21		Anfaya del Peral	X	X	X	X	X	
22		Palamana	X	X	X	X	X	
23	Icla	Molle Molle	X	X	X	X	X	有
24		Kollpa Pampa	X	X	X	X	X	
25		Guitarrani	X	X	X	X	X	
26		Chunca Cancha	X	X	X	X	X	
27	Zudañez	Mayu Torcoco	X	X	X	X	X	有
28		Pata Torcoco	X	X	X	X	X	
29		Cerezal	X	EE	EE	EE	EE	
30		Pirhua Mayu	X	X	X	X	X	
31	Mojocoya	Rio Tocolo	X	X	X	X	X	有
32		Rumi Cancha	X	X	X	X	X	
33		Chiquerillos	X	X	X	X	X	
34		Casa Grande	X	EE	EE	EE	EE	
35	Tarabuco	Puno	X	X	EE	EE	X	有
36		Cusi Huasi	X	X	EE	EE	X	
			34	30	31	31	32	

指標 2-2： 個々のミニプロジェクト及びパイロットプロジェクトのモニタリング・評価結果に基づき、自然資源保全・生活向上のために活用可能な技術リストが整理されている。

指標 2-2 は、プロジェクト終了までに達成される見込みである。

技術リストは 2013 年 12 月 20 日に初稿完成予定、2014 年 2 月に印刷予定。

指標 2-3： 総合農村開発事業の参加型の計画策定、実施、モニタリング及び評価の手法が  
開発事業のサイクルとしてまとめられている。

指標 2-3 は、プロジェクト終了までに達成される見込みである。

参加型総合農村開発事業の手法のマニュアルは、既に原稿が完成しており、2014 年 3 月に  
印刷・製本が完了する予定。

3-2-3 成果 3：市村、県及び SFX 大学により、総合農村開発事業実施のための内部及  
び外部の開発資金が調達される。

以下の各指標の達成状況のとおり、成果 3 は達成された。

指標 3-1： 資金調達手続きがまとめられている。

指標 3-1 は達成された。

資金調達手続きはマニュアルとしてまとめられ、プロジェクトで活用されている。

指標 3-2： 普及員や市村の計画担当者、県及び SFX 大学の担当者が各種資金申請手続き  
を理解している。

指標 3-2 は達成された。

プロジェクト期間中 20 回の説明会・作成指導が実施された。下記指標 3-3 の説明のとおり、  
各関係者は自ら申請書類を作成し、申請手続きを行っており、関係者に十分理解されている。

指標 3-3： 対象 36 集落において総合農村開発事業の資金調達のために、適切な申請書類  
が作成されている。

指標 3-3 は達成された。

36 集落で少なくとも一度は資金調達のための申請が行われた。なお、プロジェクト全体で  
これまでに 29 件の資金要請が実施されている。資金要請先機関・基金には、2KR 見返り資金、  
日本大使館の草の根無償資金、先住民基金、MIAGUA (私の水) プログラム、灌漑県サービス、  
国家生産・社会投資基金、ベルギー政府協力がある。各種資金申請に係る本プロジェクトによ  
る説明会の実施を通じ申請手続きの理解が進み、資金申請に係る書類を適切作成する能力は向  
上したと考えられる。

指標 3-4： 対象 36 集落において調達された資金が活用されている。

指標 3-4 は部分的に達成された。

終了時評価時点において、プロジェクトが支援して事業申請を行い、承認、実施まで至った  
のは 14 件である。その他の集落においても申請する能力は身に付いており、申請件数は伸び  
ているため、データベースシステムを活用しつつ、対象集落が更に外部資金を調達し農村開発  
事業を推進していくことが期待される。

3-2-4 成果4：市村、県庁及びSFX大学により、チュキサカ県北部地域の総合農村開発の方向づけを行うための調整委員会が適切に運営される。

以下の各指標の達成状況のとおり、成果4は、当初設定した指標は達成困難であるが、実質的には達成されたといえる。

指標4-1：チュキサカ県北部の総合農村開発に取り組むための調整委員会が設置され、その中で、市村、県及びSFX大学の役割分担が合意される。

指標4-1の達成は困難である。

実施機関間の政治的対立から、調整委員会の開催は1回にとどまり、同委員会での役割分担の合意はなかった。しかし、その後JICAボリビア事務所、開発企画省が仲介し、各実施機関間の調整を行い、役割分担が明確化された。各実施機関が同役割に従って、独立して事業を運営する体制に整理されたことで、実質的な実施体制は構築されたといえる。

指標4-2：調整委員会が、総合農村開発の活動を協議・調整するために定期的に開催されている。

指標4-1の項の記載のとおり、指標4-2の達成は困難である。

### 3-3 プロジェクト目標達成状況

プロジェクト目標：チュキサカ県北部地域における農村開発事業の実施を通じ、農村開発モデルと実施体制が確立される。

#### 3-3-1 本プロジェクトにおける用語の定義

##### (1) 農村開発モデル：

市村及び県・大学が活用するモデルであり、チュキサカ県北部地域の集落の住民が自然資源保全と生活水準向上に自立的に取り組むための農村開発の進め方を示すものである。

本モデルは、「開発技術」と「開発事業のサイクル」で構成される。「開発技術」とは、自然資源保全・生計向上のために活用可能な技術リストであり、また地域の状況に応じて活用する手法を示したものである。「開発事業のサイクル」とは、参加型の計画策定、実施、モニタリング及び評価の手法である。

##### (2) 実施体制：

農村開発モデルをボリビア側市村及び県・大学の独自の力で実施できる体制（人員、予算・その他資金確保、関連機関の役割と責任分担・連携体制）のことである。

#### 3-3-2 プロジェクト目標の達成見込み

以下の各指標の達成状況のとおり、プロジェクト目標はほぼ達成された。

指標1：農村開発モデルとして提示できる優良事例が各市村で1件以上実施されている。

指標1は達成された。

現在、対象36集落すべてにおいて、自然資源保全（土壌保全）事業と植林事業が実施され



ている。このほか、ミニプロジェクト（総事業費上限 6,000 ドル）並びにパイロットプロジェクト（総事業費上限 10,000 ドル）と称する事業も実施されている。そしてこれら事業事例のなかから優良事例を選定し、技術リストにて紹介している。対象市村・集落別のミニプロジェクト及びパイロットプロジェクトの実施状況は巻末付属資料「評価報告書（スペイン語）」の Anexo 11 を参照のこと。

指標 2： 県、SFX 大学及び各市町村に農村開発モデルの実施に必要な人員が配置されている。

指標 2 はほぼ達成された。

SFX 大学は農村開発センター構想を進めており、プロジェクトの C/P が当該センターに配置される予定である。県庁は独自に農村開発プロジェクトを実施中であり、活動に必要な農業技師を雇用している。また対象 9 市村では、既存の部署が農村開発関連事業を実施している。

指標 3： SFX 大学農学部は総合農村開発事業を支援する研究・普及・人材育成を担当する部署が設置され、必要な人材が配置されている。

指標 3 はほぼ達成された。

SFX 大学は総合農村開発事業を支援する部署の設置、人員配置ともに大学の方針として決定し、部署の体制構築や人員選定もほぼ完了している。

### 3-4 実施プロセスにおける特記事項

2012 年 7 月頃よりチュキサカ県庁と SFX 大学の政治的対立から県庁が SFX 大学の活動に距離を置くこととなった。これにより、実施機関の連携に障害は生じたが、プロジェクト後半ではそれぞれの実施機関が独立して事業を運営する体制に整理したことで、全プロジェクト実施期間を通じて農村開発事業は実施されてきた。当初想定していた複数の実施機関が有機的に機能する体制ではないが、それぞれの実施機関が独自の力で事業を実施できる体制は構築されたといえる。

## 第4章 評価結果

### 4-1 妥当性

本プロジェクトの妥当性は高いと判断される。

#### (1) 対象地域・社会のニーズとの整合性

チュキサカ県は一部を除いて標高 4,000m 以上の高地であり、貧困率は 90%以上と、ボリビア国で最も貧困割合が高い地域のひとつである。同地域では、溪谷地帯の限られた耕作適地において収奪的な農業が行われてきた結果、土壌侵食や水資源の枯渇が進行し、耕作適地の減少や農地の生産性低下が起きており、同地住民の生活は困窮している。伝統的な農牧生産物の生産向上による食糧生産増加とともに、他の収入源創出を通じた生計向上も必要とされている。本プロジェクトは、自然資源の回復と保全、農牧業開発、社会開発といった総合的農村開発を通じて、農村住民の食糧生産増加や収入源創出などを図り、農村住民の生活の質の向上に寄与しようとするものであり、現地のニーズに合致している。

#### (2) ボリビア国政府の開発政策との整合性

国家開発計画（2006～2011年）のあとを受けて発表された国家アジェンダ 2025 においても食糧の生産性向上が掲げられている。農村開発土地省の農牧セクター開発計画（2011～2015年）では食糧安全と食糧主権をめざした農村開発を目的に掲げ、8つの政策を示している。その政策には、食糧安全と食糧主権のための農牧生産、生産的な農牧開発、収入創出と持続性のある農牧生産物余剰、灌漑水へのアクセスが含まれている。本プロジェクトは、総合農村開発を通じて農村住民の生活の質の向上に寄与する目的を有することから、ボリビア国政府の政策に合致しているといえる。

#### (3) 日本政府の支援方針との整合性

日本政府は、「対ボリビア国別援助計画（平成 21 年 4 月）」の中で、「貧困削減のための社会開発支援」及び「持続的経済成長のための支援」を支援の柱としている。また、「対ボリビア多民族国 国別援助方針（平成 24 年 6 月）」の中で、「地方開発等を通じた生産力向上」は重点分野となっており、農業生産性の向上は貧困削減の観点から重視されている。したがって、農村住民の生活水準の向上をめざす本プロジェクトは、日本政府の援助方針と合致している。

#### (4) プロジェクトアプローチの妥当性

本プロジェクトの対象地域は、ボリビア側が選定を行った。選定地域は都市部周辺に位置する、水、電気といった各種基本インフラが整備されておらず、極貧層が居住している地域である。傾斜地が多く土壌侵食が生じやすい地域であり、また年間雨量も少ないチュキサカ県北部地域において、自然資源の回復・保全（持続的な土壌、水、植生の管理）を基礎としつつ、農牧業生産向上や収入源の創出といった活動を通じて、持続的な農村開発を進めるものであり、プロジェクトのアプローチは妥当性がある。

## 4-2 有効性

本プロジェクトの有効性はやや高いと判断される。

本プロジェクトでは、4つの成果、すなわち、成果1：農村開発事業に従事する中核人材の育成、成果2：農村開発事業の計画から実施までのプロセスのモデル化、成果3：農村開発事業のための資金調達、成果4：農村開発事業実施のための実施体制の整備、を設定している。

成果1～3は第3章に述べたとおり、当初の予定していた成果はほぼ達成された。一方、成果4については、2012年7月頃よりチュキサカ県庁とSFX大学間の政治的対立から県庁がSFX大学の活動と距離を置くこととなり、調整委員会の運営は困難となった。調整委員会が開催されなくなったことにより、県が負担していた予算分の減少、あるいは一部市村との協働体制にも支障が生じ、プロジェクトの円滑な運営に支障を与えた。

実施機関の連携に障害は生じたが、プロジェクト後半ではそれぞれの実施機関が独立して事業を運営する体制に整理したことで、全プロジェクト実施期間を通じて農村開発事業は実施されてきた。当初想定していた複数の実施機関が有機的に機能する体制ではないが、それぞれの実施機関が独自の力で事業を実施できる体制は構築されたといえる。そしてこれらの農村開発事業を基に、プロジェクトで技術リストや参加型事業の実施方法が取りまとめられ、農村開発モデルが確立された。以上より、プロジェクト目標はおおむね達成されたと解釈できる。

政治的な外部要因により、当初想定された成果からプロジェクト目標へつながる流れとはならなかったが、もともとの成果とプロジェクト目標の関係性に特段問題はなかったと判断する。政治的な外部状況を踏まえて、各実施機関が独力で事業を実施できる体制づくりへと、柔軟に方針を変更したことはプロジェクト目標達成の貢献要因として挙げられる。

## 4-3 効率性

本プロジェクトの効率性は高いと判断される。

プロジェクト活動全般の進捗については、おおむね順調で成果を上げつつあり、本プロジェクトの効率性は、満足できる水準であると判断される。

### (1) 日本側投入について

日本側の投入（専門家、本邦研修、第三国研修、機材供与、現地業務費）は、プロジェクト活動を進めるためにおおむね適切なものであり、プロジェクト活動の効率的実施に用いられた。なお、これまでに実施されているボリビア国内や第三国での技術や経験の交換交流は、カウンターパート（C/P）並びに農民の能力強化の効果が高いと判断される。

### (2) ボリビア側投入について

2013年11月時点で、計27人のC/Pが配置されている。内訳は、SFX大学が11人、プロジェクト対象地域の市村が16人である。なお、チュキサカ県庁については政治的対立後、C/Pの位置づけがあいまいになったため、C/P人数としてはカウントしていない。

ボリビア国の地方政府機関においては、選挙で自治体首長が交代すると、職員も大幅に交代するのが通常である。このように雇用状態が不安定な状況の下では、人員交代に際して、能力強化に係る研修を再度実施する必要性が生じるほか、プロジェクト活動現場での経験の蓄

積も失われてしまう。こうした自治体職員の交代は、C/P の能力強化面において効率性を低下させる要因である。

ボリビア側関係機関は、それぞれプロジェクト活動に対して予算支出をしており、プロジェクト活動推進に寄与している。今後も、プロジェクト活動への資金的投入が継続され、プロジェクト活動の効率的で円滑な実施が継続することが期待される。

### (3) プロジェクトの運営管理について

既述のとおり、チュキサカ県庁と SFX 大学間の政治的対立により 2012 年 7 月以降調整委員会が開催されなくなり、関係機関間、特に市村との調整は必ずしも十分ではなかった。

現在、チュキサカ県においては、県庁が主導的に実施する農村開発事業と、大学が主導的に実施する農村開発事業が併存している。本来、大学、県庁ともに同一プロジェクトの実施団体であったので、残りのプロジェクト期間を円滑に実施するために、市村、裨益者が混乱しないよう留意してプロジェクトを実施していくことが求められる。

## 4-4 インパクト

本プロジェクトのインパクトは高いと判断される。

### (1) 上位目標の達成見込み

上位目標：チュキサカ県北部地域に農村開発モデルが普及し、小農の生活水準が改善される。

個別農家レベルでは、上位目標達成につながるインパクトが確認されている。ボリビア側が持続的、効果的に農村開発モデルを普及させることで、これらのインパクトが面的に広がって上位目標達成にいたる見込みは十分にある。

指標 1：チュキサカ県の 72 集落以上で農村開発モデルを活用した農村開発事業が実施されている。

指標 1 は、プロジェクト終了の 3 年後までに達成される可能性が高い。

プロジェクト対象集落において、収入源創出、生活改善の効果が具現化しはじめたことで、本プロジェクト対象外の集落からも、プロジェクトへの参加申し込みや、個々の農家からプロジェクトが土壌保全、修復手段として指導したテラスづくりの支援要請が数多く寄せられている。また、県庁が本プロジェクトと同じ手法でプロジェクト対象外の集落で独自に農業開発事業を実施しており、プロジェクト成果の県内周辺集落への普及は十分期待できる。

指標 2：チュキサカ県において農業生産性が向上している。

指標 2 は、プロジェクト終了の 3 年後までに達成される可能性が十分にある。

灌漑システムの導入により、これまで生産していなかった野菜の生産が可能になった。また、プロジェクト参加農民からの聞き取りでは、土壌保全技術の導入により、主食であるジャガイモなどにおいても若干の生産量増加が実現した。また灌漑の導入により通年で栽培ができるようになったことも生産量が増加した貢献している。さらに、野菜の生産が可能に

なったことで食生活の幅が広がった、というコメントがほとんどすべての裨益者より挙げられている。

このようにプロジェクト対象集落での農業生産性は明らかに向上しており、この農村開発モデルが普及することによって、将来、チュキサカ県の農業生産性が向上する可能性は十分にある。

指標 3： チュキサカ県の農村の収入が向上している。

指標 3 は、プロジェクト終了の 3 年後までに達成される可能性はある。

野菜栽培の導入により、これまで購入していた野菜を自ら生産できるようになり、余剰分の野菜、衣類、乳製品、植林用苗木を集落内あるいは集落外で販売しはじめた事例が、まだ限定的ではあるが、中間レビュー時に比較すれば更に増加してきている。

プロジェクト対象集落で収入向上の事例がみられる段階ではあるが、農村開発モデルが収入増加につながることは確認できている。将来的には、面的にこのモデルを普及させることによって、収入の向上へつながることが期待される。

## (2) その他のインパクト

チュキサカ県北部地域では、土壌流出による土壌ポテンシャルの低下及び灌漑施設の未整備により安定的な農業生産が行えず、出稼ぎ人口の増加や当該地域からの人口流出が起きていた。そのなかで、プロジェクトにより灌漑設備が整備され、土壌状態や水資源を考慮した持続的な農業モデルが構築されたことは、プロジェクト対象集落の人口流出を防ぐことにつながっている。このことは一部地域において、女性の集落活動の活性化や学童の登校率の向上につながっており、正のインパクトといえる。

## 4-5 持続性

本プロジェクトの持続性は高いと判断される。

### (1) 政策面

国家アジェンダ 2025 では生産性向上が重視され、また農牧セクター開発計画（2011～2015 年）では、食糧主権をめざした農村開発が目的となっている。チュキサカ県の開発計画（2009～2015 年）の生産面の開発政策では、包含的な生産的開発や自然資源・環境が政策軸に含まれている。チュキサカ県庁は、引き続き農村開発とそのための実施体制強化を重視していく方針であり、政策面での持続性は確保されるものと考えられる。一方、これまで、こうした政策の多くは、プロジェクトベースで実施されており、当該分野の人員の配置もプロジェクト予算が確保された範囲で充当されてきている。したがって、これらの政策が適切に実施され、農村開発事業のインパクトの持続的発現につながるには、予算の確保が重要な要素となる。このためプロジェクトで確立された事業資金確保メカニズムを有効に活用し資金の持続的確保に取り組むことが必要である。

### (2) 組織面

SFX 大学については、本プロジェクトの活動を継続的に実施していくために、農学部にも農



村開発に係る研究・普及・人材育成を担当する農村開発センター設置計画がある。終了時評価時点ではインフラ建設が開始され、2015年に完成予定となっている。また、本プロジェクトに参加したC/Pがそのまま同センターでの業務に携わるようになっており、チュキサカ県内において農村開発に係る能力向上を主導する組織として継続的な活動が期待できる。

県庁については独自に実施している農村開発事業を来年度以降も継続していくとしている。市村については、本プロジェクト終了後は県庁と連携して農村開発事業を実施していきたいという意向である。

### (3) 財政面

SFX大学は農村開発センター運営のための財源を確保しており、本プロジェクトの成果を持続、発展させるための持続性は高いと判断される。他方、プロジェクト活動を通じて、資金支援に関わる外部機関（国内及び国外）への資金要請手続きが取りまとめられ、8市村及び県庁の計画担当官等がその資金申請手続きを理解し、これまで14の市村において資金申請を行って、資金を獲得している。プロジェクトの残り期間に、外部機関への資金申請を更に継続していくことで、資金獲得能力が向上するものと期待される。

### (4) 技術面

本プロジェクトに参加しているC/Pの技術的能力については、SFX大学教官の場合、国外及び国内での経験交換交流への参加、研修講師としての参加、プロジェクト現場での活動を通じて、その指導者としての能力（知識・経験）が高まった。大学教官の場合の定着性は比較的高いので、技術面での持続性は確保されるものと期待される。

県庁及び市村の技術者の場合、技術者向けの研修参加、農村開発事業の計画作成、対象集落における各種農村開発事業実施における農村住民への指導・モニタリングを通じて、その知識・経験が蓄積されている。ただし、県や市村の長の選挙ごとに、職員も大幅に交代するのが通常であり、本プロジェクト期間中にも多くのC/Pが交代している。このため、県及び市村の人員の資格要件を明確化するとともに、本プロジェクトで取り組んでいるように、新任技術者向け研修がシステム化することが望まれる。

## 4-6 結論

成果指標の達成度から、成果及びプロジェクト目標はほぼ達成されたと判断される。また上位目標の達成見込みに関しては、終了時評価時点において、プロジェクトによるインパクト、波及効果が確認されており、プロジェクト終了後に達成される見込みは十分であると判断される。

5項目評価結果は、妥当性：高い、有効性：やや高い、効率性：高い、インパクト：高い、持続性：高い、とした。政治的要因が一部影響したものの、実施機関の状況を考慮して、実施機関がそれぞれ独自に事業を実施する体制を構築したことにより、当初の目標は十分達成できた。そのため本事業は予定どおり2014年5月に終了することが望ましい。

## 第5章 提言と教訓

### 5-1 提言

- ① プロジェクトは技術協力終了までの6カ月間、技術リスト及び参加型農村開発のマニュアルの作成を着実に進める必要がある。それぞれの現在の作成状況は第3章の〔3-2-2 成果2〕の指標ごとの進捗状況のとおり。
- ② プロジェクトで作成した技術リストや参加型農村開発マニュアルは、サンフランシスコ・ハビエル大学（SFX 大学）での活用が想定されている。プロジェクト終了まで、SFX 大学以外のチュキサカ県農村開発に関心のある者に対しても、プロジェクトの成果を知らしめ、かつ成果がプロジェクト終了後も活用されるよう、広報と普及に努めるべきである。
- ③ プロジェクト終了後は、チュキサカ県北部の農村開発に関わる各機関が、それぞれの立場と活動を尊重し、それぞれの目的をもって、それぞれの役割を果たし、農村開発というボリビアの国としての共通の課題に取り組んでいくことが望まれる。

### 5-2 教訓

ひとつのプロジェクトの実施機関が複数（多数）である場合、それぞれ独立した意思決定をもち、各機関の事情により大幅な方針変更もあり得る機関間の調整をいかに図るかが、円滑なプロジェクト実施の鍵となる。本プロジェクトでは、当初緊密に連携していた複数の実施機関が、政治的な対立によりある時期を境に協調関係を保つことが困難になったことが、効率的なプロジェクトの実施にマイナスの影響を与えた。

政治的対立が生じる可能性がある場合は、必ずしも複数（多数）の機関が一緒に事業運営に関わるのではなく、各機関がそれぞれの役割を理解しそれぞれのイニシアティブを尊重し、それぞれの機関が可能な支援をすることによって、複数の機関間の調整に多大なコストをかけずに事業を進めることができることもあるものと思われる。

## 付 属 資 料

1. 評価報告書（スペイン語）

## INFORME DE EVALUACIÓN FINAL

PROYECTO DEL ESTABLECIMIENTO DEL SISTEMA PARA LA  
IMPLEMENTACIÓN DEL DESARROLLO RURAL SOSTENIBLE  
FASE II EN EL ESTADO PLURINACIONAL DE BOLIVIA

04 DE DICIEMBRE DE 2013

LA MISIÓN DE EVALUACIÓN FINAL  
DEPARTAMENTO DE DESARROLLO RURAL  
AGENCIA DE COOPERACIÓN INTERNACIONAL DEL JAPÓN

# INDICE

## 1. Antecedentes y el resumen de la cooperación

- 1-1 Antecedentes
- 1-2 Resumen del Proyecto
- 1-3 Organismos contraparte
- 1-4 Contenido de Cooperación
- 1-5 Objetivo del estudio
- 1-6 Miembros de misión
- 1-7 Período de estudio
- 1-8 Lista de entrevistados

## 2. Metodología de la Evaluación Final

- 2-1 Método de la Evaluación
- 2-2 Colección de datos y método de análisis.
- 2-3 Restricción y limitación de la evaluación

## 3. Logros y el proceso de la implementación del Proyecto

- 3-1 Aportes
  - 3-1-1 Por el lado japonés
  - 3-1-2 Por el lado boliviano
- 3-2 Logro de los Resultados
  - 3-2-1 Resultado 1:
  - 3-2-2 Resultado 2:
  - 3-2-3 Resultado 3:
  - 3-2-4 Resultado 4:
- 3-3 Estado del logro del Objetivo del Proyecto
  - 3-3-1 Los significados de “Modelo de desarrollo rural” y “sistema de ejecución”
  - 3-3-2 Expectativa de lograr el Objetivo del Proyecto hasta la finalización del Proyecto
- 3-4 Otros asuntos sobre el proceso de implementación
- 3-5 Las actividades y los resultados en el área técnico

## 4. Resultado del Estudio de Evaluación Final

- 4-1 Pertinencia
- 4-2 Efectividad
- 4-3 Eficiencia
- 4-4 Impacto
- 4-5 Sostenibilidad
- 4-6 Conclusión

## 5. Recomendaciones y Lecciones aprendidas

- 5-1 Recomendaciones
- 5-2 Lecciones aprendidas



## Tabla de Abreviaturas y Siglas

Abreviaturas / Siglas	Nombre
C/P	Contraparte
GIS	Sistema de Información Geográfica
GPS	Sistema de Posicionamiento Global
JICA	Agencia de Cooperación Internacional del Japón
MDRyT	Ministerio de Desarrollo Rural y Tierras
PDC	Plan de Desarrollo Comunal
PDM	Matriz de Diseño del Proyecto
PMC	Plan Maestro Comunal
PO	Plan de Operación
POA	Plan de Operación Anual
R/D	Registro de Discusión
USFX	Universidad Mayor, Real y Pontifica de San Francisco Xavier de Chuquisaca
VIPFE	Viceministerio de Inversión Pública y Financiamiento Externo

# 1. Antecedentes y el resumen de la cooperación

## 1-1 Antecedentes

(1) La zona norte del Departamento de Chuquisaca es una de las áreas más pobres en Bolivia. La agricultura extractiva que se ha practicado en áreas de cultivo limitadas ha acarreado la erosión del suelo y el agotamiento de los recursos hídricos, reduciendo al mismo tiempo la superficie de tierra apta para el cultivo y deteriorando la productividad de la tierra. La mayoría de la población que vive de la actividad agropecuaria de subsistencia se vio afectada por esta situación y se agravó el nivel de indigencia.

(2) En vista de la situación, el gobierno japonés, a través del Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca, ayudó a que el gobierno boliviano realizara un estudio demostrativo para la prevención de erosión de tierra agrícola y suelo con el fin de proponer las medidas técnicas para mejorar la situación entre 1999 y 2003 en el Departamento de Chuquisaca y sus resultados fueron recopilados como metodología para la planificación de desarrollo rural y la prevención de erosión. Dicho estudio demostrativo contribuyó a establecer los lineamientos técnicos para la conservación de suelo, pero se quedó pendiente la tarea de establecer el sistema de promover proyectos de desarrollo que respondan a las necesidades de la población utilizando dichos lineamientos.

(3) Para atender a esta tarea, en respuesta a la solicitud del gobierno de Bolivia, la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante se mencionará como JICA) asistió mediante la modalidad de cooperación técnica para el proyecto del Establecimiento del Sistema para la Implementación del Desarrollo Rural Sostenible (correspondiente a Fase 1 del proyecto en ejecución) con los organismos contrapartes, a saber: la Universidad de San Francisco Xavier (en adelante se mencionará como USFX), la Gobernación del Departamento de Chuquisaca (en adelante se mencionará como la Gobernación) y 4 municipios de las áreas del proyecto durante dos años desde enero de 2006 hasta enero de 2008. En el proyecto se realizó el estudio en 8 comunidades de 4 municipios sobre la planificación de desarrollo para reflejar las necesidades de la población, la capacitación de recursos humanos vinculados con el desarrollo rural y la financiación para el desarrollo.

(4) Posteriormente, para responder a la solicitud adicional del gobierno de Bolivia, se está llevando a cabo el Proyecto de cooperación técnica “Establecimiento del Sistema para la Implementación del Desarrollo Rural Sostenible Fase II” (en adelante se mencionará como el Proyecto), durante el período de 5 años desde mayo de 2009 hasta mayo de 2014, ampliando las áreas objeto a 36 comunidades de 9 municipios de la zona norte del Departamento de Chuquisaca. El Proyecto tiene como objetivo aprovechar los resultados de la Fase 1 y establecer los procesos desde la planificación hasta la ejecución del desarrollo rural como el modelo de desarrollo rural basado en la recuperación y la conservación de recursos naturales donde la población jugará el rol importante como el actor principal y así construir el sistema para la implementación de desarrollo rural sostenible.

(5) En la Evaluación de Término Medio realizado en octubre de 2011, se confirmó que respecto a los tres resultados a saber: 1) la formación de los recursos humanos núcleo para el desarrollo rural, 2) el establecimiento del modelo para gestionar todo el proceso del proyecto de desarrollo rural desde la planificación hasta la ejecución, 3) la gestión de fondos para el desarrollo rural, se están logrando los resultados esperados sin mayor contratiempo. Pero el resultado 4: "el desarrollo del sistema de ejecución para la implementación del proyecto de desarrollo rural" se quedó como el tema pendiente a abordar posteriormente. En la etapa de la Evaluación de Término Medio, se concluyó que si las actividades posteriores del Proyecto se desarrollaban fluidamente, alcanzaría el objetivo del Proyecto hasta el final del mismo.

(6) Siguiendo las recomendaciones de la Evaluación de Término Medio, las actividades se estaba desarrollando satisfactoriamente. Pero a partir de julio de 2012 se hicieron evidentes posiciones divergentes entre las organizaciones ejecutoras y el avance de las actividades fueron afectadas por esta situación.

(7) Posteriormente, el Ministerio de Desarrollo Rural y Tierras (en adelante se mencionará como MDRyT) medió entre las organizaciones ejecutoras y en enero de 2013 el Viceministro del MDRyT convocó a una reunión del Comité de Coordinación Conjunta donde las organizaciones ejecutoras de parte boliviana y la Misión de Asesoramiento de JICA trataron de coordinar y deliberar sobre el tema. Como resultado se acordó que el Proyecto continuaría bajo el marco originalmente acordado en el Registro de Discusiones firmado en fecha 12 de mayo de 2009 (en adelante se mencionará como “R/D”). Pero respecto a la administración del Proyecto, se consensuó establecer un Comité Técnico para continuar estudiando las propuestas de mejora.

(8) En mayo de 2013, la propuesta de reestructuración de la administración del Proyecto por parte de MDRyT se presentó a JICA por medio del Viceministerio de Inversión Pública y Financiamiento Externo (VIPFE) del Ministerio de Planificación del Desarrollo. Respondiendo a la propuesta, JICA pidió información para esclarecer las dudas sobre dicha propuesta. Sin embargo la discusión sobre la reestructuración de la administración del Proyecto no está resuelta hasta la fecha.

(9) Por otra parte, a pesar de una serie de sucesos a partir de julio de 2012, las actividades del Proyecto en la zona norte del Departamento de Chuquisaca han sido desarrolladas sin cesar bajo el marco originalmente establecido en R/D.

(10) En noviembre de 2013, de acuerdo con el R/D, se procede a realizar la evaluación final de este proyecto de cooperación, faltando 6 meses hasta la finalización del período de cooperación.

#### 1-2 Resumen del Proyecto

Proyecto: Establecimiento del Sistema para la Implementación del Desarrollo Rural Sostenible Fase II

#### 1-3 Organismos contraparte

Ministerio de Desarrollo Rural y Tierras, La Universidad de San Francisco Xavier, la Gobernación del Departamento de Chuquisaca, 9 municipios objetos del Proyecto (Sucre, Yotala, Poroma, Tarabuco, Yanparáez, Zudañez, Presto, Mojocoya e Icla)

#### 1-4 Contenido de Cooperación

##### (1) Objetivo Superior

Se extiende el modelo de desarrollo rural y mejora la calidad de vida de pequeños agricultores de la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.

##### (2) Objetivo del Proyecto

Se establece el modelo y el sistema para la implementación sostenible del desarrollo rural a través de la implementación de los proyectos de desarrollo rural en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.

##### (3) Resultados

Resultado 1: Se ha formado el recurso humano como núcleos para el desarrollo rural integral en las comunidades y los municipios, la Gobernación y la USFX.

Resultado 2: Se ha establecido un modelo de proceso de desarrollo que abarcan desde la formulación de planes para la implementación de desarrollo rural a través de implementación basadas en los planes de desarrollo rural comunal.

Resultado 3: Los municipios, la Gobernación y la USFX obtienen recursos económicos de fuentes internas y externas para la implementación del desarrollo rural.

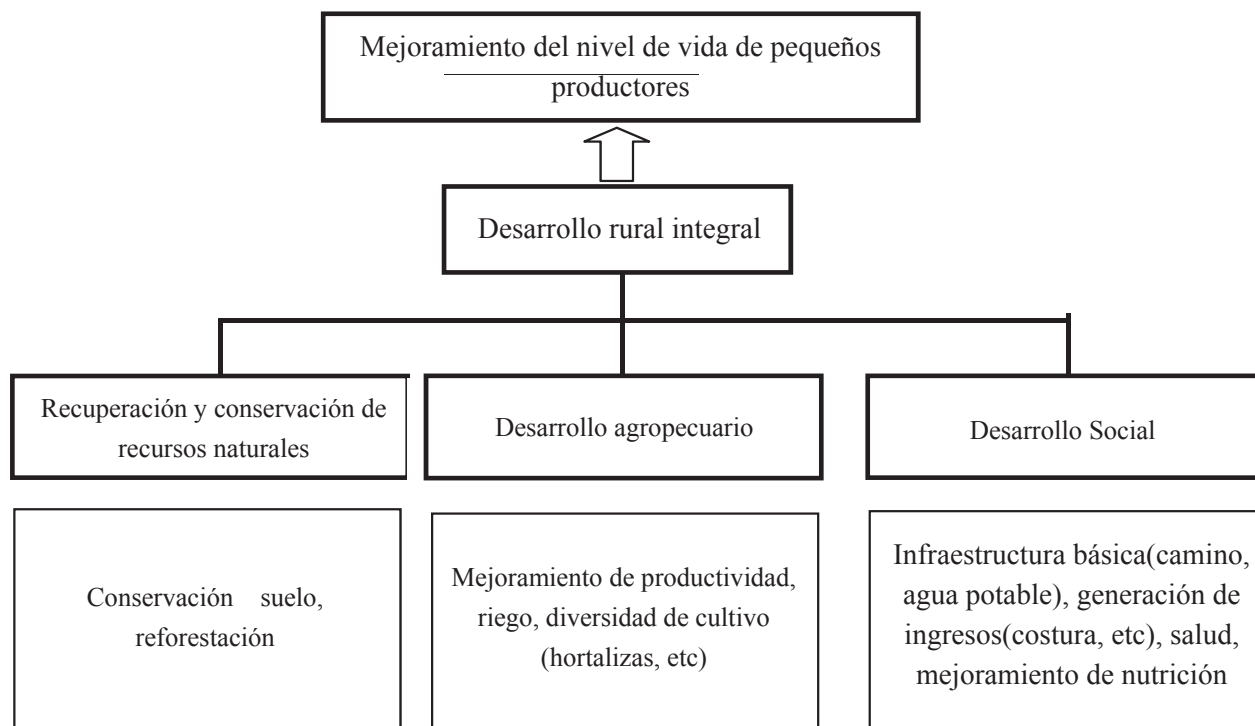
Resultado 4: Los Municipios, la Gobernación y la USFX han operado adecuadamente el Comité de Coordinación para precisar el lineamiento de desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca.

(4) Período de cooperación (R/D): Del 21 de mayo de 2009 al 20 de mayo de 2014

(5) Áreas objeto y los beneficiarios: 36 comunidades del 9 municipios en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca

(6) Información sobre las áreas objeto del Proyecto  
Las áreas objeto del Proyecto son 9 municipios en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca. Por principio se seleccionaron 4 comunidades por municipio para desarrollar las actividades del Proyecto.

(7) Marco y Concepto del Proyecto  
El concepto del Proyecto es como se indica abajo.



#### 1-5 Objetivo del estudio

El objetivo de la Evaluación Final del Proyecto forma parte del proceso del manejo de proyectos de cooperación, consiste principalmente en confirmar logros de actividades, identificar y recomendar las medidas necesarias que se deben tomar hasta el fin del Proyecto, y obtener lecciones aprendidas que puedan aplicarse a otros proyectos y actividades de desarrollo dentro del marco del R/D.

#### 1-6 Miembros de misión

- (1) Jefe: Kenichi Kato, Director, División de Asia del Este y Central, América Latina y el Caribe, y Medio Oriente y Europa, Dpto. de Desarrollo Rural, JICA
- (2) Desarrollo rural: Hitoshi KUBO, Jefe, Unidad de Coordinación de Proyectos, División de Diseño, Dependencia de Región Kinki, Ministerio de Agricultura, Silvicultura y Pesca
- (3) Evaluación y análisis: Akihiro MOCHIZUKI, ICONS(SA)
- (4) Planificación y gestión: Ryosuke MURAKAMI, Oficial, División de Asia del Este y Central, América Latina y el Caribe, y Medio Oriente y Europa, Dpto. de Desarrollo Rural, JICA
- (5) Intérprete: Setsuko OTAKI, Centro de Cooperación Internacional de Japón

#### 1-7 Período de estudio

Del 14 de nov. al 7 de dic. De 2013 (24 días)  
Ver Anexo 1.

1-8 Lista de entrevistados  
Ver Anexo 8.

## 2. Metodología de la Evaluación Final

### 2-1 Método de la Evaluación

El Proyecto fue evaluado por el equipo de evaluación de JICA basado en materiales que reflejan el marco del Proyecto, tales como la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM) y R/D. Las actividades de la evaluación incluyeron análisis de reportes, estudio de campo y entrevistas con personal de las organizaciones involucradas: expertos de JICA, personal de las respectivas oficinas municipales y agricultores beneficiados en el área objetivo del Proyecto. Esta evaluación, se llevó a cabo basada en los Cinco Criterios de Evaluación definido por Comité de Asistencia para el Desarrollo de la Organización para la Cooperación Económica y el Desarrollo.

### 2-2 Colección de datos y método de análisis.

Los datos cuantitativos y cualitativos fueron colectados y utilizados para analizar. La fuente de los datos es la siguiente:

(1) Revisión de las informaciones relacionadas.

- Informe de estudio de elaboración del plan detallado
- Informe de la evaluación medio termino
- Informes del Proyecto

(2) Entrevista a los organizaciones relacionados

- Expertos japoneses (3 expertos)
- Universidad San Francisco Xavier (Rector, Decano de la facultad de Ciencias Agrarias, docentes participados al Proyecto)
- La Gobernación de Chuquisaca
- Mancomunidad de Chuquisaca Norte
- Agricultores beneficiados

### 2-3 Restricción y limitación de la evaluación

El estudio de la evaluación final se realizó a través de las entrevistas y discusiones con la USFX, la Gobernación, los 9 municipios de la zona norte de Chuquisaca, familias rurales beneficiarios, etc. USFX se ha encargado de coleccionar las informaciones y los datos que han venido de las organizaciones relacionadas.

El plazo de estadía en Sucre para análisis fueron 16 días, por la dificultad del acceso a los sitios del Proyecto, la misión visitó 14 comunidades en 36 comunidades.

### 3. Logros y el proceso de la implementación del Proyecto

#### 3-1 Aportes

##### 3-1-1 Por el lado japonés

###### (1) Envío de expertos de JICA

Se han enviado tres expertos de largo plazo en diferentes campos que son los siguientes: 1) Líder Residente 2) Desarrollo Rural y 3) Coordinador. Asimismo, se ha enviado a un Jefe Asesor como experto de corto plazo. El detalle se puede ver en el Anexo 3.

###### (2) Capacitación en Japón y terceros países

Siete personas participaron en la capacitación en Japón y cuatro participaron en la capacitación en terceros países (Ecuador) hasta el momento de la evaluación final. El detalle se puede ver en el Anexo 4.

###### (3) Provisión de equipo

Se ha realizado la entrega de vehículos como 9 motocicletas, una camioneta y un bus; así como el equipo necesario de oficina como computadora e impresora. La suma de la donación de equipos asciende a Bs. 1.629.236 (equivalente a \$US 230.825) hasta el momento de la evaluación final. El detalle se puede ver en el Anexo 5.

###### (4) Costo local asignado por el lado japonés

El costo local asignado por el lado Japonés asciende a Bs. 2.844.274,25 hasta noviembre de 2013, este monto no incluye el costo de envío de expertos ni de capacitación en Japón. El detalle se puede ver en el Anexo 6.

#### 3-1-2 Por el lado boliviano

##### (1) Asignación de contrapartes bolivianas

El proyecto ha contado con un total de 27 personas como personal contraparte, a noviembre de 2013. El desglose es: 11 personas de la USFX (Universidad San Francisco Xavier de Chuquisaca), y 16 personas de los municipios involucrados. El detalle se puede ver en el Anexo 7.

Según la Gobernación el periodo del Proyecto habría concluido en diciembre de 2012, Sin embargo el periodo de ejecución del Proyecto concluirá en mes de mayo 2014 (según el R/D).

La asignación de los técnicos contrapartes de parte de la Gobernación del Proyecto terminó en diciembre de 2012. Sin embargo, la Gobernación ha asignado a los técnicos que antes trabajaban en el Proyecto para ejecutar actividades de desarrollo rural con sus propios planes y recursos..

##### (2) Costo de operación asumida por parte boliviana

La parte boliviana asumió los costos de actividades del Proyecto de acuerdo con el rol correspondiente a cada una las organizaciones ejecutoras.

##### (3) Asignación de instalaciones para el Proyecto

Se ha otorgado al Proyecto una oficina, vehículo, motocicletas y estacionamiento por parte de la USFX.

#### 3-2 Logro de los Resultados

El Logro de los resultados en el momento de la evaluación final es el siguientes;

##### 3-2-1 Resultado 1:

Se ha formado el recurso humano como núcleos para el desarrollo rural en las Comunidades y los Municipios, la Gobernación y la Universidad.

Ha sido fortalecida la capacidad de los recursos humanos de las comunidades, los municipios, la Gobernación y la USFX a través de la realización de diferentes capacitaciones sobre desarrollo rural.

Indicador 1: Están capacitados 10 docentes de USFX, 8 técnicos de la Gobernación, 9 extensionistas
--



de los municipios, 9 planificadores de los municipios y los líderes de las comunidades (al menos 10% de beneficiarios)

El Proyecto cuenta con 11 personas que conforman el personal técnico de la USFX, 8 técnicos de la Gobernación (hasta diciembre 2012) como asesores y 16 técnicos municipales como operadores (8 de tiempo completo y 9 planificadores de tiempo parcial). El Anexo 9 muestra un ejemplo del Programa de Capacitación destinado a los técnicos, este programa comprende dos partes: un curso de capacitación básico y un curso por temática. La estructura temática del programa de capacitación se expone en el siguiente cuadro.

Cuadro de temáticas del Programa de Capacitación para los técnicos

Temáticas	Sub-tema	Duración (días)
Base del curso	Filosofía del proyecto	1
	Organigrama del proyecto, componentes	1
	Identificación de rubros estratégicos	1
	Introducción del ciclo del proyecto	1
	Introducción de mini proyecto	1
	Introducción de desarrollo sostenible	1
	Experiencia de Japón	1
	Actividades de Técnicos en el proyecto	2
	Elaboración de informes, fotografías	1
Recuperación y conservación del recursos naturales	Producción de plantas y manejo de vivero forestal	2
	Conservación de los recursos naturales con enfoque de cuenca (Zanjas de infiltración, terrazas de Banco, barreras muertas de piedra) después de las primeras lluvias	2
	Desarrollo rural sostenible. Situación actual de las comunidades rurales	1
	Sistemas de micro riego (Sistemas de agua)	
	Gestión de sistema de agua	2
	Manejo del sistema (GIS, GPS, Est. total)	2
Gestión: comunicar y organiza/Técnica administrativa	El ciclo del proyecto. Metodología de aplicación	1
	Gestión de financiamiento 1: Fondos APC	1
	Gestión de financiamiento 2	1
	Como facilitar las reuniones, el rol del profesional, estrategias de extensión agropecuaria. Herramientas y/o Técnicas participativas	2
	Organización y relacionamiento institucional (Interculturalidad)	1
	Equidad de género	1
Desarrollo social	Metodologías para el desarrollo rural	2
	Creación de fuentes de ingreso	2
	Educación de salud, actividad de salud	1
Desarrollo agropecuario	Mejoramiento de la fertilidad de suelos	
	Rotación de cultivos	2
	Abonos verdes	2
	Asociación de cultivos	2
	Aprovechamiento de rastrojos	2
	Lombricultura	2
	Sistemas de producción agropecuaria	
	Producción orgánica	2
	Protección vegetal	1
	Elaboración de Biocidas	2
	Huertos familiares	2

	Plantas medicinales	2
	Tecnología post cosecha	2
	Introducción de nuevos cultivos para vender	2
	Mejoramiento de semilla	2
	Transformación de productos agropecuarios	
	Ganadería básica /Sanidad animal	2
	Apicultor	2
	Leche higiénica	2
	Comercialización y Mercadeo	2

Hasta la fecha, se han realizado 24 capacitaciones dirigidas a los técnicos, con 383 horas efectivas y se ha contado con 287 participantes. En algunas capacitaciones participan estudiantes y pasantes de la USFX.

Por otra parte, docentes de la USFX, técnicos de la Gobernación y Municipios participan de la Capacitación en Terceros Países y Capacitación de Intercambio Técnico para mejorar su capacidad técnica.

Los contenidos del Programa de Capacitación para los líderes agricultores son: Técnicas y medidas de control para la degradación de los recursos naturales (metodología y técnica); Gestión: comunicar y organizar; Desarrollo agropecuario (Mejoramiento de la fertilidad de suelos y Sistemas de producción agropecuaria); Evaluación y planeación; y Transformación de productos agropecuarios. La definición del líder comunitarios es como la persona quién lleva a la práctica a su parcela lo que aprendido en la capacitación.

La capacitación para los agricultores se realizó 209 veces en 18 rubros como Conservación de suelos, Forestal, Agrícola, Pecuaria, Frutícola, Hortícola, Socialización del proyecto, Sensibilización y Planificación. El detalle se puede ver en el Anexo 10.

Se espera que los técnicos de la Gobernación y los Municipios sean el recurso humano como núcleos para el desarrollo rural, a través de la acumulación de experiencia en las actividades.

Indicador 2: Se ha elaborado material didáctico y una currícula reflejando los resultados de la ejecución de los cursos.

Se han elaborado materiales didácticos de 18 temas. En la fase 2 comprenden: 6 materiales para los técnicos y 26 materiales para los agricultores como se indica en los siguientes cuadros: Respecto a la currícula, se elaborará de acuerdo con actividades a ser desarrolladas en el instituto de Desarrollo Rural.

#### (1) Texto para Técnico

1	Validación del Método de Cultivo Basado en la Cría de Microorganismos (CMO)
2	Manual de Sanidad de los Animales
3	Manual de mantenimiento de máquinas de coser
4	Manual de utilización de hortalizas en la dieta alimentaria
5	Manual de Plan de Fincas demostrativas
6	Guía técnica de capacitación en Gestión de fondos

#### (2) Cartilla para Agricultor

1	Los Recursos Naturales
2	El Suelo y la Erosión
3	Construcción y Manejo del Nivel En A
4	Barreras Muertas de Piedra y Tierra
5	Control de Cárcavas
6	Zanjas de Coronación
7	Ordeñar Leche Higiénica
8	Elaboración de Queso
9	Producción durazno

10	Producción manzano
11	Producción cítricos
12	Podas durazno
13	Podas manzano
14	Podas cítricos
15	Caprinos
16	Vivero forestal
17	Evaluación y Manejo de plantaciones forestales
18	Producción de claveles
19	Huertos hortofrutícolas
20	Mejoramiento de la fertilidad de suelos (Abonos verdes)
21	Riego
22	Sistemas de agua
23	Hongos
24	Apicultura
25	Fortalecimiento de organizaciones
26	Ovinos

Indicador 3: En el Centro Universitario de Desarrollo Rural de SFX, se ha ejecutado 1 curso para técnicos y 2 cursos para agricultores por año.

Puesto que el Instituto de Desarrollo Rural no está en operación todavía, la capacitación ha sido realizada por el Proyecto.

Respecto a la capacitación de agricultores, se han llevado a cabo 211 cursos de capacitación en 21 comunidades durante 5 años del Proyecto (2009-2013). Por falta de datos, no se ha podido confirmar el número de participantes en los cursos organizados al inicio del Proyecto. Según datos existentes, el número total de participantes ha sido 2635. Respecto a la capacitación de técnicos, se han llevado a cabo 24 cursos de capacitación con la participación total de 287 personas.

### 3-2-2 Resultado 2:

Se ha establecido una serie de modelos de proceso de desarrollo que abarcan desde la formulación de planes para la implementación de desarrollo rural a través de implementación basadas en los planes de desarrollo rural.

Indicador 1: Las 36 comunidades de 9 municipios cuentan con su propio plan de desarrollo rural.

36 comunidades objeto del proyecto tienen elaborado el plan de desarrollo rural. Pero el plan no es quinquenal sino anual.

El proceso de elaboración de Plan de Desarrollo Comunal es el siguiente:

- (1) Realización del Estudio Básico: Ordenar los datos recolectados y elaborar el resumen.
- (2) Elaboración de Plan Maestro Comunal (PMC): La necesidad comunal durante unos 10 años.
- (3) Elaboración de Plan Desarrollo Comunal (PDC): Plan de desarrollo en el periodo del Proyecto.
- (4) Elaboración de Plan Operativo Anual (POA): Plan operativo anual en nivel de comunidad de este Proyecto.

Elaboración de Plan de Desarrollo Comunal

	Municipio	Comunidad	Estudio Básico (EB)		PMC Plan Maestro	PDC Plan Desarrollo	POA 2013 Plan de Operación	PDM Plan Desarrollo
			Datos de EB	Resumen de				
1	Poroma	Poroma	X	X	X	X	X	
2		Chilchista	X	X	X	X	X	Hay
3		Palaja	-	-	-	-	-	
4		Chijmuri	X	EE	EE	EE	X	
5		Saichuma	X	EE	X	X	X	
6		Churuni	EE	EE	EE	EE	X	
7	Presto	Misión Pampa	X	X	X	X	X	
8		Presto Porvenir	X	X	X	X	X	Hay
9		Puca Pampa	X	X	X	X	X	
10		Pasopaya	X	X	X	X	X	
11	Yamparae	Sajpaya	X	X	X	X	X	
12		San Jose de Molles	X	X	X	X	X	Hay
13		Catana	X	X	X	X	X	
14		Molle Punku	X	X	X	X	X	
15	Sucre (Distrito Rural 8)	Mamahuasi	X	X	X	X	X	
16		Tumpeka	X	X	X	X	X	Hay
17		Maracori/ Sunchu Pampa	X	X	X	X	X	
18		Molle Molle	X	X	X	X	X	
19	Yotala	Tipoyo	X	X	X	X	X	
20		Chamina	X	X	X	X	X	Hay
21		Anfaya del Peral	X	X	X	X	X	
22		Palamana	X	X	X	X	X	
23	Icla	Molle Molle	X	X	X	X	X	
24		Kollpa Pampa	X	X	X	X	X	Hay
25		Guitarrani	X	X	X	X	X	
26		Chunca Cancha	X	X	X	X	X	
27	Zudañez	Mayu Torcoco	X	X	X	X	X	
28		Pata Torcoco	X	X	X	X	X	Hay
29		Cerezal	X	EE	EE	EE	X	
30		Pirhua Mayu	X	X	X	X	X	
31	Mojocoya	Rio Toco	X	X	X	X	X	
32		Rumi Cancha	X	X	X	X	X	Hay
33		Chiquerillos	X	X	X	X	X	
34		Casa Grande	X	EE	EE	EE	X	
35	Tarabuco	Puno	X	X	EE	EE	X	Hay
36		Cusi Huasi	X	X	EE	EE	X	
			34	30	29	29	35	

PMC: Plan Maestro Comunal: Demandas de la comunidad para 10 años siguiente

PDC: Plan Desarrollo Comunal: Plan para periodo del Proyecto (Cambio Rural)

PE: Plan Estratégico Comunal: Comprobación de la coherencia con el Plan Desarrollo Municipal

POA: Plan de Operación Anual: Plan anual para el Proyecto (Cambio Rural)

EE: en elaboración

Actualmente, en todas las comunidades beneficiarias se realizan actividades de la recuperación y conservación de recursos naturales (manejo sostenible del suelo, agua y vegetación). Así como otras, enmarcadas en los mini proyectos (costo limitado hasta \$US 6.000) y proyectos piloto (costo limitado hasta \$US 10.000). Estos proyectos están dirigidos a actividades de pequeña inversión con el enfoque de sensibilización de la comunidad y/o entrenamiento de actividades en la organización comunitaria. Los mini proyectos o proyectos piloto se han dirigido más frecuentemente a actividades de forestación, agricultura, pecuaria y riego. Son 36 comunidades las que se han beneficiado por la realización de mini proyectos y proyectos piloto.

Se encuentran en proceso de elaboración. Está previsto que el primer borrador estará terminado el 20 de diciembre de 2013 y se imprimirá en febrero de 2014.

Indicador 3: Ha sido sistematizado el ciclo de desarrollo con la metodología de planificación participativa, ejecución, monitoreo y evaluación de las actividades de desarrollo rural integral.

La elaboración del borrador del manual ha sido concluida. Se imprimirá en marzo de 2014.

### 3-2-3 Resultado 3:

Los municipios, la Gobernación y la USFX obtienen recursos económicos de fuentes internas y externas para la implementación del desarrollo rural.

Se desarrolló una base de datos de entidades que financian proyectos para el desarrollo para acceder a los fondos aparte de los fondos de la gobernación y de los municipios y se instaló en las computadoras de los municipios, que están realizando la capacitación sobre su manejo.

Actualmente, existen casos de que algunos proyectos que han solicitado fondos han sido arprobados y ejecutados. Consiguientemente, la gestión de fondos para el proyecto de desarrollo rural por parte de la gobernación y de los municipios ha avanzado satisfactoriamente. Se espera que los municipios impulsen las actividades de desarrollo rural consiguiendo más financiamiento a través del uso de la base de datos.

Indicador 1: Han sido sistematizados los procesos para la obtención de los fondos

Se ha elaborado el manual para la tramitación de obtención de fondos.

Indicador 2: Extensionistas, planificadores de los municipios y los encargados de la Gobernación y USFX comprenden el trámite de solicitud de financiamiento.

Se realizaron 20 reuniones para la explicación general y la instrucción sobre la elaboración de documentos.

Los responsables de las zonas y los técnicos de municipios prepararon formularios y documentación y dieron la explicación a la presentación de la solicitud.

Indicador 3: En 36 comunidades los documentos de solicitud de financiamiento están elaborados adecuadamente para los proyectos de desarrollo rural integral

36 comunidades presentaron por lo menos una vez solicitudes para obtener fondos.

A la fecha, se ha presentado solicitudes para financiar 29 proyectos en el marco del Proyecto. Las entidades con las que se ha gestionados recursos son: Fondo de Contravalor del Programa 2KR, el Programa de Asistencia para Proyectos Comunitarios (APC) de la Embajada del Japón, el Fondo

Indígena, programa “MI AGUA”, el Servicio Departamental de Riego (SEDERI), el Fondo Nacional de Inversión Productiva y Social (FPS) y la Cooperación Belga.

Se ha comprendido el procedimiento de solicitud de financiamiento a través de la capacitación por parte del Proyecto; se considera que la capacidad de elaborar documentos para solicitar financiamiento está desarrollada.

Indicador 4: En 36 comunidades de 9 municipios se invierten los recursos financieros obtenidos.

A la fecha de la evaluación final, 14 proyectos obtuvieron fondos a través de la solicitud presentada con el apoyo del proyecto y fueron ejecutados.

3-2-4 Resultado 4:

Municipios, Gobernación y USFX han operado adecuadamente el comité de coordinación para precisar el lineamiento de desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca.

Indicador 1: Se ha establecido el comité de coordinación para realizar el desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca, y están acordado el rol de los municipios, Gobernación y USFX.

Se convocó el comité de coordinación una vez durante el período del proyecto y participaron 6 municipios.

Indicador 2: El comité de coordinación se reúne periódicamente para consultar y coordinar las actividades de desarrollo rural integral

El comité de coordinación no ha sido convocado.

3-3 Estado del logro del Objetivo del Proyecto

Objetivo del Proyecto: Se establece el modelo y el sistema para la implementación sostenible del desarrollo rural a través de la implementación de los proyectos de desarrollo rural en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.

3-3-1 Los significados de “Modelo de desarrollo rural” y “sistema de ejecución”

Modelo de desarrollo rural : Es un modelo que utilizan municipios, Gobernación y Universidad, y que indica la metodología de desarrollo rural para que la población de las comunidades de la zona norte del Departamento de Chuquisaca puedan realizar por su propia iniciativa las actividades relacionadas a la conservación de recursos naturales y el mejoramiento de nivel de vida.

Este modelo está compuesto por “las técnicas para el desarrollo” y “el ciclo del proyecto para desarrollo”.

Las técnicas para el desarrollo consisten en diversas técnicas (ver las listas técnicas) que pueden ser utilizadas para la conservación de recursos naturales y el mejoramiento de vida familiar e indican también metodologías aplicables en función de las condiciones locales.

El ciclo de proyecto para desarrollo está compuesto de la metodología de planificación participativa, ejecución, monitoreo y la metodología de evaluación.

Sistema de ejecución: Es un sistema (personal, recursos financieros internos y externos, rol y responsabilidad de las instituciones relacionadas y estructura de coordinación) que permite ejecutar



el modelo de desarrollo rural de forma autónoma a la parte boliviana como son los municipios, la gobernación y USFX.

### 3-3-2 Expectativa de lograr el Objetivo del Proyecto hasta la finalización del Proyecto

Indicador 1: Se ha ejecutado más de un caso de excelencia que se puede proponer como modelo de desarrollo rural en cada municipio

Están seleccionando casos de buenas prácticas de los mini-proyectos y son presentados en las listas técnicas.

Entre los proyectos formulados de desarrollo rural, hay 21 proyectos para los cuales se ha gestionado recursos. De ellos, 8 proyectos han sido aprobados y ejecutados o se encuentran en ejecución. El monto total de estos proyectos aprobados alcanza Bs.12.604.208 (equivale unos \$US 1.8 millones).

Indicador 2: Se ha asignado los recursos humanos necesarios para implementar el modelo de desarrollo rural en la Gobernación, la USFX y los municipios

Está previsto que docentes y personal de la USFX que han estado involucrados en el Proyecto participarán en los proyectos a ser implementados por el Instituto de Desarrollo Rural. La Gobernación está realizando por su cuenta actividades de desarrollo rural con los agrónomos necesarios.

En la Gobernación y los 9 municipios se están ejecutando los trabajos relacionados al desarrollo rural a través de las unidades existentes. Todavía queda la tarea pendiente de establecer las ordenanzas y reglamentos para definir el rol de cada una de las unidades de desarrollo rural.

Indicador 3: Se ha establecido una sección para la investigación, interacción y formación de recursos humanos en la facultad de Ciencias Agrarias de USFX que apoya las actividades de desarrollo rural integral con la asignación de personal necesario

El Instituto de Desarrollo Rural empezará a operar a partir de 2014, utilizando las instalaciones existentes en Villa Carmen, Barranca. Está previsto que la construcción de nuevas instalaciones del instituto en Yotala terminará en 2015. Para iniciar la operación del Instituto de Desarrollo Rural, USFX piensa asignar a los docentes de CR al Instituto de Desarrollo Rural.

### 3-4 Otros asuntos sobre el proceso de implementación

A partir de julio de 2012 se hicieron evidentes posiciones divergentes entre las organizaciones ejecutoras y el avance de las actividades fueron afectadas por esta situación. Posteriormente, el MDRyT medió entre las organizaciones ejecutoras y en enero de 2013 el Viceministro de MDRyT convocó a una reunión del Comité de Coordinación Conjunta donde las organizaciones ejecutoras de parte boliviana y la misión de asesoramiento de JICA trataron de coordinar y deliberar sobre el tema. Como resultado se acordó que el Proyecto continuaría bajo el marco originalmente acordado en el Registro de Discusiones firmado en fecha 12 de mayo de 2009 (en adelante se mencionará como “R/D”). Pero respecto a la administración del Proyecto, se consensuó establecer un Comité Técnico para continuar estudiando las propuestas de mejora.

En mayo de 2013, la propuesta de reestructuración de la administración del Proyecto por parte de MDRyT se presentó a JICA por medio del Viceministerio de Inversión Pública y Financiamiento

Externo (VIPFE) del Ministerio de Planificación del Desarrollo. Respondiendo a la propuesta, JICA pidió información para esclarecer las dudas sobre dicha propuesta. Sin embargo la discusión sobre la reestructuración de la administración del Proyecto no está resuelta hasta la fecha.

### 3-5 Las actividades y los resultados en el área técnica

El Proyecto está desarrollando las actividades en cuatro áreas; capacitación, desarrollo rural, gestión de fondos e institucionalización.

Se describe abajo lo que se ha confirmado respecto al aspecto técnico del desarrollo rural basado en las entrevistas a las organizaciones relacionadas y visitas a los sitios del Proyecto.

#### (1) Situación actual de las actividades en el área de desarrollo rural.

Cada uno de los 9 municipios consta de 50 comunidades aproximadamente. Cada municipio ha seleccionado 4 comunidades como área objeto del Proyecto. Por ende, 36 comunidades de 9 municipios participan en el Proyecto. Cada comunidad consta de 50 a 100 familias agrícolas aproximadamente.

#### (2) Sistema de ejecución

Sistema de ejecución es el siguiente. Los 9 municipios, área objetivo del Proyecto se dividen en 3 zonas (3 municipios x 3 zonas) y para cada una de ellas se ha colocado un responsable del Proyecto. El responsable de cada zona se encarga de la coordinación y comunicación con el encargado de la USFX, y al mismo tiempo es responsable de gestionar los trabajos de calificación, adopción y ejecución de los proyectos solicitados por los municipios. USFX dirige las actividades en los sitios del Proyecto y el técnico de los municipios visita en forma itinerante las comunidades para asistir y asesorar a los agricultores.

Cada técnico del municipio visita 4 comunidades una vez por semana, brinda el apoyo técnico necesario en el campo, en el laboratorio de la USFX o en el sitio para la implementación de proyectos piloto o mini-proyectos.

#### (3) Las actividades

En el área de desarrollo rural, a la fecha 266 proyecto piloto y mini-proyecto han sido ejecutados en 36 comunidades del 9 municipios. El detalle se puede ver en el Anexo 11.

Las actividades son (1) establecimiento de terraza para cultivo pendiente, instalación de sistema riego, mejoramiento de tierra, protección de tierra, manejo del cultivo, forestación, mejoramiento del ganado, procesamiento de leche y otros como el modelo de desarrollo rural y protección ambiental, (2) establecimiento del grupo de mujeres, mejoramiento de vida, costura / tejido / textil, administración agrícola, ventas en el mercado y otros como el modelo de desarrollo social

El Proyecto está recopilando los resultados del 266 mini-proyectos ejecutados durante el Proyecto para elaborar "Listas de técnicas". Se selecciona buenos ejemplos del mini-proyecto según la lista técnica para elaborar "Manual" y se combinan diferentes manuales para hacer un paquete ( Terraza, Sistema del riego, Mejoramiento del suelo y Cultivo de hortalizas), que se define como el modelo de desarrollo rural.

Cada comunidad tiene diferentes condiciones del suelo, el clima, etc., por lo tanto la "Réplica" del modelo se construye de acuerdo con las condiciones locales para que los agricultores locales puedan aplicar el modelo más adecuado a su condición. En cuanto a listas técnicas, algunas ya están elaboradas y el resto será elaborado en el tiempo que resta del período del Proyecto.

#### (4) Observaciones

En primer lugar, como se trata de un proyecto participativo con los agricultores, se ha brindado la asistencia de acuerdo con la necesidad de cada una de las comunidades objeto del Proyecto y se han generado los efectos sumamente importantes en algunas comunidades. También se sienten el esfuerzo propio y la apropiación del Proyecto por parte de los beneficiarios.

Además, USFX, una institución ejecutora del Proyecto plantea establecer el Instituto de Desarrollo Rural en el recinto universitario. Este planteamiento podrá contribuir a difundir y desarrollar más las actividades del Proyecto en el futuro.

Por otra parte, se puede esperar que” el modelo de desarrollo rural” que será sistematizado por el Proyecto pueda servir de referencia valiosa para otras áreas que tengan las condiciones similares.

## 4. Resultado del Estudio de Evaluación Final

### 4-1 Pertinencia

Se juzga que la pertinencia del Proyecto es alta.

#### (1) Coherencia con las necesidades de las áreas objeto y la sociedad

El departamento de Chuquisaca ocupa el 5% del territorio y la zona norte es la tierra de altura que se considera una de las áreas más pobres en Bolivia con el índice de pobreza superior al 90%. La agricultura extractiva que se ha practicado a lo largo años en esta región del valle donde el área de cultivo es limitada ha acarreado la erosión del suelo y el agotamiento de los recursos hídricos, reduciendo al mismo tiempo la superficie de tierra apta para el cultivo y deteriorando la productividad de la tierra. La mayoría de la población que vive de la actividad agropecuaria de subsistencia se vio afectada por esta situación y está aumentando el nivel de indigencia de la población. Aparte de aumentar la producción agropecuaria tradicional, es indispensable mejorar la calidad de vida por medio de generación de otros ingresos. El Proyecto pretende aumentar la producción de alimentos y generar fuentes de ingresos con el fin de contribuir al mejoramiento de la calidad de vida de la población rural por medio del desarrollo rural integral que comprende la recuperación y la conservación de recursos naturales, el desarrollo agropecuario y el desarrollo social.

Además, la necesidad del grupo objeto es desarrollar el sistema de riego y aumentar la producción a través de la recuperación del suelo y el mejoramiento de la tecnología de la producción agrícola. Por consiguiente, el Proyecto concuerda con la necesidad de las áreas objeto, la sociedad y el grupo objeto del proyecto.

#### (2) Coherencia con las políticas de desarrollo del gobierno boliviano

La Agenda Patriótica 2025 que se publicó siguiendo el Plan Nacional de Desarrollo (2006-2011) también considera prioritario el mejoramiento de la productividad alimentaria. El Plan de Desarrollo del Sector Agropecuario 2011-2015 del Ministerio de Desarrollo Rural y Tierras sostiene como el objetivo la seguridad y la soberanía alimentaria y señala 8 políticas que incluyen la producción agropecuaria para la seguridad y la soberanía alimentaria, el desarrollo agropecuario productivo, la generación de ingresos, el excedente agropecuario sostenible y el acceso al agua de riego. El Proyecto tiene como el objetivo contribuir a mejorar la calidad de vida de los agricultores a través del desarrollo rural integral y concuerda con las políticas del gobierno boliviano.

#### (3) Pertinencia del enfoque del Proyecto

Las áreas objeto del Proyecto han sido seleccionadas por la parte boliviana. Las seleccionadas son las áreas alrededor del área urbana donde vive la población de extrema pobreza sin contar con la infraestructura básica como agua, energía eléctrica, etc. La zona norte del Departamento de Chuquisaca es el área con pendiente fácil de erosionarse y tiene poca precipitación. El Proyecto trata de promover el desarrollo rural sostenible basado en la recuperación y la conservación de recursos naturales (el manejo sostenible de suelo, agua y vegetación) a través de las actividades que permiten mejorar la producción agrícola y generar ingresos y en este sentido, el enfoque del Proyecto es pertinente.

### 4-2 Efectividad

Se juzga que la efectividad del Proyecto es relativamente alta.

El proyecto ha establecido 4 resultados a saber: 1. la formación de recursos humanos núcleo que trabajan para el proyecto de desarrollo rural; 2. el establecimiento del modelo para gestionar todo el

proceso de desarrollo rural que comprende desde la planificación hasta la ejecución; 3. la gestión de fondos para el proyecto de desarrollo rural; 4. el desarrollo del sistema de ejecución para la implementación del proyecto de desarrollo rural.

El resultado 1 y el resultado 3 han logrado todos los indicadores. Respecto al resultado 2, ha logrado todos los indicadores exceptuando el indicador 2; listas técnicas. En cuanto a las listas técnicas, la elaboración de las mismas en 9 áreas ha avanzado relativamente y hay algunas áreas que han terminado de elaborar dichas listas. Está previsto que la elaboración de las listas técnicas de todas las áreas terminará en enero de 2014 y es muy probable que se logre el resultado. Respecto al resultado 4, la Gobernación habría comprendido que el período de la implementación del Proyecto fue hasta diciembre de 2012, según el acuerdo preliminar entre las organizaciones ejecutoras bolivianas y JICA antes de firmar el R/D. Por lo tanto, la asignación de los técnicos contrapartes de parte de la Gobernación al Proyecto terminó en diciembre de 2012. Posteriormente la Gobernación desarrolló diversas actividades de desarrollo rural, a partir de entonces no se convocó el comité de coordinación. A falta de asignación de recursos de parte de la Gobernación para el Proyecto se empezó a tener dificultades en el sistema de colaboración con los municipios, afectando la operación fluida del Proyecto desde enero 2013.

Sin embargo, aunque la cooperación no se desarrolló con todas las organizaciones concernientes reunida en el mismo comité de coordinación, las organizaciones están impulsando el desarrollo rural en el departamento de Chuquisaca asumiendo el papel correspondiente a cada una de ellas o a través de una colaboración entre dos o más organizaciones según la necesidad. A pesar del cumplimiento parcial del resultado 4, esta situación no ha afectado tanto para lograr el objetivo del Proyecto.

Esta incidencia ha tenido menos afectación para el logro del objetivo.

Indicador 1: Han sido seleccionados casos de excelencia e incorporados en calidad de modelo en las listas técnicas. Por consiguiente, cuando termine la elaboración de listas técnicas de todas las áreas, también se cumplirá este indicador.

Indicador 2: USFX y los municipios han asignado el personal necesario para la implementación del modelo de desarrollo rural. Aunque la Gobernación no está participando actualmente en el Proyecto, está implementando proyectos similares y se puede interpretar que ha cumplido el objetivo de asignar el personal necesario para la implementación del Proyecto.

Indicador 3: USFX está construyendo el Instituto de Desarrollo Rural como una entidad para implementar el proyecto de desarrollo rural. Está previsto que la construcción terminará en 2015 y mientras tanto, está decidido utilizar las instalaciones de Villa Carmen y Barranca como el Instituto de Desarrollo Rural. Asimismo, los mismos docentes que han participado en el Proyecto serán adscritos al Instituto de Desarrollo Rural.

Por lo arriba mencionado, se puede interpretar que en término general el objetivo del Proyecto ha sido alcanzado.

#### 4-3 Eficiencia

Se juzga que la eficiencia del Proyecto es alta.

Las actividades del Proyecto han avanzado fluidamente en término general y están logrando los resultados. Por lo tanto se juzga que la eficiencia del Proyecto es de un nivel satisfactorio.

(1) Inversión de parte japonés

La inversión de parte japonesa (expertos, capacitación en Japón, capacitación en terceros países, donación de equipos, gastos de operación local) ha sido en general adecuada para desarrollar las actividades del Proyecto y ha sido utilizada eficientemente para realizar las actividades del Proyecto. Por otra parte, se juzga que el intercambio técnico y de experiencias que se ha realizado en el país y en terceros países es muy efectivo para fortalecer la capacidad tanto de contrapartes y como de agricultores.

#### (2) Inversión de parte boliviana

Hasta noviembre de 2013, 27 contrapartes han sido asignados. El desglose es el siguiente: 11 personas de USFX, 16 personas de los municipios, 8 personas de la Gobernación (hasta diciembre de 2012).

Las organizaciones bolivianas han desembolsado el presupuesto para las actividades del Proyecto y contribuido a la promoción de las mismas. Se espera que se mantenga la inversión de fondos y continúe eficiente y fluidamente la implementación de actividades del Proyecto.

#### (3) Sobre la gestión del Proyecto.

Como se mencionó arriba, debido a las posiciones divergentes entre las organizaciones ejecutoras, no se ha convocado el comité de coordinación desde julio de 2012. A pesar de que el plan original consideraba que las organizaciones ejecutoras podrían organizar armónicamente el comité de coordinación del Proyecto, en la práctica el comité no funcionaba para resolver las posiciones divergentes y se generaba la carga adicional de trabajo por la necesidad de coordinación. Por lo tanto, desde la visión de la gestión de proyecto, la eficiencia no es muy alta.

Sin embargo la implementación eficiente del Proyecto no depende siempre de la coordinación por el comité de coordinación y al contrario se puede considerar que la coordinación de discrepancias y diferencia de opiniones entre las organizaciones ejecutoras genera la carga adicional de trabajo. Por esta razón, el hecho de no haber sido convocado el comité de coordinación no determina que el nivel de eficiencia del Proyecto es bajo.

#### 4-4 Impacto

Se juzga que el impacto del Proyecto es alto.

##### (1) Probabilidad de alcanzar el objetivo superior

Objetivo Superior: Se extiende el modelo de desarrollo rural y mejora la calidad de vida de pequeños agricultores de la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.

Ha sido confirmado el impacto que puede conducir al alcance del objetivo superior en las familias agrícolas en forma puntual. Sin embargo todavía quedan los desafíos como asegurar la inversión inicial o el canal de distribución, etc. para que este impacto puntual adquiera el nivel dimensional que permita alcanzar el objetivo superior. Por esta razón, es importante desarrollar y difundir las buenas lecciones del Proyecto que asegure a la parte boliviana el emprendimiento sostenible y efectivo del desarrollo rural.

Indicador 1: Se están implementando proyectos de desarrollo rural integral aplicando el modelo en más de 72 comunidades de la zona norte del Departamento de Chuquisaca.
--

En la segunda mitad del Proyecto, el establecimiento del modelo de desarrollo rural ha empezado a arrojar los efectos concretos como la generación de ingresos y el mejoramiento de la calidad de vida en las áreas objeto del Proyecto. Las comunidades que no han formado parte del Proyecto están



solicitando participar en el mismo y hay muchos agricultores que en forma particular piden la asistencia para la construcción de terrazas de banco que se instruyó en el Proyecto como medio de conservación y reparación de suelo. Además, el hecho de que la Gobernación esté implementando su proyecto de desarrollo rural aplicando la misma metodología del Proyecto es una muestra de que el Proyecto tiene un alto nivel de apreciación.

Indicador 2 : Se ha mejorado la productividad agrícola en el Departamento de Chuquisaca.

La introducción del sistema de riego ha permitido la producción de hortalizas que no se producían antes. Según las entrevistas a los agricultores, la producción de patatas, que es su alimento principal, también ha aumentado ligeramente gracias a la tecnología de la conservación de suelo y el sistema de riego que les permite la producción durante todo el año. Además, casi todos los beneficiarios comentan que gracias a la producción de hortalizas, la dieta diaria es más variada.

Indicador 3: Se ha elevado el nivel de ingresos en las comunidades del Departamento de Chuquisaca.

Por la introducción de hortalizas, pueden producirlas para su consumo sin tener que comprarlas y ya se ven casos de que los agricultores venden dentro y fuera de la comunidad el excedente de hortalizas, ropa, productos lácteos y el plantón forestal . Aunque todavía son limitados, están aumentando estos casos en comparación con el período de la evaluación de término medio.

## (2) Otros impactos

Los meses entre junio y agosto corresponden a la época seca en la zona norte del Departamento de Chuquisaca. Antes de tener el sistema de riego, no se podía producir durante la época seca, y emigraban temporalmente por trabajo a Santa Cruz u otros lugares para mantener la vida de la familia. La construcción del sistema de riego ha abierto la posibilidad de vender hortalizas pudiendo producir durante todo el año, pueden vender productos cuando se paga el mejor precio en el mercado y obtener los ingresos mucho más elevados aun por la venta de papa, si lo hace en la época de escasez en el mercado. Gracias a ello, están apareciendo familias que ya no tienen que emigrar por trabajo. Muchas de ellas son las que han contado con el sistema de riego en la etapa temprana del Proyecto y trabajado para el mejoramiento de suelo. Por otro lado, en caso de familias donde se ha introducido recientemente el sistema de riego, todavía no llegan al nivel de dejar la emigración completamente, pero tienden a reducir el tiempo de trabajo fuera de la comunidad. Todos los beneficiarios entrevistados contestaron que han empezado a tener esperanza en la agricultura.

Al trascender la noticia de estos resultados concretos a agricultores vecinos y las comunidades fuera del Proyecto, han empezado a visitar la finca y el vivero de agricultores que trabajan con el Proyecto y algunos han introducido el mismo modelo, lo cual se considera como un impacto generado por el Proyecto. Según las entrevistas a los miembros del Proyecto, hay agricultores vecinos que han introducido el sistema de terrazas de banco y están llegando las solicitudes de otras comunidades para su participación en el Proyecto.

Paralelamente, se han confirmado los impactos positivos del Proyecto tales como la promoción de la participación de las mujeres a través de la cosecha de hongos que crecen en el pinar, el fortalecimiento de la capacidad de manejar fondos de las comunidades para depositar los gastos de mantenimiento de los equipos otorgados por el Proyecto y los niños han podido asistir a su escuela (sin tener que ir a buscar el agua).

#### 4-5 Sostenibilidad

Se juzga que la sostenibilidad del Proyecto es alta.

##### (1) Aspecto político

La Agenda Patriótica 2025 considera prioritario el tema del mejoramiento de la productividad, el Plan de Desarrollo del Sector Agropecuario sostiene como el objetivo el desarrollo rural para la soberanía alimentaria y el Plan de Desarrollo del Departamento de Chuquisaca 2009-2015 contempla dentro de las políticas de desarrollo del sector productivo el desarrollo productivo integral y la conservación de recursos naturales y medio ambiente. La gobernación del Departamento de Chuquisaca tiene el lineamiento de mantener como uno de los temas prioritarios el fortalecimiento del desarrollo rural y el sistema de ejecución y se considera que existe sostenibilidad. Por otro lado, muchos de los planes de desarrollo suelen ser implementados en base a proyectos y asignándose personal dentro de las medidas de la posibilidad presupuestaria. Por consiguiente, asegurar la provisión presupuestaria es un factor importante para la implementación adecuada de los planes de desarrollo y lograr los efectos sostenibles de los proyectos de desarrollo rural. En este sentido es necesario tratar de asegurar fondos de forma sostenible aprovechando el mecanismo de gestión de fondos establecido por el Proyecto.

##### (2) Aspecto organizacional

USFX tiene el plan de establecer el Instituto de Desarrollo Rural en la facultad de Ciencia Agrícola para promover la investigación, la interacción y la formación de recursos humanos en materia de desarrollo rural con el fin de desarrollar en forma sostenible las actividades del Proyecto. En el momento de la Evaluación Final, ya ha comenzado la construcción de la infraestructura y está previsto terminar la construcción en 2015. Está planificado que los gastos de operación serán cubiertos por los recursos propios provenientes de IDH. Además está previsto que los docentes que han participado en el Proyecto serán adscritos a dicho Instituto y se puede esperar que el Instituto desarrolle sosteniblemente las actividades funcionando como organización que lidere el fortalecimiento de la capacidad de desarrollo rural desarrollando en el Departamento de Chuquisaca.

Por otra parte, la Gobernación plantea continuar el proyecto de desarrollo rural por su cuenta a partir del año próximo y los municipios tienen la disposición de coordinar con la Gobernación para la implementación de desarrollo rural una vez terminado el Proyecto. Pero dado que la asignación de personal suele hacerse en base al Proyecto, cuando el Proyecto no dispone suficientemente del presupuesto, se teme la falta de recursos humanos.

Este Proyecto pretende brindar asistencia para fortalecer todo el proceso de desarrollo rural desde la planificación, la asistencia técnica agropecuaria hasta el monitoreo, etc., a diferencia de otros proyectos enfocados en la infraestructura o la entrega de semillas o fertilizantes y para ello es necesario realizar visitas una vez por semana, etc. para brindar la asistencia técnica itinerante. Por esta razón, se considera indispensable contar con la asignación de personal equivalente a la situación actual en la Gobernación y los municipios.

##### (3) Aspecto financiero

USFX tiene previsto utilizar los fondos propios de IDH para la operación de Instituto de Desarrollo Rural y se considera que la sostenibilidad del Proyecto desde la visión de la sostenibilidad y el desarrollo de los resultados alcanzados por el Proyecto es alta.

Por otra parte, el procedimiento para la gestión de fondos de los entes externos (nacional e internacional) está sistematizado a través de las actividades del Proyecto y los responsables de los 8 municipios y la Gobernación han entendido el procedimiento de la gestión de fondos. Hasta la fecha

14 municipios han gestionado y adquirido los fondos. Se espera que se mejorará la capacidad de obtener fondos realizando continuamente la gestión de fondos de los entes externos.

#### (4) Aspecto técnico

Respecto a la capacidad técnica de los docentes de USFX que han participado en el Proyecto, su capacidad como líderes (los conocimientos y las experiencias) se ha reforzado por medio de la participación en los intercambios de experiencias en el exterior y en el país, la participación como instructores de capacitación y las actividades del Proyecto. Puesto que la estabilidad de docentes universitarios es relativamente alta, se espera que se asegurará la sostenibilidad en aspectos técnicos.

Respecto al personal técnico de la Gobernación y los municipios, han acumulado los conocimientos y experiencias a través de la participación en la capacitación para el personal técnico, la elaboración de la planificación del Proyecto de desarrollo rural, la orientación de agricultores y el monitoreo en la implementación de proyectos de desarrollo rural de diferente índole. Sin embargo ha habido muchas veces cambio de personal durante el Proyecto. Por esta razón se debe establecer el mecanismo de capacitación sistemática para el personal técnico recién ingresado.

#### 4-6 Conclusión

Se concluye que el objetivo del Proyecto se logrará en mayo de 2014, el fin del período de cooperación técnica.

## 5. Recomendaciones y Lecciones aprendidas

### 5-1 Recomendaciones

- (1) Durante seis (6) meses hasta el fin de la cooperación, debe agilizar la documentación de “el modelo de desarrollo rural”, que consiste en una serie de modelos de proceso de desarrollo rural que abarcan desde la formulación de planes para la implementación de desarrollo rural.
- (2) Cuando se concluya la documentación del modelo de desarrollo rural, podría divulgar y difundir el modelo para que se conozcan y se utilicen los resultados del Proyecto por los actores interesados en desarrollo rural del departamento de Chuquisaca.
- (3) Después de terminar el Proyecto, las instituciones que tiene misión de impulsar el desarrollo rural en el departamento de Chuquisaca, tengan su propia iniciativa y desempeñen el papel que le corresponde a cada parte, respetando mutuamente sus posiciones y actividades a fin de contribuir al desarrollo rural sostenible.

### 5-2 Lecciones aprendidas

Cuando hay varias organizaciones involucradas a un proyecto, es clave verificar cómo pueden coordinar eficientemente entre las instituciones que tiene su propio poder de decisión y hay posible cambio de política institucional para la implementación de proyecto. En el Proyecto, los cambios de política institucional y personal involucrados al Proyecto afectó negativamente para mantener una relación cooperativa entre las instituciones ejecutoras, que tenían buena relación complementaria en el inicio del Proyecto. Cuando se planifique un proyecto de desarrollo rural en el futuro o en otros lugares, no habrá que trabajar necesariamente con varias organizaciones conjuntamente todo el tiempo, sino que podría ser que cada institución trate de comprender y respetar mutuamente su propia iniciativa y brindar aportes dentro de la medida de su posibilidad evadiendo la carga de trabajo que supone la coordinación entre diferentes instituciones.

## Lista de Anexos

- Anexo 1 Itinerario de la Misión de Evaluación Final
- Anexo 2 Matriz de Diseño del Proyecto (PDM) Versión 3
- Anexo 3 Envío de Expertos Japoneses
- Anexo 4 Lista de los Contrapartes Bolivianas entrenados en Japón y tercer país
- Anexo 5 Lista de Equipos Suministrados
- Anexo 6 Gastos asumidos por JICA para operaciones locales
- Anexo 7 Asignación del Personal Contraparte
- Anexo 8 Lista de Entrevistados
- Anexo 9 Actividades de Capacitación del Personal Técnico
- Anexo 10 Actividades de Capacitación para líderes y agricultores
- Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural
- Anexo 12 Matriz de Evaluación

**Anexo 1 Itinerario de la Evaluación Final**

Ver.4 20131201

Fecha	Kenichi Kato, Hitoshi Kubo, Setsuko Otaki, Ryosuke Murakami	Akihiro Mochizuki
14-Nov	Ju	Salida de Japón
15-Nov	Vi	Llegada a La Paz Reunión con JICA-Bolivia
16-Nov	Sa	AM Llegada a Sucre PM Reunión con el equipo de expertos japoneses
17-Nov	Do	Documentación
18-Nov	Lu	Visita a campo y entrevista (Presto)
19-Nov	Ma	Visita a campo y entrevista (Pirhuamayú)
20-Nov	Mi	Visita a campo y entrevista (Guitarrani)
21-Nov	Ju	Visita a campo y entrevista (Presto, Churuni)
22-Nov	Vi	Entrevista a contrapartes técnicos
23-Nov	Sa	Documentación
24-Nov	Do	Visita a campo y entrevista (Río Toco)
25-Nov	Lu	Documentación
26-Nov	Ma	0940 Llegada a Sucre
27-Nov	Mi	0845-1145 Reunión con USFX (entrevista a Decano y Coordinador del Proyecto)
28-Nov	Ju	0800-0930 Reunión con la Gobernación de Chuquisaca (Dirección Agropecuaria)
29-Nov	Vi	Visita a campo (Comunidad de San José de Molla, Catana)
30-Nov	Sa	Visita a campo (Comunidad de Paramana, etc.) y Yotala
1-Dic	Do	Documentación (elaboración de informe de evaluación final)
2-Dic	Lu	Salida de Sucre a La Paz
3-Dic	Ma	Documentación (elaboración de informe de evaluación final)
4-Dic	Mi	Reunión con VIPFE, MDRyT, Embajada del Japón, JICA-Bolivia
5-Dic	Ju	Salida de La Paz



Anexo 2: Matriz de Diseño del Proyecto (PDM) Versión 3

Nombre de Proyecto: Establecimiento del Sistema para la Implementación del Desarrollo Rural Sostenible Fase II  
 Área del Proyecto: 9 Municipios de la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca  
 Beneficiarios: 36 comunidades

Duración del Proyecto: 21 de Mayo de 2009 - 20 de mayo de 2014 (5 años) Fecha: 18 de octubre 2011

Resumen del Proyecto	Indicador	Fuente de Verificación	Factor Exterior
<p><b>Objetivo Superior</b>                      Se extiende el modelo de desarrollo rural y mejora la calidad de vida de pequeños agricultores de la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.</p> <p><b>Objetivo del Proyecto</b>                      Se establece el modelo (*1) y el sistema (*2) para la implementación sostenible del desarrollo rural a través de la implementación de los proyectos de desarrollo rural en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.</p> <p><b>Resultados</b>                      1. Se ha formado el recurso humano como núcleos para el desarrollo rural integral en las comunidades y los municipios, la Gobernación y la USFX.</p> <p>2. Se ha establecido un modelo de proceso de desarrollo que abarcan desde la formulación de planes para la implementación de desarrollo rural a través de implementación basadas en los planes de desarrollo rural comunal.</p> <p>3. Los municipios, la Gobernación y la USFX obtienen recursos económicos de fuentes internas y externas para la implementación del desarrollo rural.</p> <p>4. Municipios, Gobernación y USFX han operado adecuadamente el comité de coordinación para precisar el lineamiento de desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca.</p>	<p>1. Se están implementando proyectos de desarrollo rural integral aplicando el modelo en más de 72 comunidades de la zona norte del Departamento de Chuquisaca.</p> <p>2. En el estudio de encuesta de muestreo en las comunidades donde se utilizó el modelo de desarrollo rural, más de 70 % se consideran que han mejorado nivel de vida comparando antes de utilizar el modelo de desarrollo rural</p> <p>1. Se ha ejecutado más de un caso de excelencia que puede proponer como el modelo de desarrollo rural en cada municipio</p> <p>2. Se ha asignado los recursos humanos necesarios para implementar el modelo de desarrollo rural en la Gobernación, la USFX y los municipios</p> <p>3. Se ha establecido una sección para la investigación, interacción y formación de recursos humanos en la facultad de Ciencias Agrarias de USFX que apoya las actividades de desarrollo rural integral con la asignación de personal necesario</p> <p>1-1 Están capacitados 10 docentes de USFX, 8 técnicos de la Gobernación, 9 extensionistas de los municipios, 9 planificadores de los municipios, y los líderes de las comunidades (al menos 10% de beneficiarios)</p> <p>1-2 Se ha elaborado material didáctico y una currícula reflejando los resultados de la ejecución de los cursos.</p> <p>1-3 En una sección para la investigación, interacción y formación de recursos humanos de USFX, se ha ejecutado 1 curso para técnicos y 2 cursos para agricultores por año.</p> <p>2-1 Las 36 comunidades de 9 municipios cuentan con su propio plan de desarrollo rural.</p> <p>2-2 Se está ordenado una lista de las técnicas que pueden utilizar para la conservación de Recursos Naturales y el mejoramiento de vida familiar basando resultado del monitoreo y la evaluación de cada mini proyecto y proyecto piloto.</p> <p>2-3 Ha sido sistematizado el ciclo de desarrollo con la metodología de planificación participativa, ejecución, monitoreo y evaluación de las actividades de desarrollo rural integral.</p> <p>3-1 Han sido sistematizados los procesos para la obtención de los fondos.</p> <p>3-2 Extensionistas, planificadores de los municipios y los encargados de la Gobernación y USFX comprenden el trámite de solicitud de financiamiento.</p> <p>3-3 En 36 comunidades los documentos de solicitud de financiamiento están elaborados adecuadamente para los proyectos de desarrollo rural integral</p> <p>3-4 En 36 comunidades de 9 municipios invierten los recursos financieros obtenidos.</p> <p>4-1 Se ha establecido el comité de coordinación para realizar el desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca, y están acordado el rol de los municipios, Gobernación y USFX.</p> <p>4-2 El comité de coordinación se reúne periódicamente para consultar y coordinar las actividades de desarrollo rural integral</p>	<p>1. Datos de municipios en la zona norte de Chuquisaca</p> <p>2. Resultado de estudio de encuesta de muestreo</p> <p>1. Registro del proyecto</p> <p>2. Información organizacional de municipios y Gobernación</p> <p>3. Datos de USFX</p> <p>1. Registro del Proyecto</p> <p>2. Registro del Proyecto</p> <p>3. Registro del Proyecto</p> <p>1. Registro del Proyecto</p> <p>2. Registro del Proyecto</p> <p>3. Registro del Proyecto</p> <p>4. Registro del Proyecto</p> <p>1. Convenio</p> <p>2. Acta de reunión</p>	<p>No se cambia las políticas nacionales sobre el desarrollo rural en Bolivia.</p> <p>No se cambian las políticas de organizaciones concernientes</p> <p>Las contrapartes del proyecto no serán cambiadas salvo en casos de mutuo acuerdo</p>

Actividades	Inversión	<Parte Boliviana>	Condición previa
<p>1-1. El Equipo Técnico (Docentes y técnicos del Proyecto) se capacitan en técnicas y metodologías necesarias para el desarrollo rural sostenible.</p> <p>1-2. El equipo técnico capacita a agricultores sobre las técnicas necesarias para la conservación de recursos naturales y el desarrollo agropecuario sostenible</p> <p>1-3. Se valida y revisa el material didáctico para capacitación y la currícula que fueron elaborados en la primera fase del Proyecto para mejorar la calidad del curso.</p> <p>1-4. Se establece un sistema multidisciplinario para la formación de recursos humanos, en la sección encargada que apoya las actividades de desarrollo rural de USFX</p> <p>2-1. Se formulan planes de desarrollo rural en 28 nuevas comunidades de 9 Municipios metas identificadas para la segunda fase.</p> <p>2-2. Se ejecutan actividades de conservación de recursos naturales (conservación de suelo y forestación) en 36 comunidades.</p> <p>2-3. Se ejecutan los proyectos pilotos a pequeña escala en 9 Municipios que son metas de la segunda fase.</p> <p>2-4. Se realiza consulta y coordinación sobre las actividades de desarrollo rural que ejecutan con el financiamiento externo en las comunidades objetos</p> <p>2-5. Se analizan los resultados y procesos de los proyectos para desarrollo y se sistematizan el modelo de desarrollo rural que abarca desde la planificación hasta la implementación.</p> <p>2-6. Establecer y operar la finca demostrativa para promocionar técnicas agropecuarias</p> <p>2-7. Realizar la actividad de promoción sobre la salud, higiene y nutrición en las comunidades objetos</p> <p>3-1. Se ordena claramente y se sistematiza las gestiones de captación de recursos financieros que fueron utilizados en la primera fase del Proyecto.</p> <p>3-2. Se capacita a extensionistas y encargados de la planificación de los municipios y Gobernación sobre la obtención de recursos financieros de fuentes internas y externas.</p> <p>3-3. El Ministerio canaliza recursos financieros para los Municipios o Gobernación para proyectos de sistemas de microirrigación u otros.</p> <p>3-4. Las instituciones involucradas obtienen los recursos financieros necesarios para las actividades de desarrollo rural integral y mantener el sistema de implementación</p> <p>4-1. Se asigna el recurso humano necesario para el manejo de proyectos de desarrollo rural que abarcan desde la planificación hasta la implementación en las instituciones involucradas.</p> <p>4-2. Se establece una sección para la investigación, interacción y formación de recursos humanos y se institucionaliza el rol en la estructura orgánica de la USFX.</p> <p>4-3. Municipios y Gobernación inscriben en sus Cartas Orgánicas y organigramas las dependencias y/o unidades responsables de desarrollo rural para la sostenibilidad del desarrollo rural integral.</p> <p>4-4. Se establece el comité de coordinación por los municipios, la Gobernación y la USFX para realizar el desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca</p>	<p>&lt;Parte Japonesa&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Envío de expertos de largo plazo (Líder residente/ desarrollo rural, Sistema de Desarrollo/ Coordinador/ Participativo, Coordinador/ capacitación)</li> <li>Envío de expertos de corto plazo (Asesor en jefe tipo temporal, otros expertos técnicos en especialidades necesarias)</li> <li>Donación de equipos de capacitación de contrapartes en el Japón y terceros países</li> <li>Costos necesarios para las actividades del proyecto</li> <li>Costos necesarios para el envío de las misiones</li> </ul>	<p>&lt;Parte Boliviana&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Asignación y disposición de las contrapartes (extensionistas, planificadores, coordinadores docentes y otro personal concierntes)</li> <li>Costos Locales (Capacitación, investigación y estudio, edición de documentos técnicos, gastos operativos administrativos, inversiones)</li> <li>Instalación tal como la Oficina del Proyecto, campos para validación etc.</li> <li>Equipos y materiales</li> </ul>	<p>Los municipios contrataran por lo menos 1 extensionista cada uno a su propia cuenta.</p>

\*1: Modelo de desarrollo rural: Es un modelo que utiliza municipios, Gobernación y USFX, y que indica el lineamiento de desarrollo rural para que la población de las comunidades de la zona norte del Departamento de Chuquisaca realicen de forma autónoma las actividades relacionadas a la conservación de recursos naturales y el mejoramiento de nivel de vida. Este modelo compone "la técnica para el desarrollo" y "el ciclo para el desarrollo". La técnica para el desarrollo es la lista técnica que puede utilizar para la conservación de recursos naturales y mejoramiento de vida familiar que también propone una metodología de aplicación que utiliza de acuerdo a la situación de la localidad ordenando la lista técnica que puede utilizar para la conservación de recursos naturales y mejoramiento de economía familiar. El ciclo para el desarrollo es la metodología de planificación participativa, ejecución, metodología de monitoreo y evaluación.

\*2: Sistema de implementación: Es un sistema (personal, recursos financieros internos y externos, rol y responsabilidad de las instituciones relacionadas y estructura de coordinación) que puede ejecutar el modelo de desarrollo rural por la propia fuerza de lado bolivianos como municipios, Gobernación y USFX.

### Anexo 3 Envío de Expertos Japanesees

#### (1) Largo Plazo

	Nombre	Area Tecnica	Periodo		M/M total (hombre/mes)	2009		2010			2011			2012			2013			2014					
			de	hasta		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1	Yasusada Oue	Líder Residente/ Desarrollo Rural	2009/6/5	2011/6/4	24.3																				
2	Akira Izumihara	Líder Residente/ Desarrollo Rural	2011/5/21	2014/5/20	36.5																				
3	Yukio Shinomi	Sistema de Desarrollo/ Desarrollo Participativo	2009/5/21	2012/5/20	36.5																				
4	Hirohisa Omori	Sistema de Desarrollo/ Desarrollo Participativo	2012/8/12	2012/12/14	4.1																				
			2013/1/9	2013/4/9	3.0																				
			2013/5/2	2013/12/16	7.6																				
			2014/1/21	2014/5/20	4.0																				
5	Kayo Goda	Coordinadora/ Capacitación	2009/11/1	2011/11/30	25.3																				
6	Nanako Takase	Coordinadora/Capacitación	2011/1/11	2013/1/14	14.7																				
7	Yuki Kuraoka	Coordinadora/Capacitación	2013/1/7	2013/4/7	3.0																				
8	Sumio Watahiki	Coordinadora/ Capacitación	2013/3/4	2014/5/20	14.7																				
Sub-Total					173.7																				

#### (2) Corto Plazo

	Nombre	Area Tecnica	Periodo		M/M total (hombre/mes)	2009		2010			2011			2012			2013			2014					
			de	hasta		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1	Narihida Nagayo	Asesor en Jefe	2009/5/23	2009/6/5	0.4																				
			2009/8/5	2009/8/13	0.3																				
			2009/11/3	2009/11/13	0.3																				
			2010/4/11	2010/5/4	0.8																				
			2010/6/1	2010/6/11	0.3																				
			2010/8/24	2010/9/2	0.3																				
			2010/11/21	2010/12/4	0.4																				
			2011/3/28	2011/4/13	0.5																				
			2011/6/13	2011/6/30	0.6																				
			2011/10/8	2011/10/19	0.4																				
			2012/1/23	2012/2/2	0.3																				
			2012/6/8	2012/7/3	0.8																				
			2012/11/2	2012/11/14	0.4																				
			2013/1/17	2013/1/24	0.2																				
2013/6/13	2013/6/24	0.4																							
2013/11/16	2013/12/4	0.6																							
2	Sadayoshi Takeuchi	Cultivo de Productos Agrícolas	2011/12/2	2012/2/24	2.8																				
3	Takao Kikuchi	Generación de Fuente de Ingresos	2011/12/2	2012/2/24	2.8																				
4	Masahiko Honke	Generación de Fuente de Ingresos	2011/6/13	2011/6/30	0.6																				
			2013/2/24	2013/5/24	3.0																				
5	Takao Kikuchi	Planificación de Desarrollo Regional	2011/10/8	2011/10/19	0.4																				
Sub-Total					16.6																				

#### Anexo 4 Lista de los Contrapartes Bolivianas entrenados en Japón y tercer país

##### (1) Cursos en Japón

	Nombre	Institución	Tema de la capacitación	Duración	Lugar
1	Dr. Iván Arciénega	Docente, Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad San Francisco Xavier	Taller individual (Fitogenética Ventas Directas)	2009.12.03 - 2009.12.16	Japón
2	Ing. Rosario Osorio	Docente, Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad San Francisco Xavier	Desarrollo rural a través del mejoramiento de medios de vida	2010.01.15 - 2010.02.01	Japón
3	Lic. Luisa Orellana Salas	Directora Carrera de Enfermería, Universidad San Francisco Xavier	Desarrollo rural a través del mejoramiento de medios de vida	2010.01.15 - 2010.02.01	Japón
4	Dra. Nancy Wilma Manjon	Decana de Enfermería, Universidad San Francisco Xavier	Desarrollo rural a través del mejoramiento de medios de vida	2012.1.15- 2012.1.28	Japón
5	Ing. Walter Arizaga	Rector, Universidad San Francisco Xavier	Curso de País(Curso de C/P)"Desarrollo Rural"	2012.1.27- 2012.2.12	Japón
6	Ing. Jenny Zarate	Docente, Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad San Francisco Xavier	Desarrollo rural a través del mejoramiento de medios de vida	2013.1.20- 2013.2.2	Japón
7	Ing. Arnulfo Borges	Docente, Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad San Francisco Xavier	Fortalecimiento Regional(OVOP)	2013.6.5- 2013.6.23	Japón

##### (2) Cursos en tercer país

	Nombre	Institución	Tema de la capacitación	Duración	Lugar
1	Ing. Ramiro Villalpando	Docente, Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad San Francisco Xavier	Intercambio de experiencia en Ecuador	2011.02.18 - 2011.02.27	Ecuador
2	Ing. Arnulfo Borges	Docente, Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad San Francisco Xavier			
3	Ing. Guido Callejas	Planificador, Municipio de Zudañez			
4	Ing. Marcelino Meriles	Técnico, Municipio de Sucre			

**Anexo 5 Lista de Equipos Suministrados**

(1) de Junio 2009 hasta Marzo 2010

Nota: 1 US\$=7.07 Bs

N°	Material	Detalle	Cant.	Precio en Bs.	Precio en \$	Lugar de uso	Lugar de permanencia	Lugar de compra	Objetivo de uso
1	Motocicleta	YAMAHA, AG200F, 200 cc	5	134.542.00	19.030.00	Area Rural	Municipio	Bolivia	Traslado a Área Rural
2	Camioneta	TOYOTA Land Cruiser, 4 WD	3	689.325.00	97.500.00	Area Rural	Oficina	Bolivia	Traslado a Área Rural
	<b>Sub total 1</b>			<b>823.867.00</b>	<b>116.530.00</b>				
3	Computadora	COMPAC 610, Portatil	9	62.910.00	8.898.16	Area Rural	Técnico	Bolivia	Elaboración de documentos
4	Impresora	Canon PIXMA IP1900	10	2.836.00	401.13	Area Rural	Técnico	Bolivia	Elaboración de documentos
5	Cámara digital	Sony Cyber Shot W180	16	24.103.00	3.409.19	Area Rural	Técnico	Bolivia	Registro del Proyecto
6	Radio de comunicación	Vertex VX-1700, FT 840	11	129.800.00	18.359.26	Area Rural	Comunidad	Bolivia	Comunicación
7	Generador	HONDA EB-2200	6	27.000.00	3.818.95	Area Rural	Oficina	Bolivia	Para Taller y Capacitación
8	Proyector	EPSON Power Lite S6	3	13.140.00	1.858.56	Area Rural	Oficina	Bolivia	Para Taller
9	Pantalla	CombiFlex 2m x 2m	3	8.250.00	1.166.90	Area Rural	Oficina	Bolivia	Para Taller
10	Equipo de veterinaria	Portatil	3	22.875.00	3.235.50	Area Rural	Oficina	Bolivia	Capacitación Sanidad Animal
11	Videocámara	Sony HDD, DCR-SR47	3	10.563.00	1.494.06	Area Rural	Oficina	Bolivia	Registro del Proyecto
12	Computadora	Escritorio, SURE DG31PR	3	15.633.00	2.211.17	Area Rural	Oficina	Bolivia	Elaboración de documentos
13	Estabilizador	UPS (750 W), Forza 750-VA	6	3.774.00	533.80	Area Rural	Oficina	Bolivia	Para computadora
14	Motobomba	5 HP, Briggs 5HP	1	3.800.00	537.48	Area Rural	Finca	Bolivia	Finca Demostrativa (Barranca)
15	Bomba sumergible	NOCCHI VLR16	1	20.059.00	2.837.20	Area Rural	Finca	Bolivia	Finca Demostrativa (Yotala)
16	Balanza digital	4 kg, OHAUS Scout	1	4.857.00	686.99	Area Rural	Finca	Bolivia	Finca Demostrativa (Barranca)
17	Balanza	300 kg	1	2.192.00	310.04	Area Rural	Finca	Bolivia	Finca Demostrativa (Yotala)
18	Refrigerador	Electrolux	1	2.500.00	353.61	Area Rural	Finca	Bolivia	Finca Demostrativa (Barranca)
	<b>Sub Total 2</b>			<b>354.292.00</b>	<b>50.112.02</b>				
19	Computadora	Escritorio, SURE	1	5.944.00	840.74	Oficina	Oficina	Bolivia	Elaboración de documentos
20	Computadora	Portatil, COMPAC 610	4	27.960.00	3.954.74	Oficina	Oficina	Bolivia	Elaboración de documentos
21	Impresora	Negro, HP LASER 2035N(BN)	3	6.900.00	975.95	Oficina	Oficina	Bolivia	Elaboración de documentos
22	Impresora	Color, HP LASER 2025N	2	7.156.00	1.012.16	Oficina	Oficina	Bolivia	Elaboración de documentos
23	Proyector	INFOCUS 2102EP	1	5.410.00	765.21	Oficina	Oficina	Bolivia	Para taller
24	GPS	GARMIN 76CSX	4	14.312.00	2.024.33	Oficina	Oficina	Bolivia	Para plan de forestación
25	SIG Plotter	HP 1m, HP Designjet 510	1	33.650.00	4.759.55	Oficina	Oficina	Bolivia	Para plan de forestación
26	Estación Total	SOKKIA 630RK	1	56.560.00	8.000.00	Oficina	Oficina	Bolivia	Estudio de Topografía
27	Estabilizador	UPS (750 W), Forza 750-VA	4	2.516.00	355.87	Oficina	Oficina	Bolivia	Para Computadora
28	Estabilizador	UPS (1500 W), ATOMLUX BS-1700	2	6.646.00	940.03	Oficina	Oficina	Bolivia	Para Computadora
29	Monitor PC	Externo, WD My Passport 500	8	9.933.00	1.404.95	Oficina	Oficina	Bolivia	Para Computadora
30	Disco duro de PC		5	4.590.00	649.22	Oficina	Oficina	Bolivia	Almacena datos
	<b>Sub Total 3</b>			<b>181.577.00</b>	<b>25.682.74</b>				
	<b>Total 1 (Sub Total 1+2+3)</b>			<b>1.359.736.00</b>	<b>192.324.77</b>				

(2) Abril 2010 hasta Marzo 2011

Nota: 1 US\$=7.00 Bs

N°	Material	Detalle	Cant.	Precio en Bs.	Precio en \$	Lugar de uso	Lugar de permanencia	Lugar de compra	Objetivo de uso
31	Micro Bus	TOYOTA Coaster 25PSJ	1	269.500.00	38.500.00	Area Rural	Oficina	Bolivia	Capacitación de los técnicos y agricultores
	<b>Total 2</b>			<b>269.500.00</b>	<b>38.500.00</b>				

(3) Abril 2011 hasta Marzo 2012

Nota: 1 US\$=7.00 Bs

N°	Material	Detalle	Cant.	Precio en Bs.	Precio en \$	Lugar de uso	Lugar de permanencia	Lugar de compra	Objetivo de uso
32	Fotocopiadora	Canon iR 1024 iF	1	10.710.00	1.530.00	Oficina	Oficina	Bolivia	Objetivo de uso
33	Computador escritorio	CPU+Delux Monitor+LG	4	32.461.44	4.637.35	Oficina	Oficina	Bolivia	Objetivo de uso
34	Computador portátil	Sony VAIO VPCCA27FL	1	7.999.00	1.142.71	Oficina	Oficina	Bolivia	Objetivo de uso
	<b>Total 3</b>			<b>51.170.44</b>	<b>7.310.06</b>				
	<b>Grand Total (Total 1+2+3)</b>			<b>1.680.406</b>	<b>238.135</b>				

**Anexo 6 Gastos asumidos por JICA para operaciones locales**

(Unidad: Bs.)

DETALLE	DESCRIPCIÓN	ARTICULO	1ra año fiscal 2009.May- 2010.Mar	2nda año fiscal 2010.Abr- 2011.Mar	3ra año fiscal 2011.Abr- 2012.Mar	4ta año fiscal 2012.Abr- 2013.Mar	5ta año fiscal 2013.Abr- 2013.Sep	Gasto Total(Bs.)
Gasto General	Gasto general	Mantenimiento y Reparación de Equipos	21,365.00	5,485.00	51,191.00	23,805.00	2,606.50	104,452.50
		Comunicaciones y Servicios por envío de correspondencia	26,987.87	25,756.90	26,621.18	25,117.32	29,799.50	134,282.77
		Combustibles y lubricantes	101,274.00	199,924.60	157,981.33	156,647.70	61,579.00	677,406.63
		Utiles de escritorio u oficina	29,353.43	35,735.40	89,170.88	48,556.90	4,085.00	206,901.61
		Impresión y Encuadernación	8,533.15	56,100.26	75,927.40	10,170.25	6,560.60	157,291.66
		Alquileres	6,944.00	11,056.50	420.00	1,050.00	0.00	19,470.50
		Servicios Básicos	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		Otros Materiales y Suministros	465,262.65	346,902.27	705,544.68	346,998.12	300,885.48	2,165,593.20
		Gastos varios	1,809.40	903.49	10,335.93	1,066.00	571.00	14,685.82
		Pasajes al interior y exterior del país	2,324.00	41,101.12	6,766.00	4,303.10	4,425.00	58,919.22
		Viaticos por viaje al interior y exterior del país	27,814.50	71,598.70	40,538.00	8,861.00	10,371.00	159,183.20
		Consejero	35,000.00	24,500.00	10,500.00	0.00	0.00	70,000.00
		Capacitación al Personal	100,577.00	125,670.66	24,483.00	28,646.50	17,453.60	296,830.76
		Sueldo I	0.00	16,580.00	76,210.00	21,145.00	0.00	113,935.00
Sueldo II	95,899.50	238,011.25	211,975.60	111,625.08	22,800.00	680,311.43		
Reunión	1,550.00	424.50	2,625.30	413.90	1,498.00	6,511.70		
		Total	924,694.50	1,199,750.65	1,490,290.30	788,405.87	462,634.68	4,865,776.00
Maquinaria	Maquinaria y Equipo		536,149.60	0.00	85,740.24	0.00	0.00	621,889.84
	Otros gastos	Pagó a terceros por traslado de equipos y maquinaria	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		Total	536,149.60	0.00	85,740.24	0.00	0.00	621,889.84
Maquinaria (Parte de JICA La	Maquinaria y Equipo		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	Otros gastos	Pagó a terceros por traslado de equipos y maquinaria	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		Total	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		Total	1,460,844.10	1,199,750.65	1,576,030.54	788,405.87	462,634.68	5,487,665.84



Anexo 7 Asignación del Personal Contraparte

Institución	Cargo	Nombre y Apellido	4to cambio		5to cambio		6to cambio		7to cambio		8to cambio		9to cambio	
			Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido
USFX	Director Proyecto	Ivan Alcántiga	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010	Ag. Carlos Cáceres, C.	Desde Oct 2010									
	Coordinador	Ramiro Villalpando	Desde Jun 2009	Antero Maraz	Desde Mar 2010									
	Zona 1	Franklin Coca	Desde Jun 2009 - Hasta Dic 2009	Annullo Borges	Interino desde Sep 2010 - hasta Oct 2010	Miguel Dávalos	Desde Nov 2010							
	Zona 2	Javier López	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010	Javier Espada	Desde Sep 2010									
	Zona 3	Edwin López	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010											
	Docente	Annullo Borges	Desde Jun 2009											
	Docente	Vladimir Gutiérrez Merced	Desde Jun 2009											
	Docente	Jamill Lenz	Desde Jun 2009											
	Docente	Rosario Osorio	Desde Jun 2009											
	Docente	Jenny Zarate	Desde Jun 2009											
Secretaría	Caide Carrasco	Desde Jun 2009												
Chofer	Pablo Paz	Desde Jun 2009												
Gobernación	Coordinador Gob.	Misael Dávalos	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010	Fernando Flores	Desde Oct 2010 - Hasta Dic 2010	Edwin López	Desde Ene 2011							
	Administrador Gob.	Jorge Lino R.	Desde Feb 2010 - Hasta Sep 2010											
	Docente	Ben David E.	Desde Jun 2009 - Hasta Mar 2010	Misael Lorenzo Huareda	Desde Ago 2010 - Hasta 28 Jul 2010	Ivan Jacome	Desde Ago 2010							
	Vanillapase	Oscar Ferris	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Roger Mig Zarate	Desde Ago 2010									
	Docente	Miguel Espinosa	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Roberto Díaz Ortiz	Desde Ago 2010 - Hasta 18 Oct 2010	José Luis Montoya	Desde Nov 2010							
	Docente	Marcelo D'Amico	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Francisco Delgado	Desde Ago 2010 - Hasta 15 Nov 2010	Pedro Zarate	Desde Dic 2010							
	Docente	Luis Ramos	Desde Jun 2009 - Hasta 8 Nov 2010	Rodrigo Zarate	Desde Dic 2010									
	Sucre Puma	Franz Gonzales	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Maximiliano Cuellar	Desde Ago 2010									
	Zudáñez	Franz Gonzales	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Maximiliano Cuellar	Desde Ago 2010									
	Micozoña	Franz Gonzales	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Maximiliano Cuellar	Desde Ago 2010									
Municipios	Yotalla	Romulo Chicava	Desde Jun 2009 - Hasta 8 Nov 2010	Maximo Flores	Desde Dic 2010									
	Sucre	Romulo Leno	Desde Jun 2009											
	Yamparasee	Marcelino Meriles	Desde Jun 2009											
	Ica	Nicanor Koraguia	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Santos Yanul	Desde Ago 2010									
	Presto	Pedro Zarate	Desde Jun 2009	Marcelo Mendoza	Desde Ago 2010									
	Mojocoya	Fernando Flores	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Reynaldo Zarate	Desde Ago 2010 - Hasta Oct 2010	Nadie								
	Zudáñez	Jaime Vidas C.	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010											
	Misael Quispe	Nadie	Desde Jun 2009											
	Tarabuco	Nadie	Desde Jun 2009											

Institución	Cargo	Nombre y Apellido	4to cambio		5to cambio		6to cambio		7to cambio		8to cambio		9to cambio	
			Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido	Fecha de inicio y conclusión laboral	Nombre y Apellido
USFX	Director Proyecto	Ivan Alcántiga	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010	Ag. Carlos Cáceres, C.	Desde Oct 2010									
	Coordinador	Ramiro Villalpando	Desde Jun 2009	Antero Maraz	Desde Mar 2010									
	Zona 1	Franklin Coca	Desde Jun 2009 - Hasta Dic 2009	Annullo Borges	Interino desde Sep 2010 - hasta Oct 2010	Miguel Dávalos	Desde Nov 2010							
	Zona 2	Javier López	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010	Javier Espada	Desde Sep 2010									
	Zona 3	Edwin López	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010											
	Docente	Annullo Borges	Desde Jun 2009											
	Docente	Vladimir Gutiérrez Merced	Desde Jun 2009											
	Docente	Jamill Lenz	Desde Jun 2009											
	Docente	Rosario Osorio	Desde Jun 2009											
	Docente	Jenny Zarate	Desde Jun 2009											
Gobernación	Coordinador Gob.	Misael Dávalos	Desde Jun 2009 - Hasta Sep 2010	Fernando Flores	Desde Oct 2010 - Hasta Dic 2010	Edwin López	Desde Ene 2011							
	Administrador Gob.	Jorge Lino R.	Desde Feb 2010 - Hasta Sep 2010											
	Docente	Ben David E.	Desde Jun 2009 - Hasta Mar 2010	Misael Lorenzo Huareda	Desde Ago 2010 - Hasta 28 Jul 2010	Ivan Jacome	Desde Ago 2010							
	Vanillapase	Oscar Ferris	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Roger Mig Zarate	Desde Ago 2010									
	Docente	Miguel Espinosa	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Roberto Díaz Ortiz	Desde Ago 2010 - Hasta 18 Oct 2010	José Luis Montoya	Desde Nov 2010							
	Docente	Marcelo D'Amico	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Francisco Delgado	Desde Ago 2010 - Hasta 15 Nov 2010	Pedro Zarate	Desde Dic 2010							
	Docente	Luis Ramos	Desde Jun 2009 - Hasta 8 Nov 2010	Rodrigo Zarate	Desde Dic 2010									
	Sucre Puma	Franz Gonzales	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Maximiliano Cuellar	Desde Ago 2010									
	Zudáñez	Franz Gonzales	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Maximiliano Cuellar	Desde Ago 2010									
	Micozoña	Franz Gonzales	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Maximiliano Cuellar	Desde Ago 2010									
Municipios	Yotalla	Romulo Chicava	Desde Jun 2009 - Hasta 8 Nov 2010	Maximo Flores	Desde Dic 2010									
	Sucre	Romulo Leno	Desde Jun 2009											
	Yamparasee	Marcelino Meriles	Desde Jun 2009											
	Ica	Nicanor Koraguia	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Santos Yanul	Desde Ago 2010									
	Presto	Pedro Zarate	Desde Jun 2009	Marcelo Mendoza	Desde Ago 2010									
	Mojocoya	Fernando Flores	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010	Reynaldo Zarate	Desde Ago 2010 - Hasta Oct 2010	Nadie								
	Zudáñez	Jaime Vidas C.	Desde Jun 2009 - Hasta 28 Jul 2010											
	Misael Quispe	Nadie	Desde Jun 2009											
	Tarabuco	Nadie	Desde Jun 2009											

## Lista de Entrevistados

Beneficiarios de Chuquisaca Norte

Zabibo Huallpa  
 Eusebio Yale Flores  
 Santusa Fernandez  
 Alejandra Yucra  
 Ernesto Diez  
 y hay otras más personas entrevistadas

La Universidad de San Fransisco Xavier

Walter Arízaga Cervantes	Rector
Carlos Cáceres Claros	Decana, Facultad de Ciencias Agrarias
Leonor Castro Mercado	Directora, Ingeniería Agronómica
Ramiro Villalpando	Coordinador del Proyecto
Antero Maraz	Jefe del Área, Zona1
Miguel Dávalos	Jefe del Área, Zona2
Javier Espada	Jefe del Área, Zona3
Oscar Laime	Finca Demostrativa
Arnulfo Borges	Docente
Gunar Rojas	Docente
Rosario Osorio	Docente
Jenny Zarate	Docente

La Gobernación de Chuquisaca

Walter Chula	Director, Dirección Departamental Agropecuaria Industrial, Secretaria Departamental de Desarrollo Productivo
Edwin López	Responsable de Proyecto Conservación de los Recursos Naturales para el Desarrollo Agropecuario en Chuquisaca Norte
Soledad Rosa	Administradora de Sistema Integral de Familias Rurles

Oficinas Municipales

Rudiver Serudo	Director de Financiamiento Económico y Desarrollo Productivo, Alcaldía Municipal de Tarabuco
Ramiro Lenis	Tecnico de Yotala
Oscar Nina	Planificador Icla
Misael Quispe	Tecnico de Zudañez

Mancomunidad de Municipios de Chuquisaca Norte

Gonzalo Salazar	Presidente y Representante Legal
Jose A. Escalante G.	Secretario General

Expertos Japoneses

Narihide Nagayo	Asesor en Jefe
Akira Izumihara	Líder Residente/ Desarrollo Rural
Hirohisa Omori	Sistema de Desarrollo/ Desarrollo Participativo
Sumio Watahiki	Coordinadora/ Capacitación

**Anexo 9 Actividades de Capacitación del Personal Técnico**

N°	Fecha	Actividad	Facilitadores	Hrs acad.	N° Té c.	N° est/pas
1	7-Dec-09	Manejo de computadoras y camaras fotograficas	Ing. Jamil Sergio Lenz Salomón/	4	12	
2	10-Dec-09	Taller Sensibilización	Ing. Edwin Arteaga/ Ing. Elizabeth Barroso	11	23	1
	11-Dec-09			11	19	1
3	22-Feb-10	SIG dirigida al plan de manejo forestal: Introducción a los sig con aplicación en la agroforesteria	Ing. Jamil Sergio Lenz Salomón	11	10	
4	26-Mar-10	Manejo del sistema de informacion geografica dirigida al plan de manejo forestal	Ing. Jamil Sergio Lenz Salomón	5	4	
5	5-Jul-10	Manejo de GPS (2 GRUPOS)	Ing. Jamil Sergio Lenz Salomón	5	7	
6	12-Aug-10	Taller intensivo para inicio de carrera de Técnicos	Varios facilitadores	11	9	5
	13-Aug-10			11	7	
7	13-Sep-10	Identificación de rubros estratégicos	Ing. Ivan Arciénega Collazos	9	20	
8	20-Sep-10	Sistema de información de Cambio Rural	Ing. Jamil Sergio Lenz Salomón	3	7	
9	23-24 sep 10	Manejo de vivero y plantaciones forestales	Ing. Javier Espada Caballero/ Ing. Antero Maraz Condori	21	18	
10	6-Dec-10	Diseño de sistemas de riego	Ing. Rene Quiroga O.	8	11	1
	7-Dec-10			11	14	1
11	7-Feb-11	Sistema de información geografica Mod 1	Ing. Jamil Sergio Lenz Salomón	5	13	1
12	14-Mar-11	Desarrollo rural sostenible y situacion de las comunidades	Varios facilitadores	5	14	23
13	15-16 mar 11	Fortalecimiento de capacidades para la facilitación de eventos de formación	Ing. PROINPA	16	14	6
14	27-Apr-11	Desarrollo Agrícola	Ing. Oscar Laime	12	7	
15	6-May-11	Generación de empleos en las comunidades	CIOEC/ Man. Chuquisaca Norte	3	9	
16	26 - agos al 18 - sep - 2011	Gestión de Riego y Drenaje	Ing. Ramiro Loza; Ing. Edy Morejón; Ing. Rene Palacios; Ing. Jamil Lenz;	128	12	
17	12-Sep-11	Socializando experiencias de Comercialización	Lic. Patricia Pereira MMCHN; Lic. Luis Nina CADE - OIT	4	12	
18	8 al 9 -dic -11	Instrumentos técnicos para el saneamiento Sostenible Descentralizado "Como desarrollar actividades de capacitación"	Lic. Teresa Gutierrez	12	9	7
19	12-Mar-12	Taller intensivo para inicio de Carrera	Equipo Técnico PCR	3	1	5
20	9 al 10 de octubre de 2012	Sistema de riego tecnificado	Ing. Alfonso Nuñez	21	14	50
21	28 de febrero de 2013	Infraestructura de datos geoespaciales	Ing. Karen Choquehuanca/Ing. Marissa Castro Proyecto GEOL - Vicepresidencia del Estado Plurinacional	11	6	40
22	12 al 15 de marzo de 2013	Producción de cítricos	Yapacani	11	2	
23	20 y 21 de agosto de 2013	Capacitación e intercambio de experiencias en producción de duraznos y manzanos	Culpina, Responsable de Manzanos de Fondo Indígena, Ing. Juan Mejía y Tecnicos del CETA Culpina	21	4	
24	5 de Septiembre de 2013	Manejo del GPS	Ing. Armin Quispe	10	9	1

## Anexo 9 Actividades de Capacitación del Personal Técnico

N°	Fecha	Actividad	Facilitadores	Hrs acad.	N° T6 c.	N° est/pas
<b>TOTAL</b>				<b>383</b>	<b>287</b>	<b>142</b>

### CONFERENCIAS

1	23-25 mar 10	Taller Conflictos agroambientales en zonas
2	12-16 abr 10	Intercambio internacional Sumak Kausay
3	5-Jul-10	Conferencia autonomias
4	30-Mar-11	Conferencia Desarrollo Rural y Calidad de vida en América Latina
5	14-Feb-12	Articulación del sector público rural con el sector público, privado y académico
6	5-Nov-12	Foro debate para emprendimientos comunitarios y mejoramiento de vida.
7	17-May-13	Avances sobre emprendimientos comunitarios y mejoramiento de vida en Chuquisaca Norte

### INTERCAMBIO

1	Feb, 18-27, 2011	Intercambio de experiencia en Ecuador	4
2	feb, 22 - 25, 2011	Intercambio de experiencia en Achacachi - La Paz	8

### CAPACITACIÓN DEL PROYECTO CAMBIO RURAL (TALLERES INTENSIVOS)

N°	Fecha	Talleres Intensivos	N° de Participantes
1	Jun, 2009	Plan Estrategia, Organización del proyecto	35
2	Jun, 2010	Plan Estrategia, Organización del proyecto	35
3	Jun, 2011	Plan Estrategia, Organización del proyecto	41
4	Jun, 2012	Plan Estrategia, Organización del proyecto	38
5	Ago, 2013	Plan Estrategia, Organización del proyecto	21

Anexo 10 Actividades de Capacitación para líderes y agricultores

Actividades de Capacitación para líderes y agricultores 2009

N°	Fecha	Municipio	Comunidad	N° de familias	N° de Participantes		Área	Actividad	Materiales	Facilitador	N° Doc.
					Varones	Mujeres					
1	15 de enero de 2009	Poroma	Poroma	45	30	15	Conservación	Trabajos de conservación de suelos y aguas		Agr. David Etcheverry	
2	20 de enero de 2009	Yotala	Molle Molle	15			Conservación	Taller capacitación en conservación de suelos y aguas (Manejo del nivel en A, prácticas de construcción de obras de conservación de suelos)		Ing. Oscar Laime (Apoyo técnico)	
3	22 de Enero de 2009	Presto	Mision Pampa	14			Intercambio de experiencias	Intercambio de experiencias Quivi Quivi (Tecoya Baja) – Misión Pampa		Técnico prefectura	
4	30 de enero de 2009	Zudañez	Pata Torcoco	40			Socialización	Socialización y presentación del proyecto		Técnico prefectura y apoyo de Coordinador	
5	5 de febrero de 2009	Poroma	Chilichista	25	13	12	Socialización	Sensibilización sobre el proyecto en su Fase II		Técnico prefectura	
6	15 de febrero de 2009	Poroma	Poroma	38	29	9	Socialización	Sensibilización sobre el proyecto en su Fase II		Agr. David Etcheverry	
7	25 de febrero de 2009	Mojocoya	Tocoro	65	Comunidad		Frutícola	Capacitación práctica en plantación forestales		Técnico prefectura	
8	6 de marzo 2009	Sucre Distrito 8	Tumpeca	14	6	8	Transformación	Curso Productos lácteos: Elaboración de leche y yogurt		Ernesto Arciénega USFX	
9	12 de mayo de 2009	Yotala	Palamana	40	29	11	Socialización	Socialización		Técnico Prefectura y apoyo con técnico el proyecto Cambio Rural	
10	7 de junio de 2009	Yotala	Anfaya del Peral	19	14	5	Socialización	Socialización		Técnico Prefectura y apoyo con técnico el proyecto Cambio Rural	
11	12 de junio de 2009	Yotala	Molle Molle	12	familias		Hortícola	Taller de capacitación en Horticultura, almacenado de hortalizas		Agr. Franklin Coca	
12	19 de junio de 2009	Yotala	Molle Molle				Pecuaría	Taller de capacitación en Manejo y Sanidad Animal		Dr. Ramiro Flores	
13	19 de junio de 2009	Poroma	Galizaya				Agrícola	Capacitar en el tema de semillas a la organización comunal		Técnico prefectura	
14	22 de junio de 2009	Poroma	Palajla				Agrícola	Capacitar en el tema de semillas a la organización comunal		Técnico prefectura	
15	23 de junio de 2009	Mojocoya	Ramadas	78	Comunidad		Socialización	Presentación y socialización del proyecto		Técnico prefectura, Autoridades	
16	8, 10, 11 y 26 de junio de 2009	Zudañez	Mayu Torcoco, Pata Torcoco y Pirhuamayu	6 familias			Sensibilización	Sensibilización y capacitación sobre los recursos naturales		Técnico prefectura	
17	17, 18, 22 y 23 de junio de 2009	Mojocoya	Rumicancha, Chique rillos y Toco	6 familias			Sensibilización	Sensibilización y capacitación sobre los recursos naturales		Técnico prefectura	
18	24, 25, 29 y 30 de junio de 2009	Mojocoya	Rumicancha, Toco y Chiquerillos	120 familias			Agrícola	Taller de capacitación sobre control de la pollina en la papa		Técnico prefectura	
19	24, 25, 29 y 30 de junio de 2010	Zudañez	Pata Torcoco	40 familias			Agrícola	Taller de capacitación sobre control de la pollina en la papa		Técnico prefectura	
20	30 de junio de 2009	Presto	Pasopaya				Agrícola	Capacitación teórica, práctico en elaboración de abonos orgánicos y de la construcción del nivel A para realizar obras de CSA (Compost)		Técnico prefectura	
21	15 de julio de 2009	Zudañez	Pata Torcoco	30 familias			Conservación	Taller de capacitación sobre la construcción y calibración del nivel A (CSA)		Técnico prefectura	
22	16, 17 de julio de 2009	Isla	Molle mayu, Kollpa pampa, Chunca cancha, Guitarrani	12 familias			Pecuaría	Capacitación en Sanidad Animal		Técnico prefectura, apoyo del técnico Municipal y SENSAG	

17 de julio de 23 de 2009	Yamparáez	Catana	10	Conservación	Taller de Conservación de suelos y aguas Manejo del nivel en A, obras de conservación de suelos				Técnico prefectura, apoyo del técnico Municipal
24 de julio de 2009	Poroma	Palajla	comunidad	Forestal	Capacitación en Forestación				Técnico prefectura
22 de julio de 25 de 2009	Presto	Pasopaya	10	Conservación	Taller de capacitación a líderes conservacionistas Zonales en construcción del Nivel A y Aplicación				Técnico prefectura
27 de julio de 26 de 2009	Zudañez	Pirhuamayu	30 familias	Socialización	Taller de capacitación y sensibilización				Apoyo técnico del responsable de RRNN y M. A. de la prefectura
27 de julio de 27 de 2009	Poroma	Calizaya	comunidad	Forestal	Capacitación en Forestación				Técnico prefectura, apoyo del técnico Municipal
28 de julio de 28 de 2009	Zudañez	Mayu Torcoco	10 familias	Frutícola	Taller de capacitación sobre poda de frutales				Actividad realizada, coordinación con el técnico
28 de julio de 29 de 2009	Presto	Pucapampa		Forestal	Taller de capacitación teórica y práctica a viveristas zonales.				Técnico prefectura
30 de julio de 31 de 2009	Yotala	Chamina	18 familias	Pecuaria	Taller de capacitación en Manejo y Sanidad Animal				Dr. Ramiro Flores
31 de julio de 31 de 2009	Yamparáez	Catana		Frutícola	Taller de capacitación en poda e injertos en frutales				
17 y 8 de agosto de 32 de 2009	Yotala	Anfaya del Peral	18 familias	Pecuaria	Taller de capacitación en Manejo y Sanidad Animal				Dr. Ramiro Flores
33 de agosto de 33 de 2009	Presto	Presto Porvenir	3	Forestal	Capacitación en preparación de plantones y repicado				Técnico prefectura
14 al 18 de agosto de 34 de 2009	Zudañez	Mayu Torcoco, Pata Torcoco	8 familias	Sensibilización	Sensibilización y capacitación sobre los RRNN y medio ambiente				Técnico prefectura
14 al 18 de agosto de 35 de 2009	Mojocoya	Rumicancha y Toco	4 a 5 familias por grupo	Sensibilización	Sensibilización y capacitación sobre los RRNN y medio ambiente				Técnico prefectura
15 de agosto de 36 de 2009	Zudañez	Sauces	5 familias	Frutícola	Taller de capacitación sobre poda de frutales				Técnico prefectura
16 de agosto de 37 de 2009	Yotala	Palamana	34 familias	Sensibilización	Taller de sensibilización sobre los recursos naturales				Técnico prefectura, apoyo del técnico Municipal
17 de agosto de 38 de 2009	Zudañez	Pirhuamayu	30 familias	Socialización	2do taller de capacitación y sensibilización				Técnico prefectura
17 de agosto de 39 de 2009	Yotala	Anfaya del Peral		Pecuaria	Capacitación en desparasitación				Técnico prefectura, apoyo del técnico Municipal
18 de agosto de 40 de 2009	Presto	Presto Porvenir		Conservación	Taller teórico y construcción de terrazas de banco en los huertos familiares con protección				Técnico prefectura
19 de agosto de 41 de 2009	Zudañez	Vivero Municipal		Frutícola	Propagación asexual de manzanas				Actividad realizada, coordinación con el técnico responsable, comunidades en
19, 20, 21 de agosto de 42 de 2009	Poroma	Palajla	60	Forestal	Capacitación en Forestación y Construcción del Vivero Comunal				Con el apoyo del Jefe Zonal, Equipo de Capacitación, JICA y el Técnico Municipal
20 de agosto de 43 de 2009	Zudañez		30 familias	Frutícola	Taller de capacitación (poda y manejo de frutales) a fruticultores comunales				El taller se realizó en coordinación con docentes de la universidad y la honorable alcaldía municipal
20 de agosto de 44 de 2009	Presto	Pasopaya		Agrícola	Taller de capacitación en selección de semillas y seguimiento a las obras de frutales				Técnico prefectura, apoyo del técnico Municipal
21 de agosto de 45 de 2009	Yotala	Anfaya del Peral	15 familias	Sensibilización	Taller de sensibilización sobre los recursos naturales				Técnico prefectura
21 de agosto de 46 de 2009	Presto	Pasopaya	8 familias	Conservación	Taller de capacitación en selección de semillas y seguimiento a las obras de frutales				Con el Apoyo del Técnico Municipal
22 de agosto de 47 de 2009	Poroma	Calizaya		Forestal	Capacitación en Forestación y Construcción del Vivero Comunal				Técnico prefectura
22 de agosto de 48 de 2009	Presto	Pasopaya	3	Forestal	Capacitación en forestación (almacigo y siembra de semillas)				Técnico prefectura



49	22 de agosto de 2009	Yamparáez	Molle Punku				Conservación	Capacitación en el manejo del nivel en A y prácticas de construcción de obras de conservación de suelos y aguas.	Técnico Prefectura y Municipio
50	24 de agosto de 2009	Sucre Distrito 8	Sunchupampa, Molle Molle, Tumpeca				Forestal	Capacitación a grupo de viveristas. (Embolcado, Repicado de Eucalipto, Almacigado de eucalipto)	Técnico prefectura
51	27 de agosto de 2009	Presto	Porvenir				Conservación	Taller de capacitación teórico y construcción de terrazas de banco en los huertos con protección.	Técnico prefectura
52	27 de agosto de 2009	Poroma	Poroma	Prof. del Núcleo escolar			Socialización	Taller de Sensibilización y Socialización del Proyecto	Con el apoyo del Director de Núcleo y el Técnico Municipal
53	28 de agosto de 2009	Poroma	Poroma				Forestal	Capacitación en Forestación y Construcción del Vivero Comunal	Con el Apoyo del Técnico Municipal
54	29 de agosto de 2009	Sucre Distrito 8	Mamahuari, Maracori, Sunchupampa				Forestal	Capacitación a grupo de viveristas. (Embolcado, Repicado de Eucalipto, Almacigado de eucalipto)	Técnico prefectura
55	3 de septiembre de 2009	Poroma	Calizaya		102 Participantes		Forestal	Capacitación en Reforestación	El Taller se Desarrollo con el Apoyo de las Pasantes, el Coordinador del Proyecto y el Apoyo Logístico de JICA
56	4 de septiembre de 2009	Isla	Molle mayu				Forestal	Capacitación en el vivero comunal embolsado del sustrato	Técnico prefectura
57	4 de septiembre de 2009	Zudañez	Vivero		1 viverista		Forestal	Apoyo y asistencia técnica en la producción de plantas forestales y frutales (repique)	Técnico prefectura
58	5 de septiembre de 2009	Poroma	Poroma		70 Participantes		Forestal	Capacitación en Reforestación	Con el Apoyo del Técnico Municipal
59	6 de septiembre de 2009	Yotala	Palamana		5 familias		Sensibilización	Taller de sensibilización sobre los recursos naturales	Técnico prefectura
60	8 de septiembre de 2009	Zudañez	Mayu Torcoco		10 viveristas		Forestal	Capacitación sobre mezcla de agregados y embolsado de sustrato	Técnico prefectura
61	8 de septiembre de 2009	Yotala	Palamana		35 familias		Planificación	2do. Taller de Planificación.	Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
62	8 y 9 de septiembre de 2009	Yotala	Anfaya del Peral		18 familias		Pecuaria	Taller de capacitación en Manejo y Sanidad Animal	Dr. Ramiro Flores
63	9 de septiembre de 2009	Yotala	Palamana		35 familias		Planificación	1er Taller de Planificación participativa.	Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
64	9 de septiembre de 2009	Presto	Porvenir		3 viveristas		Forestal	Capacitación en preparación de plantones y repicado	Participación del Técnico Prefectura.
65	10 de septiembre de 2009	Zudañez	Pirhuamayu				Planificación	Taller de planificación participativa comunal PPC./primera parte	Apoyo técnico de estudiantes de la facultad de agronomía
66	10,11 y 12 de septiembre de 2009	Isla	Chunca cancha		Comunidad		Conservación	Taller de obras de conservación de suelos y aguas	
67	11 de septiembre de 2009	Sucre Distrito 8	Molle punku		8 líderes		Conservación	Taller de capacitación en manejo del nivel en "A" y prácticas de CSA.	Técnico Prefectura y Municipio

68	14 de septiembre de 2009	Sucre Distrito 8	Maracori					Conservación	Capacitación en formas de rehabilitación en suelos afectados por desastre. Rotación de cultivos en la conservación y producción óptima.	Técnico Prefectura y Municipio	
69	14 de septiembre de 2009	Yotala	Anfaya del Peral		25 familias			Planificación	1er Taller de Planificación participativa.	Técnico prefectura	
70	15 de septiembre de 2009	Isla	Guitarrani		65 alumnos 4 maestros y 45 padres de familias			Sensibilización	Taller sobre los RRNN para los niños de la escuela, profesores, y padres.	Técnico prefectura	
71	15 de septiembre de 2009	Poroma	Poroma	41	26	15		Forestal	Construcción e implementación de viveros	Ing. Franklin Coca	
72	15 de septiembre de 2009	Yotala	Molle molle		4 familias			Sensibilización	Taller de sensibilización sobre los recursos naturales	Técnico prefectura	
73	16 de septiembre de 2009	Yotala	Palamana		35 familias			Sensibilización	Taller de sensibilización sobre los recursos naturales	Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)	
74	16 de septiembre de 2009	Isla	Chunca cancha		120 Alum 7 maestros y 90 padres			Sensibilización	Taller sobre los RRNN para los niños de la escuela, profesores, y padres.	Técnico prefectura	
75	16 y 17 de septiembre de 2009	Isla	Kolpa pampa Molle mayu		Comunidad			Conservación	Taller de Conservación de suelos y aguas		
76	17 de septiembre de 2009	Isla	Molle mayu		54 alumnos 2 maestros			Sensibilización	Taller sobre los RRNN para los niños de la escuela, profesores, y padres.	Técnico prefectura	
77	17 de septiembre de 2009	Sucre Distrito 8	Tumpeca					Sensibilización	Concientización en temas de : Terrazas (formas y su importancia). Barreras muertas y vivas y su aplicación en la agricultura en la reducción de riesgos. Implantación de zanjas de infiltración y de coronación para la reducción de riesgos. Fuentes de materia orgánica, preparación de abonos y uso para la conservación y fertilización de suelos	Técnico Prefectura y Municipio	
78	18 de septiembre de 2009	Isla	Kolpa pampa		90 alumnos y 50 padres de familias			Sensibilización	Taller sobre los RRNN para los niños de la escuela, profesores, y padres.	Técnico prefectura	
79	18 de septiembre de 2009	Mojocoya	Tocoro		40 familias			Agrícola	Taller de capacitación sobre el "uso y manejo de plaguicidas"	Apoyo técnico del responsable de medio ambiente	
80	18 de septiembre de 2009	Poroma	Palajía	48	32	16		Forestal	Construcción e implementación de viveros	Ing. Franklin Coca	
81	18 de septiembre de 2009	Yamparáez	Catana					Hortícola	Taller de horticultura	Técnico prefectura	
82	21 de septiembre de 2009	Sucre Distrito 8	Molle Molle					Sensibilización	Concientización en temas de : Terrazas (formas y su importancia). Barreras muertas y vivas y su aplicación en la agricultura en la reducción de riesgos. Implantación de zanjas de infiltración y de coronación para la reducción de riesgos. Fuentes de materia orgánica, preparación de abonos y uso para la conservación y fertilización de suelos	Técnico Prefectura y Municipio	
83	21 de septiembre de 2009	Isla	Guitarrani		40 beneficiarios			Conservación	Taller practico sobre construcción de obras de Conservación de Suelos y Aguas		

84	21 de septiembre de 2009	Yotala	Molle molle						Sensibilización	Taller de sensibilización sobre los recursos naturales		Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
85	22 de septiembre de 2009	Isla	Chuncacancha			4 familias			Conservación	Taller practico sobre construcción de obras de Conservación de Suelos y Aguas		
86	22 de septiembre de 2009	Presto	Pasopaya			3 viveristas			Agrícola	Capacitación en almacigo y siembra de semillas comunidad		Asistencia técnica tomado por el técnico de la prefectura
87	22 de septiembre de 2009	Yamparáez	Catana						Forestal	Capacitación a grupo de viveristas (Selección y mezcla de sustratos, Embolsado, Ropicado de eucalipto)		
88	22 de septiembre de 2009	Sucre Distrito 8	Maracori						Sensibilización	Concientización en temas de : Terrazas (formas y su importancia). Barreras muertas y vivas y su aplicación en la agricultura en la reducción de riesgos. Implantación de zanjas de infiltración y de coronación para la reducción de riesgos. Fuentes de materia orgánica, preparación de abonos y uso para la conservación y fertilización de suelos		Técnico Prefectura y Municipio
89	23 de septiembre de 2009	Mojocoya	Chiquerillos			5 viveristas			Forestal	Capacitación, sobre mezcla de agregados, embolsado, enfilado y enfilado de mangas		Técnico prefectura
90	23 de septiembre de 2009	Poroma	Calizaya	50		43	7		Forestal	Construcción e implementación de viveros		Ing. Franklin Coca
91	24 de septiembre de 2009	Yotala	Chamina			25 familias			Forestal	Taller de forestación e implementación del vivero.		Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
92	24 de septiembre de 2009	Zudañez	Pirhuamayu			25			Conservación	Taller de capacitación sobre conservación de suelos y aguas (Construcción de nivel en "A", trazado de curvas de nivel)		Apoyo técnico del responsable Zonal de la Universidad
93	25 de septiembre de 2009	Zudañez	Pata Torcoco			10 viveristas			Forestal	Capacitación, sobre mezcla de agregados, embolsado y enfilado de mangas		Trabajo realizado en el vivero zonal del cruce
94	25 de septiembre de 2009	Yotala	Molle molle			5 familias			Agrícola	Taller teórico sobre abonos verdes.		Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
95	25 de septiembre de 2009	Yotala	Molle molle			25 Com.			Agrícola	Taller teorico sobre abonos verdes.		Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
96	28 de septiembre de 2009	Isla	Molle mayu						Conservación	Taller practico sobre construcción de obras de Conservación de Suelos y Aguas		
97	28 de septiembre de 2009	Yamparáez	Catana						Fortalecimiento comunal	Taller de Fortalecimiento a organización de mujeres		Técnicos
98	28 de septiembre de 2009	Yotala	Chamina			25 Com.			Agrícola	Taller teórico, práctico sobre Biosidas.		Técnicos del Proyecto (Prefectura y Municipio)
99	29 de septiembre de 2009	Yotala	Molle molle			2 personas			Agrícola	Taller práctico sobre abonos verdes.		Técnico prefectura
100	29 de septiembre de 2009	Isla	Kolpa pampa						Conservación	Taller practico sobre construcción de obras de Conservación de Suelos y Aguas		
101	29 de septiembre de 2009	Sucre Distrito 8	Maracori						Fortalecimiento comunal	Capacitación en organización comunal		Técnico Prefectura y Municipio
102	6 de octubre de 2009	Poroma	Chilichista	28		18	10		Conservación	Trabajos de conservación de suelos y aguas		Técnico prefectura

103	15 de octubre de 2009	Poroma	Poroma	38	29	9	Forestal	Capacitación en Forestación y reforestación	Ing. Franklin Coca	
104	20 de octubre de 2009	Poroma	Palajala	56	39	17	Forestal	Construcción e implementación de viveros	Ing. Franklin Coca	
105	23 de octubre de 2009	Poroma	Calizaya	78	56	22	Conservación	Trabajos de conservación de suelos y aguas	Técnico prefectura	
106	5 de noviembre de 2009	Poroma	Chilichista	28	18	10	Forestal	Capacitación en Forestación y reforestación	Técnico prefectura	
107	9 de noviembre de 2009	Zudafiez	Mayu Torcoco				Forestal	Capacitación en manejo de viveros a viveristas (repique de plantines forestales, almacenado de pino, etc.)	Técnico prefectura	
108	12 de noviembre de 2009	Poroma	Calizaya	50	39	11	Forestal	Capacitación en Forestación y reforestación	Ing. Franklin Coca	
109	13 de noviembre de 2009	Poroma	Poroma	45	34	11	Agrícola	Producción y comercialización de productos	Técnico prefectura	
110	15 de noviembre de 2009	Presto	Pasopaya				Planificación	Taller de elaboración del Plan de Desarrollo Comunal, Elaboración del POA 2010 y taller de auto evaluación a nivel de líderes comunales.		
111	19 de noviembre de 2009	Poroma	Palajala	41	25	16	Forestal	Capacitación en Forestación y reforestación	Ing. Franklin Coca	
112	24 de noviembre de 2009	Poroma	Calizaya	60	42	18	Riego	Sistemas de riego y aprovechamiento de vertientes	Técnico prefectura	
113	24 de noviembre de 2009	Presto	Puca pampa				Planificación	Taller de elaboración del Plan de desarrollo Comunal y elaboración del POA 2010 y su respectiva aprobación	Técnico prefectura	

### Anexo 10 Actividades de Capacitación para líderes y agricultores

#### Actividades de Capacitación para líderes y agricultores 2010

Fuente: Informes Técnicos

N°	Fecha	Municipio	Comunidad	N° de familias	N° de Participantes		Área	Actividad	Materiales	Facilitador	N° Doc.
					Varones	Mujeres					
1	15 de enero de 2010	Poroma	Poroma	45	30	15	Conservación	Trabajos de conservación de suelos y aguas		Técnico prefectura	
2	17 de enero de 2010	Presto	Presto porvenir	12			Forestal	Capacitación a viveristas en producción de plantas frutales		Técnico prefectura	
3	22 de Enero de 2010	Presto	Mision Pampa	14			Intercambio de experiencias	Intercambio de experiencias Quivi(Tecoya baja)		Técnico prefectura	
4	5 de febrero de 2010	Poroma	Chilchista	25	13	12	Sensibilización	Taller de Sensibilización y Socialización del Proyecto		Técnico prefectura	
5	13 de febrero de 2010	Presto	Mision Pampa	16			Hortícola	Capacitación en producción de hortalizas en huertos familiares		Técnico prefectura	
6	15 de febrero de 2010	Poroma	Poroma	38	29	9	Sensibilización	Taller de Sensibilización y Socialización del Proyecto		Técnico prefectura	
7	25 de febrero de 2010	Mojocoya	Tocoro	Comunidad			Forestal	Capacitación práctica en plantaciones forestales		Técnico prefectura	
8	6 de marzo 2010	Sucre Distrito 8	Tumpeca	14	6	8	Transformación	Curso Productos lácteos: Elaboración de leche y yogurt		Ernesto Arciénega USFX	
9	8 de abril de 2010	Yotala	Chamina	3			Conservación	Sensibilización y capacitación sobre la importancia de la obras de conservación		Técnico prefectura	
10	10 de abril de 2010	Presto	Presto porvenir	40			Agrícola	Capacitación en Manejo y Control de Plagas y Enfermedades		Técnico prefectura	

Proyecto Cambio Rural Fase II Componente de Capacitación

11	17 de abril de 2010	Presto	Puca pampa	23				Agrícola	Capacitación en elaboración de biocidas y abonos fermentados		Técnico prefectura	
12	21 de abril de 2010	Presto	Pasopaya	12				Agrícola	Capacitación en elaboración de abonos fermentados		Técnico prefectura	
13	21 de abril de 2010	Yotala	Chamina	5				Sensibilización	Sensibilización y capacitación sobre los RR.N.N.		Técnico prefectura	
14	22 de abril de 2010	Presto	Pasopaya	10				Agrícola	Capacitación en selección de semillas en cosecha y poscosecha		Técnico prefectura	
15	22 de abril de 2010	Mojocoya	Rumi cancha	40				Agrícola	Capacitación teórico practico sobre control de la polilla de la papa		Técnico prefectura	
16	30 de abril de 2010	Zudañez	Pata Torcoco	45				Agrícola	Capacitación teórico practico sobre control de la polilla de la papa		Técnico prefectura	
17	30 de abril de 2010	Yotala	Anfaya del Peral	3				Sensibilización	Sensibilización y capacitación sobre los RR.N.N.		Técnico prefectura	
18	18 de mayo de 2010	Presto	Pasopaya	13				Agrícola	Capacitación en elaboración de biocidas		Técnico prefectura	
19	19 de mayo de 2010	Sucre Distrito 8	Sucre rural					Intercambio de experiencias	Intercambio de experiencias Quivi(Tecoya baja)		Técnico municipio -prefectura	
20	22 de mayo de 2010	Sucre Distrito 8	Tumpeca	22	8	14		Pecuaria	Sanidad de Animales (Teórica)		Dr. Ramiro Flores (USFX)	
21	29 de mayo de 2010	Sucre Distrito 8	Tumpeca	9				Pecuaria	Sanidad de Animales (Práctica)		Dr. Ramiro Flores (USFX)	
22	5 de octubre de 2010	Icla	Chunca Cancha	39	36	3		Conservación	Taller de Validación PEC. POA. Reforzamiento obras de Conservación de Suelos y Aguas		Agr. Miguel Dávalos, Agr. Pedro Zárate, Ing. Rene	



Proyecto Cambio Rural Fase II Componente de Capacitación

23	6 de octubre de 2010	Isla	Guitarrani	20	19	1	Conservación	Taller de Validación PEC, POA. Reforzamiento obras de Conservación de Suelos y Aguas	Agr. Miguel Dávalos, Agr. Pedro Zárate, Ing. Rene
24	22 y 23 de octubre de 2010	Presto	Misión Pampa	16	14	2	Pecuaria	Taller Sanidad Animal	Dr. Ramiro Flores
25	23 de octubre de 2010	Sucre Distrito 8	Tumpeka	20	9	11 (2 Est.)	Pecuaria	Taller de Inseminación Artificial	M.V. Quiroga (C-FIR Vera)
26	8 de noviembre de 2010	Poroma	Chijmuri	26	20	6	Sensibilización	Taller de sensibilización en Recursos Naturales	Max Flores/ Antero Maraz/ Iván Jacome
27	14 de noviembre de 2010	Mojocoya	Río Toco	11	8	3	Conservación	Cap. Conservación de suelos, Abonos verdes, Protección forestal	Maximo Cuellar/ Javier Espada
28	16 de noviembre de 2010	Mojocoya	Río Toco	28	24	4 Est. IRRNN	Sensibilización	Taller sensibilización organización de mujeres	Javier Espada

**Anexo 10 Actividades de Capacitación para líderes y agricultores**

**Actividades de Capacitación para líderes y agricultores 2011**

Fuente: Informes Técnicos

N°	Fecha	Municipio	Comunidad	N° de Participantes		Área	Actividad	Materiales	Facilitador	N° Docume
				Varones	Mujeres					
1	1 y 2 de febrero de 2011	Sucre Distrito 8	Tumpeka	12	2	Pecuaria	Capacitación y asesoramiento en Piscicultura	Estanque, peces, redes, baldes	Dr Marco Monteiro	
2	9 de abril de 2011	Sucre Distrito 8	Chaunaka - Tumpeka	13	7	Transformación	Elaboración de queso	Cuajo, leche, sal, recipientes, contrapeso, filtro, espátula	Ernesto Arciénega USFX	
3	29 y 30 de abril de 2011	Presto	El Palmar	13	13	Oficios	Mantenimiento de máquinas de coser	Máquina de coser, recipientes, destornillador, aceite, kersene	Sergio Peterito	
4	5 de mayo de 2011	Sucre Distrito 8	Maracori	15	5	Gestión de fondos	Taller ECA´s y Crédito Comunal		Marcelino Meriles	
5	4 de junio de 2011	Sucre Distrito 8	Chaunaka - Tumpeka	11	8	Transformación	Elaboración de yogurt	Leche, azúcar, fermento, utensilios, embases plásticos	Ernesto Arciénega USFX	
6	1 de julio de 2011	Yotala	Tipoyo	7	2	Forestal	Diseño de vivero comunal, plantación de postes	Postes, flexometro, clavos, malla de gallinero.	Jose Luis Montoya/Ramiro Lenis	
7	14 de julio de 2011	Yotala	Tipoyo	47	14	Conservación	Socialización Conservación de suelos	Palas, picos, cartillas, papel ógrafos	Jose Luis Montoya/Ramiro Lenis	
8	15 de julio de 2011	Yotala	Chamina	29	3	Conservación	Socialización Conservación de suelos		Jose Luis Montoya	
9	19 de julio de 2010	Yotala	Tipoyo	25		Conservación	Diseño de obras de conservación de suelos		Jose Luis Montoya/Ramiro	

Proyecto Cambio Rural Fase II Componente de Capacitación

10	21 de julio de 2011	Sucre Distrito 8	Maracori	12	7	5	Agrícola	Implementación de ECA's	Ing. Marcelino Meriles	
11	20 y 21 de julio de 2011	Isla	Chunca cancha	3	3	0	Pecuaria	Promotores Veterinarios	Dr. Carlos Lopez	
12	20 y 21 de julio de 2011	Isla	Guitarrani	7	7	0	Pecuaria	Promotores Veterinarios	Dr. Carlos Lopez	
13	27 de julio de 2011	Sucre Distrito 8	Maracori	11	7	4	Frutícola	Poda e injerto de frutales	Marcelino Meriles	
14	27 de julio de 2011	Isla	Kollpa Pampa	12	12	0	Pecuaria	Sanidad Animal	Dr. Carlos Lopez	
15	9 de septiembre de 2011	Presto	Pasopaya/Misión Pampa	8	8	0	Intercambio de experiencia s	Obras de conservación de suelos / huertos hortofrutícolas en Fincas Demostrativa de Misión Pampa	Ing. Oscar Laime	
16	28 de septiembre de 2011	Presto	Misión pampa	32	21	11	Forestal	Manejo de plantas forestales "podas"	Ing. Javier Espada; Agr. Merardo Mendoza; Agr. Franz Gonzáles	
17	13 de octubre de 2011	Sucre Distrito 8	La Barranca Centro experimental Fac. Ciencias	22	13	9	Intercambio de experiencia s	Capacitación a Líderes agricultores	Ing. Fritz Hamel	
18	18 de octubre de 2011	Yamparáez	San José de Molles	10	8	2	Agrícola	Preparación de Biocidas orgánicos – Caldo Sulfocálcico	Lic. Manuel Vasquez	
19	19 de octubre de 2011	Yamparáez	Catana Alta	9			Agrícola	Preparación de Biocidas orgánicos – Caldo Sulfocálcico	Lic. Manuel Vasquez	
20	26 de octubre de 2011	Zudañez	Mayu Torcoco	11	0	11	Oficios	Mantenimiento de máquinas de coser	Sergio Peterito	
21	8 de noviembre de 2011	Poroma	Chilchista	18	13	5	Pecuaria	Manejo y sanidad animal	Dr. Ariel Fernández (Veterinario Municipio Poroma)	

Proyecto Cambio Rural Fase II Componente de Capacitación

17 y 18 de noviembre de 2011	Ísla	Kollpa Pampa	13	12	1	Intercambio de experiencias	Capacitación a Líderes agricultores a Quivi Quivi.		Sr. Victor Estrada	
17 y 18 de noviembre de 2011	Ísla	Molle Mayu	11	11	0	Intercambio de experiencias	Capacitación a Líderes agricultores a Quivi Quivi.		Sr. Victor Estrada	
23 de noviembre de 2011	Mojocoya	Chiquerillos	5	4	1	Intercambio de experiencias Finca demostrativa	Implementación de obras físicas de CSA y prácticas agronómicas		Ing. Oscar Laime	
24 de noviembre de 2011	Zudañez	Mayu Torcoco/Pata Torcoco	14	12	2	Conservación	Implementación de obras físicas de CSA y prácticas agronómicas		Ing. Oscar Laime	
25 de noviembre de 2011	Zudañez	Cerezal	12	7	5	Intercambio de experiencias Finca demostrativa	Implementación de obras físicas de CSA y prácticas agronómicas/ Práctica de incorporación de abonos verdes/ Cosecha de hortalizas		Ing. Oscar Laime	

**Anexo 10 Actividades de Capacitación para líderes y agricultores**

**Actividades de Capacitación para líderes y agricultores 2012**

Fuente: Informes Técnicos

N°	Fecha	Municipio	Comunidad	N° de familias	N° de Participantes		Área	Actividad	Materiales	Facilitador	N° Documento
					Varones	Mujeres					
1	2 de marzo de 2012	Zudañez	Cerezal	17	12	5	Conservación	Construcción de obras de conservación de suelos y agua		Oscar Laime/Maximo Cuellar/Misael Quispe	
2	28 de marzo de 2012	Sucre D-8	Tumpeca	14	12	2	Pecuaria	Siembra de truchas y alimentación		Ing. Carlos Cruz (CIDAB)	
3	4 de abril de 2012	Poroma	Poroma	45	36	9	Agrícola	Desarrollo de bases productivas		Ing. Antero Maraz	
4	5 de abril de 2012	Mojocoya	Casa grande	55			Conservación	Conservación de suelos		Maximiliano Cuellar/ Eleuterio Copa	
5	11 de julio de 2012	Yamparáez	Catana	28	8	20	Social	Salud y Nutrición		Personal de Salud Municipio, Pasantes Enfermería, Equipo Té	
6	16 de julio de 2012	Yamparáez	Sajpaya	43	27	16	Social	Salud y Nutrición		Personal de Salud Municipio, Pasantes Enfermería, Equipo Té	
7	17 de julio de 2012	Yamparáez	San Jose de Molles	35	25	10	Social	Salud y Nutrición		Personal de Salud Municipio, Pasantes Enfermería, Equipo Té	
8	25 de julio de 2012	Yamparáez	Molle Punku	63	37	26	Social	Salud y Nutrición		Personal de Salud Municipio, Pasantes Enfermería, Equipo Té	
9	5 al 6 de octubre de 2012	Presto/ Zudañez	Misión Pampa, Pata Torcoco	22	21	1	Forestal	Manejo de Plantaciones Forestales		Centro de Desarrollo Sostenible Molle	
10	11 de octubre de 2012	Presto	Pasopayita				Conservación	Prácticas de conservación de suelos, proceso de recuperación fertilidad de suelos, incorporación de abonos verdes, cría de microorganismos		Oscar Laime	
11	16 de octubre de 2012	Mojocoya	Rumi Cancha				Agrícola/ Frutales	Implementación y manejo de huertos hortofrutícolas familiares		Oscar Laime	
12	18 de octubre de 2012	Presto	Puca Pampa	7			Agrícola/ Frutales	Diseño de huertos hortofrutícolas familiares		Oscar Laime	

Proyecto Cambio Rural Fase II Componente de Capacitación

13	20 de octubre de 2012	Mojocoya	Chiquerillos	6			Agrícola/ Frutales	Diseño de huertos hortofrutícolas familiares		Oscar Laime	
14	23 de octubre de 2012	Icia	Molle Mayu				Agrícola/ Frutales	Implementación de huertos hortofrutícolas familiares		Oscar Laime	
15	8 de noviembre de 2012	Icia	Kollpa Pampa				Agrícola/ Frutales	Implementación de huertos hortofrutícolas familiares		Oscar Laime	
16	12 de noviembre de 2012	Mojocoya	Chiquerillos	7			Agrícola/ Frutales	Implementación de huertos hortofrutícolas familiares		Oscar Laime	
17	13 de noviembre de 2012	Mojocoya	Rumi Cancha	6			Agrícola/ Frutales	Diseño de huertos hortofrutícolas familiares		oscar laime	
18	20 de noviembre de 2012	Presto	Puca Pampa				Conservación	Conservación de suelos, Tratamiento de semillas para el almacenado			

**Anexo 10 Actividades de Capacitación para líderes y agricultores**

**Actividades de Capacitación para líderes y agricultores 2013**

Fuente: Informes Técnicos

N°	Fecha	Municipio	Comunidad	N° de familias	N° de Participantes		Área	Actividad	Materiales	Facilitador	N° Doc.
					Varones	Mujeres					
1	21-Mar	Sucre D8	Chamina	18	10	8	Agrícola	Almacenado de hortalizas	Palas, picos, semillas, manguera	Ing. Oscar Laime	
2	26-Mar	Yamparáez	Catana	10	8	2	Apícola/pecuaria	Producción Apícola	Implementos apícolas	Ing. Fritz Hamel	
3	16-Apr	Poroma	Saichuma/Churun	9	7	2	Agrícola/Intercambio	Intercambio experiencias Finca Demostrativa Catana	Picos, semillas, manguera	Ing. Oscar Laime	
4	17-Apr	Poroma	Saichuma/Churun	9	7	2	Agrícola/Intercambio	Intercambio experiencias Finca Demostrativa Molle Molle	Picos, semillas, manguera	Ing. Oscar Laime	
5	3-May	Poroma	Chilichista	25	15	10	Social	Fortalecimiento a la organización comunal	Diapositivas	Dr. Jhon Flores Risco	
6	3-Apr	Presto	Misión Pampa	6			Transformación	Secado de hongos		SETASBOL	
7	12-15 marzo	Yamparáez	Catana	3	3		Frutales	Producción Cítricos	Visita finca	Yapacani	
8	12-15 marzo	Yamparáez/Zudañez	San José de Molles	4	4		Frutales	Producción Cítricos	Visita finca	Yapacani	
9	abril	Presto	Puca Pampa	21			Agrícola	Fortalecimiento en almacenado de hortalizas	Palas, picos, semillas, manguera		
10	Mayo	Poroma	Saichuma/Churun	16			Forestal/Intercambio	Intercambio de experiencias Manejo Vivero Forestal y bosque de pino a Pumilla	Tijeras de podar, sierras, bolsas, diapositivas		
11	Mayo	Poroma	Saichuma/Churun	16			Agrícola/Intercambio	Intercambio de experiencias implementación de huertos, siembra y manejo de hortalizas a Cucuri	Palas, picos, semillas, manguera		
12	junio	Yamparáez	Catana	10			Apícola	Apicultura		Miguel???	
13	9 y 27 julio	Poroma	Poroma	30			Agrícola	Elaboración de abonos y biocidas orgánicos		Ing. Oscar laime	
14	julio	Yamparáez	Catana	10			Apícola	Módulo apícola			
15	19-Jul	Icia	Guitarrani	2	2		Forestal	Manejo forestal de pino y eucaliptos	Tijeras de podar, sierras, cámara fotográfica	Lic. Miguel Dávalos	
16	15-Jul	Presto	Puca Pampa	20			Agrícola	Taller Plagas y enfermedades	Cartilla	Ing. Juan Simón	
17	17-Jul	Presto	Presto Porvenir	28			Frutales	Poda de Frutales durazno y manzano	Tijeras de podar, sierras	Ing. Fritz Hamel	
18	julio	Zudañez	Mayu Torcoco	21	21		Oficios	Capacitación en costura	Telas, agujas, cinta métrica, hilos	Capacitadora	



Proyecto Cambio Rural Fase II Componente de Capacitación

19-11-Jul	Mejocoya	Rio Toco	18	18	Oficios	Capacitación en arreglo de Máquinas de coser con la Organización de mujeres	Máquinas de coser, desarmador, aceite y kerosene.	Sergio Peterito
20-16-Jul	Mejocoya	Rio Toco	20	20	Social	Capacitación en Mejoramiento de vida	Data display, computadora, diapositivas, video	Ing. Jenny Zárate, Ing. Rosario Osorio
21-22-Agosto	Yamparáez Presto	Catana Puca Pampa	10 35		Apícola Agrícola	Apicultura Biopreparados y biocidas		Miguel???
23-23-Aug	Mejocoya	Rio Toco	14	14	Social	Capacitación en Mejoramiento de vida	Data display, computadora, diapositivas, video	Ing. Jenny Zárate, Ing. Rosario Osorio
24-21-Aug	Tarabuco/Icla	Kusi Huasi/Kollpa Pampa	9		Frutales/Intercambio	Capacitación e intercambio de experiencias en manzanos - Culpina		CETA Culpina
25-22-Aug	Icla/Tarabuco	Kollpa Pampa/Kusi Huasi	9		Frutales/Intercambio	Intercambio de experiencias en duraznos - Culpina		Asociación productores de durazno - Salitre
26-13-Sep	Zudañez	Mayu Torcoco	13	13	Social/intercambio	Intercambio de experiencias a la comunidad de Molle Punku - Organización de mujeres, tejidos		Grupo de mujeres de Molle Punku.

**Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural**

Datos actualizado: 2013/Jul/19

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total	Contribución				Período		Estado		
							Gobernación	Municipio	Comunidad	Universidad	JICA	De		A	Tiempo
7	Poroma	Palajia	Implementación de viveros comunales (Plantas) (1)	Forestación	23-12-09	12,346	4,105	3,354	333	0	4,584	30/11/09	31/01/10	63	Termino
8	Poroma	Poroma	Implementación de viveros comunales (Plantas) (2)	Forestación	23-12-09	12,553	4,312	3,354	333	0	4,584	30/11/09	31/01/10	63	Termino
9	Poroma	Chilichista	Implementación de viveros comunales (Plantas) (3)	Forestación	23-12-09	12,209	3,967	3,354	334	0	4,584	30/11/09	31/01/10	63	Termino
59	Poroma	Chijmuri	Establecimiento de vivero comunal forestal y frutícola	Forestación	14-09-10	15,139	1,645	920	6,900	300	5,374	31/08/10	31/12/10	123	90%
61	Poroma	Chijmuri	Plantaciones Forestales (Chijmuri)	Forestación	14-09-10	32,597	0	10,000	9,075	2,400	11,122	01/12/10	28/2/11	90	90%
62	Poroma	Chilichista	Plantaciones Forestales (Chilichista)	Forestación	14-09-10	51,957	11,900	8,850	15,435	2,400	13,372	01/12/10	28/2/11	90	90%
63	Poroma	Poroma	Reforzamiento en tejidos y costura en la comunidad Poroma	Oficio	14-09-10	44,480	0	0	18,840	160	25,480	10/09/10	20/11/10	72	Termino
75	Poroma	Chilichista	Reforzamiento en tejidos y costura en la comunidad de Chilichista	Oficio	04-11-10	18,249	0	0	9,500	0	8,749	15/11/10	15/11/11	62	Termino
98	Poroma	Chijmuri	Mejoramiento del vivero forestal frutícola y cosecha de agua	Forestación	02-03-11	11,596	0	3,880	300	1,420	5,996	01/03/11	31/3/11	31	80%
99	Poroma	Palajia	Establecimiento de un vivero comunal para la producción de plantas forestales y frutas	Forestación	02-03-11	16,178	2,398	3,357	5,580	1,350	3,493	01/01/11	1/1/11	1	
101	Poroma	Poroma	Establecimiento de un vivero forestal frutícola en la comunidad de poroma	Forestación	05-05-11	8,056	1,046	0	5,322	600	1,088	30/05/11	25/12/11	210	80%
103	Poroma	Chilichista	Viaje de intercambio de experiencias a finca demostrativas	Agricultura	10-05-11	2,398	0	0	0	0	2,398	16/05/11	17/5/11	2	Termino
150	Poroma	Chijmuri	Implementación de suelo con Conservación de agua y suelo	Riego y Agua	16-12-11	6,420	1,740	780	2,500	200	1,200				
151	Poroma	Chijmuri	Establecimiento de Protección de Vertientes	Riego y Agua	16-12-11	5,400	960	810	1,460	400	1,770				
152	Poroma	Chilichista	Implementación de suelo con Conservación de agua y suelo	Riego y Agua	16-12-11	8,640	2,220	1,800	2,500	200	1,920				
153	Poroma	Chilichista	Establecimiento de Protección de Vertientes	Riego y Agua	16-12-11	5,400	960	810	1,460	400	1,770				
154	Poroma	Churuni	Establecimiento de Protección de Vertientes	Riego y Agua	16-12-11	5,400	960	810	1,460	400	1,770				
155	Poroma	Saichuma	Establecimiento de Protección de Vertientes	Riego y Agua	16-12-11	5,400	960	810	1,460	400	1,770				
156	Poroma	Poroma	Establecimiento de Protección de Vertientes	Riego y Agua	16-12-11	5,450	0	1,350	2,350	400	1,350				
157	Poroma	Poroma	Implementación de suelo con Conservación de agua y suelo	Riego y Agua	16-12-11	8,640	2,220	1,800	2,500	200	1,920				
164	Poroma	Churuni	(+Chijmuri , Chilichista , Saichuma )Campana de Forestación	Forestación	09-01-12	68,382	5,000	19,000	17,790	3,600	22,982				
170	Poroma	Poroma	Construcción de microsistemas de riego y provision de agua potable	Agricultura	05-09-11	179,762	24,835	89,617	30,126	2,240	32,944				
191	Poroma	Chilichista	Construcción y Capacitación en fabrica de silos metálicos.	Oficio	03-07-12	17,280	0	6,664	1,800	840	7,976	21/05/12	30/6/12		
192	Poroma	Chilichista	Mejoramiento de Ovino	Ganadería	03-07-12	10,906	0	1,480	2,700	1,680	5,046	21/05/12	21/7/12		
197	Poroma	Saichuni y Chueuni	Construcción de Microsistemas de agua para consumo y riego en las comunidades de Saichuma y Churuni	Riego y Agua	17-09-12	105,083	13,818	43,945	11,120	1,400	34,800	21/09/12	30/11/12		
198	Poroma	Poroma	Construcción de Microsistemas de agua para consumo y riegosector Kollpa Kasa y apoyo a la producción horto-frutícola en la comunidad de Poroma	Riego y Agua	17-09-12	108,502	3,392	59,409	27,530	1,500	16,671	21/08/12	30/10/12		
199	Poroma	Poroma	prueba de producción de cebolla con personas líderes de la comunidad de poroma	Agricultura	19-09-12	2,175	0	0	1,100	0	1,075	19/09/12	30/12/12		
230	Poroma	Churuni	Viaje de intercambio de experiencias a finca demostrativas y Cuzuri	Agricultura	11-04-13	3,230	0	218	0	435	2,578	16/04/13	17/04/13		
236	Poloma	Poloma,Saichuma y Churuni	Viaje de intercambio de experiencias a las comunidades de Punilla y Cuzuri	Agricultura	20-05-13	5,948	0	725	0	725	4,498	27/05/13	20/05/13		
253	Poroma	Poroma	Riego por goteo en producción de oregano	Riego y Agua	04-07-13	11,271	0	2,090	2,250	600	6,331	15/07/13	30/09/13		
254	Poroma	Poroma	Construcción de Microsistema de riego familiar	Riego y Agua	04-07-13	151,721	0	99,889	26,600	1,600	23,632	15/07/13	30/10/13		
255	Poroma	Poroma	Provision de agua para el vivero forestal -frutal	Riego y Agua	04-07-13	11,090	0	3,277	1,630	1,120	5,053	15/07/13	15/08/13		
256	Poroma	Poroma	Apoyo y fortalecimiento en la producción de hortalizas:miskas y frutales	Riego y Agua	04-07-13	17,020	0	0	350	1,120	15,550	15/07/13	30/10/13		
257	Poroma	Chilichista	Implementación de molino eléctrico	Agricultura	04-07-13	17,123	0	193	650	1,120	15,161	15/07/13	30/09/13		
258	Poroma	Saichuma	Construcción de salon multifuncional	Oficio	04-07-13	55,301	0	17,077	11,550	0	26,674	15/07/13	30/10/13		
259	Poroma	Churuni	Construcción de salon multifuncional	Oficio	04-07-13	55,301	0	17,077	11,550	0	26,674	15/07/13	30/10/13		

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoria	Fecha aprobada	Costo total	Contribución			Período		Estado
							Gobernación	Municipio	Comunidad	Universidad	JICA	
						0						
						0						
	Poroma	36				1.108.592	86.438	406.699	234.388	29.210	351.657	
						100	8%	37%	21%	3%	32%	
							0					

**Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural**

Datos actualizado : 2013/Jul/19

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total	Contribución			JICA	De	Período	Estado		
							Gobernación	Municipio	Comunidad					Universidad	A
21	Presto	Presto Porvenir	Sistema de micro riego	Riego y Agua	01-10-09	128.959	0	61.800	9.800	0	57.359	05/11/09	30/08/10	299	Termino
22	Presto	Puca Pampa	Mejoramiento de camino vecinal	Camino	14-09-09	23.680	0	11.200	4.620	0	7.860	20/09/09	30/12/09	102	Termino
23	Presto	Misión Pampa	Sistema de micro riego	Riego y Agua	18-10-09	132.522	0	34.367	58.963	0	39.192	05/11/09	30/03/10	146	Proceso
46	Presto	Presto Porvenir	Sistema de micro riego	Riego y Agua	03-05-10	61.070	0	17.928	25.214	0	17.928	20/04/10	20/09/10	154	Termino
64	Presto	Misión Pampa	Implementación de huertos hortofrutícolas	Agrícola	20-10-10	39.882	3.222	6.170	18.400	780	11.310	01/11/10	1/10/11	335	Proceso
65	Presto	Presto Porvenir	Implementación de huertos hortofrutícolas	Agrícola	20-10-10	93.272	6.300	15.000	51.000	2.500	18.472	30/10/10	30/10/11	366	Termino
81	Presto	Misión Pampa	Elaboración de abonos y biofertilizantes orgánicos	Agrícola	24-11-10	4.581	730	1.070	660	0	2.121	01/12/10	1/12/11	366	Proceso
82	Presto	Presto Porvenir	Elaboración de abonos y biofertilizantes orgánicos	Agrícola	24-11-10	4.581	730	1.070	660	0	2.121	01/12/10	1/12/11	366	Proceso
105	Presto	Puca Pampa	Aprovechamiento y protección de fuentes de agua	Riego y Agua	10-12-10	93.373	19.140	27.502	15.449	0	31.282	01/12/10	1/3/11	91	Proceso
131	Presto	Paso Paya	Proteccion de vertientes y construccion de sistema de agua	Riego y Agua	01-07-11	144.740	16.393	31.139	32.820	9.540	54.848	01/07/11	30/9/11	92	Proceso
132	Presto	Puca Pampa	Aprovechamiento y Protección de fuente de agua	Riego y Agua	22-05-11	69.514	1.676	18.248	11.940	5.995	31.755	10/08/11	10/12/11	123	Proceso
133	Presto	Presto Porvenir	Intercambio de experiencias	Riego y Agua	12-07-11	3.520	0	0	0	0	3.520	13/07/11	14/7/11	2	Termino
166	Presto	Misión Pampa	(+Paso Paya , Presto Porvenir , Puca Pampa )Campana de Forestación	Forestación	09-01-12	92.200	11.200	21.740	19.800	2.500	36.960				
171	Presto	Misión Pampa	Proteccion de vertientes y construccion de sistema de agua	Riego y Agua	08-12-11	167.998	9.766	60.334	38.690	5.000	54.208				
173	Presto	Misión Pampa	Elaboracion de abono SNV	Agrícola	02-02-12	30.104	0	18.204	5.400	1.900	5.000				
187	Presto	Puca Pampa	Vacunacion de animales(Fondo lotacion)	Ganadería	02-07-12	9.434	125	2.450	1.200	299	5.360	01/05/12	30/6/12		
188	Presto	Presto Porvenir	Vacunacion de animales(Fondo lotacion)	Ganadería	02-07-12	8.010	100	3.900	1.250	150	2.610	01/05/12	30/6/12		
189	Presto	Misión Pampa	Vacunacion de animales(Fondo lotacion)	Ganadería	02-07-12	6.540	75	3.900	650	75	1.840	01/05/12	30/6/12		
190	Presto	Paso Paya	Implementacion de hurtos familiares	Agrícola	02-07-12	58.896	4.557	9.860	31.500	449	12.530	01/05/12	30/12/12		
200	Presto	Puca Pampa	Implementacion de huertos hortofrutícolas en la comunidad de Puca Pampa	Agrícola	25-09-12	65.270	1.830	19.830	18.480	200	24.930	25/09/12	31/3/13		
201	Presto	Misión Pampa	Implementacion de huertos hortofrutícolas en la comunidad de Misión Pampa	Agrícola	25-09-12	49.874	2.204	19.690	12.600	200	15.180	25/09/12	31/3/13		
202	Presto	Presto Porvenir	Implementacion de huertos familiares hortofrutícolas	Agrícola	25-09-12	61.639	4.865	8.600	30.000	299	18.075	25/09/12	31/3/13		
203	Presto	Presto Porvenir	Proteccion de vertiente y construccion de sistema de agua para micro riego	Riego y Agua	25-09-12	12.574	2.691	2.689	4.130	300	2.764	25/09/12	31/12/12		
240	Presto	Misión Pampa	manejo de bosques de pino , aprovechamiento de hongo silvestre y establecimiento de secadores para22beneficiarios en la comunidad de mision pampa	Agrícola y Forestación	24-06-13	75.924	0	36.380	18.801	0	20.743				
241	Presto	Puca Pampa	Implementacion de 11 Aparios para produccion de miel en la comunidad de Puca Pampa	Ganadería	24-06-13	75.214	0	22.089	3.825	0	49.300				
277	Presto	Paso Paya	Implementacion de AloeVera	Agrícola	12-07-13	29.731	0	7.973	6.300	0	15.458	15/07/13	30/09/13		
278	Presto	Presto Poevenir	Mejoramiento de toma de Agua	Riego y Agua	12-07-13	2.587	0	490	880	299	918	15/07/13	30/07/13		
						0									
						0									
						0									
						0									
Presto						1.545.889	85.604	463.623	422.932	30.086	543.644				
		25				100	6%	30%	27%	2%	35%				

Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total	Contribución			Período			Estado			
							Gobernación	Municipio	Comunidad	Universidad	JICA	De		A	Tiempo	
37	Yamparaéz	Molle Punku	Reforestación comunitaria	Forestación	11-01-10	21,126	10,200	2,550	5,438	0	2,938	22/01/10	20/02/10	30	Termino	
38	Yamparaéz	Catana	Reforestación comunitaria	Forestación	11-01-10	13,551	2,625	2,550	5,438	0	2,938	22/01/10	20/02/10	30	Termino	
39	Yamparaéz	Sajpaya	Reforestación comunitaria	Forestación	11-01-10	12,884	1,960	2,550	5,437	0	2,937	22/01/10	20/02/10	30	Termino	
40	Yamparaéz	S.J.Molle	Reforestación comunitaria	Forestación	11-01-10	13,549	2,625	2,550	5,437	0	2,937	22/01/10	20/02/10	30	Termino	
41	Yamparaéz	S.J.Molle	Protección y mejoramiento de 2 vertientes (zona ática)	Conserv.RR y	10-01-10	7,425	250	800	800	200	5,375	10/01/10	08/02/10	30	Termino	
42	Yamparaéz	Sajpaya	Capacitación a Organización de Mujeres en Mantenimiento de Máquinas	Oficio	11-01-10	19,848	12,500	1,000	2,000	1,000	3,348	12/01/10	12/03/10	60	Termino	
44	Yamparaéz	S.J.Molle	Construcción de una nueva toma de agua para consumo	Salud	11-01-10	12,725	1,600	1,500	4,800	200	4,625	12/01/10	12/03/10	60		
45	Yamparaéz	S.J.Molle	Capacitación en mantenimiento de máquinas de tejido y costura y reforzamiento en conocimientos sobre la confección de las prendas a la Organización de Mujeres	Oficio	11-01-10	19,848	12,500	1,000	2,000	1,000	3,348	12/01/10	12/03/10	60	Termino	
46	Yamparaéz	Molle Punku	Mejoramiento del Sistema de Captación de Agua para la Producción de Huerta Hortícola Familiar	Riego y Agua	11-01-10	52,075	1,000	5,000	24,000	1,500	20,575			1	0%	
89	Yamparaéz	Catana	Mejoramiento de la comercialización de tuna a través de la construcción de cajas de madera (tipo de tomate)	Agrícola	17-01-11	20,017	3,849	3,285	4,000	3,880	5,003	20/01/11	28/2/11	40		
144	Yamparaéz	Molle Punku	Protección de vertientes en la comunidad	Riego y Agua	24-10-11	20,123	2,403	4,383	3,521	1,638	8,178					
147	Yamparaéz	Sajpaya	(-S.J.Molle,Molle Punku,Catana)Campaña Forestal@Shinomi	Forestación	21-11-11	65,776	7,092	12,800	17,750	1,092	27,242					
167	Yamparaéz	Molle Punku	Mejoramiento de ganado	Ganadería	09-01-12	19,199	4,700	4,700	4,800	0	4,999			Monitor		
168	Yamparaéz	Sajpaya	Mejoramiento de ganado	Ganadería	09-01-12	19,199	4,700	4,700	4,800	0	4,999			Monitor		
212	Yamparaéz	Molle Punku	Mejorar la fertilidad del suelos agrícolas y capacidad en productivo de los suelos	Agrícola	01-10-12	13,416	2,500	2,500	4,900	546	2,970	01/10/12	30/11/12			
213	Yamparaéz	San Jose de Molle	Mejorar la fertilidad del suelos agrícolas en huertos familiares	Agrícola	01-10-12	9,436	1,400	1,300	4,500	546	1,690	01/10/12	30/12/12			
214	Yamparaéz	Catana	Mejorar la fertilidad del suelos agrícolas en huertos familiares	Agrícola	01-10-12	9,636	1,750	1,400	4,150	546	1,790	01/10/12	30/12/12			
215	Yamparaéz	Sajpaya	Mejorar la fertilidad del suelos agrícolas en huertos familiares	Agrícola	01-10-12	11,516	2,250	1,800	4,650	546	2,270	01/10/12	30/12/12			
216	Yamparaéz	Catana	Generación de ingresos a través de Implementación de apicultura	Ganadería	01-10-12	23,440	1,990	8,800	2,800	550	9,300	01/10/12	30/6/13			
217	Yamparaéz	Catana	Mejoramiento de Caprino	Ganadería	01-10-12	18,172	300	2,920	4,400	2,956	7,596	01/10/12	30/09/13			
218	Yamparaéz	San Jose de Molle	Mejoramiento de Caprino	Ganadería	01-10-12	18,172	300	2,920	4,400	2,956	7,596	01/10/12	30/09/13			
219	Yamparaéz	Catana	Implementación de huerto fenológico	Agrícola	01-10-12	39,629	16,265	4,052	9,200	250	9,862	01/10/12	30/09/13			
220	Yamparaéz	San Jose de Molle	Implementación de huerto fenológico	Agrícola	01-10-12	39,628	15,440	8,552	7,890	544	7,202	01/10/12	30/09/13			
266	Yamparaéz	Molle Punku	Ampliación del sistema de riego	Riego y Agua	08-07-13	41,396	0	17,608	4,400	694	18,694	15/07/13	30/09/13			
267	Yamparaéz	San Jose de Molle	Distribución de agua de riego	Riego y Agua	08-07-13	33,927	0	12,280	5,860	3,552	12,135	15/07/13	30/09/13			
268	Yamparaéz	Catana	Ampliación de modulo Apícola	Ganadería	08-07-13	39,830	0	17,400	3,450	1,480	17,500	15/07/13	30/09/13			
279	Yamparaéz	Sajpaya	Construcción de atajado en la comunidad	Riego y Agua		36,975	0	21,450	3,520	1,450	10,555	01/08/13	30/08/13			
						0										
						0										
						0										
						0										
						0										
						0										
						0										
						0										
						0										
						0										
Yamparaéz						652,518	110,199	152,150	154,441	27,126	208,602					
						100	17%	23%	24%	4%	32%					

**Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural**

Datos actualizado : 2013/Jul/19

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoria	Fecha aprobada	Costo total	Contribución			JICA	Período		Estado		
							Gobernación	Municipio	Comunidad		Universidad	De		A	Tiempo
11	Sucre rural	Tumpeka	Intercambio de experiencias	Agrícola	25-11-09	1.824	147	170	120	867	520	02/12/09	03/12/09	2	Termino
12	Sucre rural	Mamahuari	Intercambio de experiencias	Agrícola	25-11-09	1.822	146	170	120	866	520	02/12/09	03/12/09	2	Termino
13	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Intercambio de experiencias	Agrícola	25-11-09	1.824	147	170	120	867	520	02/12/09	03/12/09	2	Termino
16	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Construcción de toma del sistema de riego	Conserv. RR y	17-08-09	12.420	0	7.350	4.320	750	36.220	17/08/09	31/08/09	15	Termino
20	Sucre rural	Tumpeka	Malet	Pecuaria	01-10-09	73.480	0	20.050	11.210	6.000	600	01/10/09	30/09/11	730	95%
31	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Incorporación de leguminosas "arveja y haba" al suelo como abonos verdes	Agrícola	20-01-10	3.610	820	180	250	600	1.760	25/01/10	25/06/10	152	60%
36	Sucre rural	Tumpeka	Mejoramiento y apertura de camino a Pata Toloyo	Camino	05-02-10	91.871	500	28.300	18.000	0	45.071	01/02/10	30/03/10	58	Termino
74	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Investigación en la cría de peces	Pecuaria	27-10-10	30.139	1.840	5.480	2.800	500	19.519	15/11/10	15/11/11	366	30%
80	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Reparación rueda hidráulica (Primera Fase)	Riego y Agua	03-12-10	16.242	0	240	9.000	7.002	7.002	06/12/10	23/12/10	18	50%
85	Sucre rural	Mamahuari	Capacitación en manejo de abejas	Pecuaria	30-11-10	6.425	0	4.550	600	600	675	01/12/10	28/2/11	90	70%
88	Sucre rural	Tumpeka	Plantaciones Forestales	Forestación	30-11-10	53.879	350	29.650	11.800	400	11.679	01/12/10	30/3/11	120	95%
87	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Plantaciones Forestales	Forestación	30-11-10	24.004	350	9.175	5.800	400	8.279	01/12/10	30/3/11	120	95%
114	Sucre rural	Mamahuari	Fincas demostrativas familiares protección vertiente	Agrícola	22-08-11	23.954	3.092	7.134	11.200	0	2.528	01/08/11	30/12/11	152	75%
115	Sucre rural	Tumpeka	Intercambio de experiencias	Agrícola	04-07-11	3.170	0	0	0	1.350	1.820	14/07/11	15/7/11	2	Termino
116	Sucre rural	Tumpeka	construcción de carpas solares familiares	Agrícola	22-08-11	28.020	0	14.090	7.150	1.000	6.780	01/05/10	11/10/11	180	70%
172	Sucre rural	Mamahuari	Plantaciones Forestales(Maracori,Tumpeca)	Forestación	12-12-11	89.210	5.140	10.000	52.890	400	20.780			1	
180	Sucre rural	Tumpeka	Producción de plantas forestales	Forestación	02-07-12	16.284	1.918	7.706	4.040	1.350	1.250	15/06/12	15/12/12		
181	Sucre rural	Tumpeka	Crianza de Peces	Pecuaria	02-07-12	29.064	0	17.604	4.120	2.240	5.100	02/07/12	30/10/12		
182	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Producción de plantas forestales	Forestación	02-07-12	15.400	600	8.100	4.040	1.350	1.310	15/06/12	15/12/12		
183	Sucre rural	Maracori Sunchu P.	Escuela de Campo(Producción de hortalizas)	Agrícola	02-07-12	13.910	2.060	4.740	2.520	1.350	3.240	15/06/12	30/11/12		
184	Sucre rural	Molle Molle	Producción de hortalizas	Agrícola	02-07-12	14.272	3.042	5.245	2.790	1.350	1.845	15/06/12	30/11/12		
185	Sucre rural	Molle Molle	Construcción de sistema de riego	Riego y Agua	02-07-12	30.076	7.520	8.342	4.875	1.560	7.779	15/06/12	30/8/12		
188	Sucre rural	Molle Molle	Construcción de sistema de riego	Riego y Agua	02-07-12	28.615	395	13.986	3.585	1.288	10.351	15/07/12	30/9/12		
204	Sucre rural	Mamahuari	Producción de hortalizas en huertos familiares	Agrícola	01-10-12	19.470	0	11.980	3.340	1.350	2.800	01/10/12	30/11/12		
205	Sucre rural	Mamahuari	Producción de plantas forestales en viveros	Forestación	01-10-12	18.718	0	11.505	4.540	1.350	1.323	01/10/12	15/12/12		
206	Sucre rural	Maracori	Producción de frutas en huertos familiares	Agrícola	01-10-12	16.170	0	10.620	3.540	1.350	660	01/10/12	15/12/12		
225	Sucre rural	Mamahuari	Se implementara y producirá flores de diferentes variedades en huertos familiares para potenciar mejores ingresos económicos a las familias	Agrícola y Forestación		22.140,00	780,00	14.370,00	3.340,00	1.350,00	2.300,00				
226	Sucre rural	Tumpeka	Implementación y conclusión de carpas solares familiares	Agrícola y Forestación		20.329,00	900,00	11.609,00	4.540,00	1.350,00	1.930,00				
227	Sucre rural	Molle Molle	Construcción y captación de agua para consumo humano	Riego y agua		13.726,00	54,00	5.942,00	3.805,00	1.288,00	2.637,00				
231	Sucre rural	Tumpeka	Construcción de 3 microsistemas de riego y cosecha de agua	Riego y Agua	13-05-13	31.528	0	15.603	8.040	1.950	5.935	01/05/13	30/08/13		
232	Sucre rural	Maracori	Producción de Hortalizas en Escuelas de campo	Agrícola	13-05-13	12.850	0	6.130	4.620	1.350	750	01/04/13	15/12/13		
233	Sucre rural	Maracori	Producción de plantas forestales en viveros grupales y familiares	Agrícola y Forestación	13-05-13	12.196	0	5.255	4.540	1.350	1.051	15/03/13	30/12/13		
234	Sucre rural	Molle Molle	Construcción de un micro sistema de riego	Riego y Agua	13-05-13	28.241	0	16.081	7.680	2.300	3.180	15/04/13	30/08/13		
235	Sucre rural	Tumpeca A y B	Producción de plantas forestales en viveros grupales y familiares	Agrícola y Forestación	13-05-13	19.667	0	12.512	4.540	1.350	1.265	01/04/13	01/12/13		
246	Sucre rural	Molle Molle	Riego por goteo en producción de orejano	Riego y Agua	04-07-13	11.271	0	2.090	2.250	600	633	15/07/13	30/09/13		
247	Sucre rural	Molle Molle	Producción del orejano a la comunidad de Molle Molle a nivel demostrativo y experimental	Agrícola	04-07-13	21.198	0	4.100	11.500	1.350	4.188	15/07/13	30/12/13		
248	Sucre rural	Molle Molle	Construcción de un sistema de riego en sector Thojraya	Riego y Agua	04-07-13	40.871	0	20.981	6.040	2.710	11.160	15/07/13	30/10/13		
249	Sucre rural	Mamahuari	Recondicionamiento de 3 sistema de riego	Riego y Agua	04-07-13	21.710	0	7.416	6.960	1.950	5.384	01/08/13	30/10/13		
250	Sucre rural	Maracori	Revestimiento de canal de sistema de riego revestido	Riego y Agua	04-07-13	25.864	0	5.184	14.200	2.350	4.130	15/07/13	30/10/13		
251	Sucre rural	Tumpeca	Producción de hortalizas en huertos familiares demostrativos	Agrícola	04-07-13	18.755	0	9.405	4.200	2.150	3.000	15/07/13	30/10/13		
252	Sucre rural	Tumpeca	Investigación de la replicabilidad de crianza de peces	Ganadería	04-07-13	36.082	0	24.430	6.580	2.240	2.832	15/07/13	30/08/13		

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total	Gobernación			Contribución			Período		Estado	
							Municipio	Comunidad	Universidad	JICA	De	A	Tiempo			
						0										
						0										
						0										
	Sucre rural	41				1,003,281	29,801	397,395	63,026	256,905	256,154					
						100	3%	40%	6%	26%	25%					
						0										



Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total	Contribución			De	Período	Tiempo	Estado		
							Soberanía	Municipio	Comunidad						
60	Yotola	Palamana	Establecimiento vivero comunal producción plantas forestales y frutales	Forestación	14-09-10	14,848	2,048	3,357	5,685	1,350	2,408	15/07/10	63	50%	
66	Yotola	Chamina	Plantaciones Forestales	Forestación	14-09-10	55,860	5,100	18,500	21,540	1,200	9,920	01/12/10	28/2/11	90	90%
67	Yotola	Chamina	Construcción depósito de herramientas e insumos del vivero forestal y garantizar purificación del agua para el consumo de los alumnos	Forestación	14-09-10	17,176	0	7,548	1,380	700	7,548	15/08/10	30/10/10	77	90%
68	Yotola	Arifaya del Peral	Construcción de corrales para caprinos en Palamana	Salud	14-09-10	20,318	0	7,880	1,980	700	9,768	15/08/10	30/10/10	77	Termino
102	Yotola	Palamana	Viaje de intercambio de experiencias a finca demostrativas	Pecuaria	09-05-11	20,125	0	5,616	8,400	1,120	4,989	01/05/11	5/6/11	36	70%
104	Yotola	Chamina	Capacitación en elaboración de carne de membrillo	Viaje de intercambio de experiencias a finca demostrativas	12-05-11	724	0	0	0	0	724	18/05/11	18/5/11	1	Termino
106	Yotola	Palamana	Cosecha y dotación de agua para funcionamiento de la Escuela	Pecuaria	10-04-11	447	0	0	139	0	308	18/04/11	24/4/11	7	Termino
107	Yotola	Arifaya del Peral	Capacitación en sanidad de animal	Riego y Agua	16-05-11	21,833	0	7,734	10,000	2,030	11,069	31/01/11	20/2/11	21	90%
108	Yotola	Arifaya del Peral	Introducción de caprinos reproducido de mejorados a Palamana	Pecuaria	15-06-10	904	0	0	280	298	326	15/06/10	15/7/10	31	Termino
109	Yotola	Palamana	Investigación mejoramiento de caprinos	Pecuaria	27-09-10	21,168	0	0	2,900	5,760	12,508	01/09/10	30/12/10	121	Termino
110	Yotola	Palamana	Establecimiento de un vivero forestal frutícola en la comunidad de Poroma	Pecuaria	10-12-10	7,988	0	0	1,266	2,880	3,842	13/12/10	30/12/10	18	Termino
111	Yotola	Palamana	Implementación de huertos familiares y doras de conservación de suelo desarrollado la Agroforestería	Forestación	09-05-11	15,960	3,389	2,999	2,940	0	6,632	15/05/11	25/12/11	225	40%
112	Yotola	Chamina	Implementación de huertos familiares y obras de conservación de suelos	Agrícola	18-07-11	32,705	4,456	2,610	16,680	2,700	6,259	16/07/11	30/12/11	168	10%
113	Yotola	Palamana	Implementación de huertos comunales	Agrícola	18-07-11	11,711	2,532	2,500	2,300	2,700	1,679	17/07/11	15/12/11	152	40%
145	Yotola	Chamina	(+Tipo)Palamana, Arifaya del Peral) Plantación Forestal	Forestación	14-11-11	74,063	6,250	38,010	15,750	2,970	11,083				
146	Yotola	Chamina	Ampliación del sistema de micro riego "Desarrollo de la Agroforestería	Riego y Agua	14-11-11	11,060	1,920	2,730	3,600	270	2,540				
169	Yotola	Tipoyo	Implementación de huertos familiares y obras de conservación de suelos "Desarrollo de la Agroforestería	Agrícola	05-09-11	32,231	9,769	2,265	10,880	2,700	6,617			1	
174	Yotola	Palamana	Capacitación en elaboración de carne de membrillo.	Agrícola	12-05-12	712	0	250	245	0	217	20/03/12	23/3/12		
175	Yotola	Chamina	Implementación de huertos familia y conservación de suelos	Agrícola	02-07-12	14,554	7,510	2,700	1,760	560	2,024	01/07/12	30/9/12		
176	Yotola	Chamina	Protección de vertiente y ampliación de aducción para riego	Riego y Agua	02-07-12	6,589	3,357	1,188	1,480	270	304	01/07/12	30/9/12		
177	Yotola	Arifaya del Peral	Huertos familiares y obras de conservación de suelo	Agrícola	02-07-12	9,502	2,268	2,380	1,760	270	2,824	01/07/12	30/9/12		
178	Yotola	Tipoyo	Huertos familiares y obras de conservación de suelo y riego	Agrícola	02-07-12	10,063	3,202	1,700	1,280	270	3,611	01/07/12	30/9/12		
179	Yotola	Palamana	Riego con Conservación de suelo	Riego y Agua	02-07-12	17,061	7,566	3,050	1,760	270	4,415	01/07/12	30/9/12		
196	Yotola	Palamana	Introducción de reproducción machos para mejoramiento de caprinos 2do grupo en la comunidad de Palamana	Ganadería	17-09-12	5,301	0	1,530	1,350	0	2,421	20/09/12	15/11/12		
228	Yotola	Palamana	Construcción de corrales para mejoramiento de caprinos	Ganadería	09-04-13	15,348	0	4,680	5,500	0	5,168	15/04/13	30/07/13		
229	Yotola	Chamina	Implementación de huerto familiares con obras de suelo	Riego y agua	09-04-13	10,033	4,620	1,760	1,760	560	3,093	15/04/13	30/07/13		
243	Yotola	Tipoyo	Ampliación de huertos familiares y obras de conservación de suelos grupo3	Agrícola	04-07-13	32,250	0	9,850	6,200	400	15,800	15/07/13	30/10/13		
244	Yotola	Tipoyo	Ampliación de huertos familiares y obras de conservación de suelos grupo4	Agrícola	04-07-13	33,561	0	10,920	6,200	400	16,041	15/07/13	30/10/13		
245	Yotola	Palamana	Ampliación de huertos familiares y obras de conservación de suelos Palamana	Agrícola	04-07-13	10,993	0	2,760	1,940	700	5,583	15/07/13	15/09/13		
						0	0	0	0	0	0				
						0	0	0	0	0	0				
Yotola						525,086	59,367	147,377	127,955	31,076	159,310				
						100%	11%	28%	24%	6%	30%				



Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural

Datos actualizado : 2013/Jul/19

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total		Contribución		Período			Estado		
						Gobernación	Municipio	Comunidad	Universidad	JICA	De	A		Tiempo	
1	Iola	Guitarrani	Incorporación de leguminosas "arveja y haba" al suelo como abonos verdes (1)	Agrícola	14-12-09	2.101	420	120	167	400	994	15/12/09	18/03/10	94	Termino
2	Iola	Kollpa pampa	Incorporación de leguminosas "arveja y haba" al suelo como abonos verdes (2)	Agrícola	14-12-09	2.100	420	120	167	400	993	15/12/09	18/03/10	94	Termino
3	Iola	Molle Mayu	Incorporación de leguminosas "arveja y haba" al suelo como abonos verdes (3)	Agrícola	14-12-09	2.099	420	120	166	400	993	15/12/09	18/03/10	94	Termino
5	Iola	Chunca Cancha	Incorporación de leguminosas "tarwi" al suelo como abonos verdes	Agrícola	14-12-09	1.945	60	75	150	400	1.280	15/12/09	15/03/10	91	Termino
26	Iola	Kollpa pampa	Reforestación comunitaria	Forestación	22-01-10	15.312	4.050	2.666	5.120	750	2.726			1	Termino
27	Iola	Guitarrani	Reforestación comunitaria	Forestación	22-01-10	17.962	8.450	2.666	3.370	750	2.726			1	Termino
28	Iola	Chunca Cancha	Reforestación comunitaria	Forestación	22-01-10	19.022	6.470	2.666	6.410	750	2.726			1	Termino
29	Iola	Molle Mayu	Reforestación comunitaria	Forestación	22-01-10	12.267	3.500	2.466	3.025	750	2.526			1	Termino
32	Iola	Chunca Cancha	Implementación de un vivero Comunal	Forestación	15-01-10	10.649	3.148	1.586	1.780	2.200	1.935	01/01/10	01/03/10	60	Termino
33	Iola	Kollpa pampa	Implementación de un vivero Comunal	Forestación	15-01-10	12.466	2.835	4.336	1.780	1.200	2.315	01/01/10	01/03/10	60	Termino
34	Iola	Molle Mayu	Implementación de un vivero Comunal	Forestación	15-01-10	12.460	3.785	2.300	1.780	2.200	2.395	01/01/10	01/03/10	60	Termino
35	Iola	Guitarrani	Implementación de un vivero Comunal	Forestación	15-01-10	9.464	2.448	1.616	1.780	1.200	2.420	01/01/10	01/03/10	60	Termino
54	Iola	Guitarrani	Campaña de desparasitación y castración de ganado mayor y ganado menor. (Fondo rotatorio)	Pecuaria	06-09-10	4.500	260	300	2.600	140	1.200	03/08/10	20/08/10	18	Proceso
55	Iola	Kollpa pampa	Campaña de desparasitación y castración de ganado mayor y ganado menor. (Fondo rotatorio)	Pecuaria	06-09-10	6.087	147	600	4.000	140	1.200	03/08/10	20/08/10	18	Proceso
56	Iola	Chunca Cancha	Campaña de desparasitación y castración de ganado mayor y ganado menor. (Fondo rotatorio)	Pecuaria	06-09-10	7.800	260	600	5.000	140	1.800	03/08/10	20/08/10	18	Proceso
57	Iola	Molle Mayu	Mejoramiento de la calidad de vida y fortalecimiento del grupo de mujeres, mediante el perfeccionamiento de tejidos tradicionales	Oficio	21-09-10	23.067	374	2.400	9.920	1.670	8.703	26/08/10	26/10/10	62	95%
58	Iola	Kollpa pampa	Mejoramiento de la calidad de vida y fortalecimiento del grupo de mujeres, mediante el perfeccionamiento de tejidos tradicionales	Oficio	21-09-10	29.863	374	3.600	14.880	1.670	9.339	26/08/10	26/10/10	62	95%
90	Iola	Chunca Cancha	Reforestación comunitaria campaña 2010-2011	Forestación	17-01-11	15.628	3.930	600	5.044	1.010	5.044	20/12/10	20/2/11	63	Termino
91	Iola	Guitarrani	Reforestación comunitaria campaña 2010-2011	Forestación	17-01-11	13.146	2.680	1.500	6.730	272	1.984	20/12/10	20/2/11	63	Termino
92	Iola	Molle Mayu	Reforestación comunitaria campaña 2010-2011	Forestación	17-01-11	13.879	4.200	1.500	6.130	272	1.777	20/12/10	20/2/11	63	Termino
93	Iola	Kollpa pampa	Reforestación comunitaria campaña 2010-2011	Forestación	17-01-11	15.919	2.860	1.500	8.410	272	2.877	20/12/10	20/2/11	63	Termino
134	Iola	Kollpa pampa	Intercambio de mejoramiento de suelo, hortalizas comercializaci3n(+MolleMayu)	Agrícola	26-09-11	5.492	700	500	0	0	4.292				Termino
135	Iola	Kollpa pampa	Distribución de agua por proyecto APC	Agrícola	25-09-11	27.961	1.916	5.633	16.711	1.200	2.500				
136	Iola	Guitarrani	Distribución de agua por proyecto APC	Agrícola	25-09-11	30.230	5.032	3.856	9.773	1.200	10.369				
137	Iola	Molle Mayu	Distribución de agua por proyecto APC	Agrícola	25-09-11	38.034	5.846	10.815	10.993	1.200	9.179			1	
138	Iola	Chunca Cancha	Distribución de agua por proyecto APC	Agrícola	25-09-11	38.231	5.032	9.682	9.058	600	13.959				
148	Iola	Molle Mayu	Diversificación de los tejidos tradicionales	Oficio	12-12-11	35.178	0	2.100	23.123	0	9.955			1	
149	Iola	Molle Mayu	(+Guitarran, Kollpa pampa, Chunca Cancha) Mayor Suelto en Hortalizas familiar	Agrícola	12-12-11	12.600	0	2.680	6.70	6.920	2.330				
158	Iola	Molle Mayu	(+Guitarran, Kollpa pampa, Chunca Cancha) Protección de vertientes	Riego y Agua	09-01-12	13.522	5.240	1.850	2.550	200	3.682			1	
159	Iola	Guitarrani	(+Chunca Cancha) Intercambio de experiencias en mejoramiento de suelos, producción de hortalizas y comercialización	Agrícola	09-01-12	5.392	700	500	0	418	3.774			1	
160	Iola	Chunca Cancha	Implementación de huertos familiares en base de conservación de suelo y agua , y fertilidad de suelo productivo con líderes agricultores	Agrícola	09-01-12	23.669	3.611	2.504	13.275	1.653	2.526				
161	Iola	Guitarrani	Implementación de huertos familiares en base de conservación de suelo y agua , y fertilidad de suelo productivo con líderes agricultores	Agrícola	09-01-12	10.970	1.813	1.348	4.400	1.653	1.756				

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoria	Fecha aprobada	Costo total	Gobernación			Contribución		De	Periodo	Estado
							Municipio	Municipio	Comunidad	Universidad	JICA			
162	Isla	Kolpa pampa	Implementación de huertos familiares en base de conservación de suelo y agua , y fertilidad de suelo productivo con líderes agricultores	Agrícola	09-01-12	15,995	3,117	1,502	8,750	1,316	1,309			
163	Isla	Molle Mayu	Implementación de huertos familiares en base de conservación de suelo y agua , y fertilidad de suelo productivo con líderes agricultores	Agrícola	09-01-12	14,991	3,236	2,074	6,450	1,316	1,914			
165	Isla	Chunca Cancha	(+Guitarrani , Kolpa pampa , Molle Mayu )Campaña de Forestación	Forestación	09-01-12	55,734	9,374	9,000	26,520	1,468	9,374			
185	Isla	Kolpa pampa	Generación de ingresos por tejidos mujeres	Oficio	07-08-12	75,913	4,500	4,500	59,757	1,000	5,757	07/08/12	20/10/12	
221	Isla	Kolpa pampa	Distribución de agua al huerto escolar y vivero forestal comunal, en base al estanque construido por el proyecto APC para la diversificación de la producción agrícola mediante la producción de hortalizas y contribuir a mejorar la dieta alimenticia de los niños, así mismo asegurar la producción de plantas forestales.	Agrícola y Forestación		8,842.09	612.50	3,065.40	1,523.29	1,294.00	2,346.90			
222	Isla	Chunca Chunca	Fortalecimiento de la organización de mujeres a través de la capacitación en costura y generar ingresos económicos adicionales por la costura	Oficio		17,130.00	0.00	6,000.00	5,130.00	0.00	6,000.00			
223	Isla	Kolpa pampa	Capacitación y aprovechamiento de agua a las parcelas productivas en base construcción pequeños micro sistema, para la diversificación de la producción (hortalizas) en Huertos Familiares comunidad Kolpa Pampa en la zona Narajipos.	Riego y Agua		22,764.96	2,904.15	7,070.77	5,651.14	0.00	7,138.90			
224	Isla	Guitarrani	Capacitación y aprovechamiento de agua a las parcelas productivas en base construcción pequeños micro sistema, para la diversificación de la producción agrícola (hortalizas) en Huertos Familiares comunidad Guitarrani en la zona Pampa Pampa.	Riego y Agua		17,976.30	1,350.00	6,105.00	3,316.00	1,292.00	5,913.30			
269	Isla	Molle Mayu,Kolpa Pampa,Chunca cancha	Diversificación del vivero forestal frutícola	Forestación	08-07-13	15,329	0	4,500	1,560	3,552	5,717	15/07/13	30/09/13	
270	Isla	Molle Mayu,Kolpa Pampa,Chunca cancha,Alta Guitarrani	Incorporación de pasto falaris	Ganadería	08-07-13	17,790	0	6,060	3,120	2,176	6,434	15/07/13	30/08/13	
271	Isla	Chunca Cancha	Aprovechamiento de agua para producción agrícola	Riego y Agua	08-07-13	13,610	0	5,010	2,270	1,292	5,038	15/07/13	30/09/13	
272	Isla	Kolpa Pampa	Agua para riego en huertos familiares.	Riego y Agua	08-07-13	41,057	0	18,394	4,200	374	18,089	15/07/13	30/09/13	
273	Isla	Guitarrani	Agua para riego en huertos familiares.	Riego y Agua	08-07-13	31,467	0	13,313	4,375	374	13,405	15/07/13	30/09/13	
274	Isla	Chunca Cancha	Agua para riego en huertos familiares.	Riego y Agua	08-07-13	28,769	0	11,999	4,245	374	12,152	15/07/13	30/09/13	
280	Isla	Molle Mayu	Mejoramiento de sistema de riego	Riego y Agua		15,039	0	8,920	2,774	0	3,345	15/08/13	15/09/13	
						0								
						0								
						0								
						0								
Isla						880,922	106,075	182,219	318,604	47,857	226,167			
						100%	12%	21%	36%	5%	26%			

Isla	Chunca Cancha	Guitarrani	Kolpa pampa	Molle Mayu	Riego y Agua Agrícola			Forestación Oficina			Total
					27.43	16.76	32.80	23.01	100.00	241,645.10	
					45,760	69,591	12,247.50	106,142.60	40,197.00	0.00	273,938.60
					8,947.50	40,572.00	0.00	0.00	0.00	0.00	151,489.25
					76,044	54,698	10,534.90	48,906.60	105,376.00	35,178.00	295,459.42
					18,420	58,273	4,447.50	43,715.60	35,178.00	160,034.19	880,922.46
					100.00	880,922.46					

2013年 各村へのJICA負担分 70000Bs

163,062	0	68,196	22,544	8,142	64,180
---------	---	--------	--------	-------	--------

Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural

Datos actualizado : 2013/Jul/19

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total		Contribución		Período		Estado				
						Gobernación	Municipio	Municipio	Comunidad	De	A		Tiempo			
						Costo total	Gobernación	Municipio	Comunidad	JICA	JICA					
						Costo total	Gobernación	Municipio	Comunidad	Universidad	Universidad					
14	Zudañez	Pirhua Mayu	Campaña de Plantaciones Forestales	Forestación	11-01-10	11,664	6,314	2,300	1,000	0	2,050	15/12/09	15/03/10	91	Termino	
15	Zudañez	Mayu Torocco	Campaña de Plantaciones Forestales	Forestación	11-01-10	13,986	5,570	3,500	1,666	0	3,250	15/12/09	15/03/10	91	Termino	
47	Zudañez	Pata Torocco	Campaña de Plantaciones Forestales	Forestación	11-01-10	16,400	6,450	4,100	2,000	0	3,850	11/01/10	15/03/10	64	Termino	
49	Zudañez	Mayu Torocco	Campaña de desparasitación y castración (Fondo rotatorio)	Pecuaria	03-05-10	3,890	215	365	1,750	300	1,260	05/05/10	05/06/10	32	Termino	
50	Zudañez	Pirhua Mayu	Campaña de desparasitación y castración (Fondo rotatorio)	Pecuaria	03-05-10	3,750	175	415	1,400	500	1,200	24/05/10	24/06/10	32	Termino	
51	Zudañez	Pata Torocco	Campaña de desparasitación y castración (Fondo rotatorio)	Pecuaria	03-05-10	3,400	215	365	1,575	300	945	14/05/10	14/06/10	32	Termino	
71	Zudañez	Mayu Torocco	Capacitación a Líderes Viveristas en producción Fruticultura	Forestación	04-10-10	170	0	30	0	0	140	05/10/10	6/10/10	2	Termino	
72	Zudañez	Mayu Torocco	Ampliación e Implementación de viveros grupales frutícola-forestal	Forestación	27-10-10	9,575	1,460	1,969	2,387	1,200	2,559	01/11/10	1/2/11	93	Proceso	
73	Zudañez	Pata Torocco	Ampliación e Implementación de viveros grupales frutícola-forestal	Forestación	27-10-10	24,317	4,100	4,390	6,794	2,400	6,673	01/11/10	1/2/11	93	Proceso	
78	Zudañez	Pata Torocco	Campaña Forestal	Forestación	05-11-10	23,400	4,400	3,525	10,675	300	4,500	13/11/10	18/12/10	36	Termino	
79	Zudañez	Pirhua Mayu	Campaña Forestal	Forestación	05-11-10	15,095	5,400	2,145	2,250	300	5,000	10/11/10	7/12/10	28	Termino	
84	Zudañez	Mayu Torocco	Implementación de huerto hortícolas	Agrícola	24-11-10	18,720	1,600	13,300	8,640	2,000	19,130	01/12/10	28/2/11	90	Proceso	
88	Zudañez	Pata Torocco	Implementación de huerto hortícolas	Agrícola	24-11-10	46,070	3,500	5,240	2,970	1,000	7,910	01/12/10	28/2/11	90	Proceso	
96	Zudañez	Pata Torocco	Mejoramiento de la calidad de vida y Fortalecimiento del grupo de mujeres, mediante la implementación de Oficinas (Costura)	Oficio	19-01-11	20,203	400	3,321	1,263	500	14,719	01/02/11	1/4/11	60	Proceso	
97	Zudañez	Mayu Torocco	Mejoramiento de la calidad de vida y Fortalecimiento del grupo de mujeres, mediante la implementación de Oficinas (Costura)	Oficio	19-01-11	36,594	400	3,746	16,421	500	15,527	01/02/11	1/5/11	90	Proceso	
121	Zudañez	Mayu Torocco	Captação de Agua para el Aprovechamiento Optimo del Recurso para Riego del Vivero Comunal y Consumo	Forestación	19-09-11	23,415	7,902	3,891	2,630	1,500	7,492					
122	Zudañez	Pata Torocco	Captação de Agua para el Aprovechamiento Optimo del Recurso para la Construcción de Sistemas de Micro riego	Agrícola	19-09-11	46,070	7,253	5,527	10,010	1,250	22,030					
123	Zudañez	Pata Torocco	Evaluación de obras de conservación de suelo	Agrícola		200	0	0	0	0	200	13/05/11	13/05/11	1	Termino	
124	Zudañez	Mayu Torocco	Evaluación de obras de conservación de suelo	Agrícola		200	0	0	0	0	200	14/05/11	14/05/11	1	Termino	
125	Zudañez	Mayu Torocco	Elaboración de estudio básico	Agrícola		540	0	0	0	0	540	22/06/11	24/06/11	3	Termino	
126	Zudañez	Pirhua Mayu	Intercambio del experiencia de apicultura	Pecuaria												
139	Zudañez	Cerezal	Capacitación de agua para el Aprovechamiento Optimo del Recurso para la Construcción de sistema de Micro riego	Agrícola	26-09-11	135,041	13,034	27,593	35,490	3,700	55,224				1	
140	Zudañez	Pata Torocco	Plantación Forestal	Forestación	25-10-11	29,560	3,300	6,900	12,360	600	6,400					
141	Zudañez	Cerezal	Plantación Forestal	Forestación	25-10-11	27,750	5,300	4,300	8,750	600	8,800					
142	Zudañez	Mayu Torocco	Mejorar la cobertura vegetal de los suelos en la comunidad	Agrícola	25-10-11	22,200	2,300	2,300	11,000	600	6,000				1	
207	Zudañez	Pirhua Mayu	Implementación de Microsistema de riego y Huertos Hortícolas	Riego y Agua	01-10-12	141,888	27,657	14,716	26,898	11,170	61,447	01/10/12	30/12/12			
208	Zudañez	Pirhua Mayu	Implementación de parcelas con construcción de obras de conservación de suelo de abonos verdes	Agrícola	01-10-12	5,512	2,212	500	2,000	200	600	01/10/12	30/11/12			
209	Zudañez	Pata Torocco	Implementación de parcelas con construcción de obras de conservación de suelo de abonos verdes	Agrícola	01-10-12	8,458	3,578	500	2,000	200	2,180	01/10/12	30/11/12			
210-1	Zudañez	Pata Torocco	Intercambio de forestación y frutales	Agrícola	01-10-12	3,424	438	438	0	0	2,548	18/10/12	19/10/12			
210-2	Zudañez	Mayu Torocco	Intercambio de forestación y frutales	Agrícola	01-10-12	0	0	0	0	0	0	18/10/12	19/10/12			上記の1/2
211	Zudañez	Cerezal	Implementación de parcelas con construcción de obras de conservación de suelo de abonos verdes	Agrícola	01-10-12	12,488	4,638	500	2,500	200	4,650	01/10/12	30/11/12			
237	Zudañez	Pata Torocco	Implementación de Microsistema de riego y Huertos Hortícolas	Riego y Agua	14-06-13	67,608	13,121	11,415	13,485	3,100	26,487	01/07/13	30/09/13			
238	Zudañez	Cerezal	Capacitación e implementación de un taller de costura para la organización de mujeres	Oficio	14-06-13	66,775	0	14,041	30,909	900	20,925	01/07/13	30/09/13			
239	Zudañez	Mayu Torocco	Reforzamiento a las capacidades en oficina de la organización de mujeres	Oficio	14-06-13	17,040	0	520	11,520	500	4,500	01/07/13	30/08/13			
260	Zudañez	Pirhua Mayu	Construcción de cubiertas en 3 tanques	Riego y Agua	05-07-13	5,481	0	120	800	0	4,561	15/07/13	25/07/13			

No.	Municipio	Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total	Contribución			Período		Estado		
							Gobernación	Municipio	Comunidad	JICA	De		A	Tiempo
261	Zudáñez	Mayu Torcoco y Pat	Fortalecimiento s los viveros	Forestación	05-07-13	43,687	0	15,602	11,335	0	16,750	15/07/13	15/09/13	
						0								
						0								
						0								
	Zudáñez					949,440	132,532	165,924	246,988	38,220	365,826			
						100%	14%	17%	26%	4%	39%			

	Riego/va	Agrícola	Ganadería	Forestación	Oficio	Total
242,254.00	25.52	242,254.00	0	147,729	0	242,254.00
167,633.50	17.66	167,633.50	5,481	41,120.00	3,890.00	66,775.00
309,553.00	32.60	309,553.00	67,608	1,02,822	3,400.00	53,634.00
229,989.54	24.22	229,989.54	141,888	6,052.00	49,820.00	20,203.00
949,440.04	100.00	949,440.04				0.00

2013年 各村へのJICA負担分 70000Bs

Anexo 11 Lista de Mini Proyecto y Proyecto Piloto de Cambio Rural

No.	Municipio	Comunidad Comunidad	Nombre de Mini Proyecto	Categoría	Fecha aprobada	Costo total Costo total	Contribución				Período		Estado					
							Gobernación	Municipio	Comunidad	Universidad	JICA	JICA		De	A	Tiempo		
6	Mojoecoya	Chiquerillos	Sistema de micro riego	Riego y Agua	09-12-09	23,668	0	3,159	7,160	0	13,349	05/12/09	30/03/10	116	Termino			
52	Mojoecoya	Río Thocoro	Campaña de desparasitación y castración (Fondo rotatorio)	Pecuaria	17-05-10	4,394	204	630	2,000	300	1,260	21/05/10	21/06/10	32	Termino			
53	Mojoecoya	Rumi Caracha	Campaña de desparasitación y castración (Fondo rotatorio)	Pecuaria	14-06-10	3,252	192	315	1,600	200	945	11/06/10	11/07/10	31	Termino			
69	Mojoecoya	Río Thocoro	Capacitación a Líderes Viveristas en producción Fruticultura	Forestación	04-10-10	170	0	30	0	0	140	05/10/10	6/10/10	2	Termino			
70	Mojoecoya	Chiquerillos	Capacitación a Líderes Viveristas en producción Fruticultura	Forestación	04-10-10	170	0	30	0	0	140	05/10/10	6/10/10	2	Termino			
76	Mojoecoya	Chiquerillos	Campaña Forestal	Forestación	04-11-10	17,888	2,675	5,600	6,368	600	2,645	18/11/10	22/12/10	35	Termino			
77	Mojoecoya	Río Thocoro	Campaña Forestal	Forestación	04-11-10	13,566	3,330	2,610	2,305	1,200	3,921	18/11/10	15/2/11	90	Proceso			
94	Mojoecoya	Río Thocoro	Ampliación e implementación de viveros grupales frutícola-forestal Mejoramiento de la calidad de vida y fortalecimiento del grupo de mujeres, mediante la implementación de costura, para la venta de la organización de mujeres de la comunidad	Oficio	17-01-11	50,324	2,400	6,260	18,430	2,500	20,734	08/02/11	22/7/11	165	Proceso			
95	Mojoecoya	Rumi Caracha	Implementación de apiñeros para la producción de miel	Pecuaria	17-01-11	41,765	3,300	8,600	3,750	3,300	22,615	21/02/11	27/12/11	310	Proceso			
127	Mojoecoya	Chiquerillos	Construcción Sistema de Riego	Riego y Agua	11-08-11	74,088	16,484	15,793	14,715	3,000	24,096	15/08/11	22/01/12	161	Proceso			
128	Mojoecoya	Rumi Caracha	Construcción Sistema de Riego	Riego y Agua	11-08-11	75,633	13,807	15,070	11,620	1,500	33,636	22/08/11	20/12/11	121	Proceso			
129	Mojoecoya	Chiquerillos	Evaluación de obrasde conservación de suelo	Agrícola	11-08-11	180	0	0	0	0	180	19/08/11	20/08/11	2	Termino			
130	Mojoecoya	Casa Grande	Elabacion de estudio basico	Agrícola	22-08-11	200	0	0	0	0	200	23/08/11	23/08/11	1	Termino			
143	Mojoecoya	Casa Grande	Plantacion Forestal	Forestación	25-10-11	29,500	800	6,400	16,000	300	6,000	04/07/12	20/11/12	1				
194	Mojoecoya	Río Thocoro	Implementacion de sistema de riego y horti-agricola	Riego y Agua	04-07-12	67,402	6,124	12,410	20,272	4,200	24,396	04/07/12	5/12/12					
194	Mojoecoya	Casa Grande	Implementacion de sistema de riego y horti-agricola	Riego y Agua	04-07-12	101,616	16,674	22,239	13,344	9,440	39,919	04/07/12	5/12/12					
242	Mojoecoya	Río Thocoro	Fortalecimiento la las capacidades en oficinas de la organización de mujeres y la implementación de HHF para la generación de ingresos en la comunidad de Río Toccoo	Oficio	24-06-13	22,180	0	1,000	11,520	1,000	8,660							
275	Mojoecoya	Río Thocoro	Fortalecimiento del vivero forestal fruticola	Forestación	12-07-13	11,871	0	0	6,202	1,900	3,769	15/07/13	15/09/13					
276	Mojoecoya	Río Thocoro	Dotar de Agua para Riego	Riego y Agua	12-07-13	36,541	0	0	7,125	935	28,481	15/07/13	25/08/13					
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
						0												
17	Mojoecoya					574,407	66,390	100,146	142,411	30,375	235,086							
							100%	12%	17%	25%	5%	4%						
							0	0	0	0	0	0						
							22.86	131,316.00	200	0.00	29,500.00	0.00	131,316.00					
							17.08	98,106.00	97,756	0	41,765.00	170.00	139,691.00					
							33.58	192,881.35	103,943	0	4,393.50	43,495.00	72,504.00	224,335.35				
							26.48	152,104.00	75,633	180	3,252.00	0.00	79,065.00					
							100.00	574,407.35					574,407.35					

	Riego y Agua	Pecuaria	Forestación	Oficio	Total
Casa Grande	101,616	200	0	29,500	131,316
Chiquerillos	97,756	0	41,765	170	139,691
Río Thocoro	103,943	0	4,393.50	43,495	224,335.35
Rumi Caracha	75,633	180	3,252	0	79,065
<b>Total</b>	<b>378,948</b>	<b>380</b>	<b>46,158.50</b>	<b>73,165</b>	<b>574,407.35</b>

2013年 各村へのJICA負担分 70000Bs

70,592 0 1,000 24,847 3,835 40,910



## ANEXO 12. Matriz de la Evaluación

### APENDICE 12-1: Logro del Proyecto

Artículos de la Evaluación	Información y Datos Necesarios (Indicadores)	Fuente de la información	Encuentros del Estudio
<b>Logro del Objetivo General (Perspectiva)</b>			
Se extiende el modelo de desarrollo rural y mejora la calidad de vida de pequeños agricultores de la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.	<ol style="list-style-type: none"> <li>Se están implementando proyectos de desarrollo rural integral aplicando el modelo en más de 72 comunidades de la zona norte del Departamento de Chuquisaca.</li> <li>En el estudio de encuesta de muestreo en las comunidades donde se utilizó el modelo de desarrollo rural, más de 70 % se consideran que han mejorado nivel de vida comparando antes de utilizar el modelo de desarrollo rural</li> </ol>	<p>Datos de municipios en la zona norte de Chuquisaca</p> <p>Resultado de estudio de encuesta de muestreo</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Los municipios que no han participado en el proyecto han solicitado a USFX la continuidad del proyecto.</li> <li>En las visitas realizadas durante el estudio de evaluación final, todos los encuestados manifestaron que sienten la mejora de la calidad de vida o tienen expectativa en la misma.</li> </ul>
<b>Logro del Propósito del Proyecto</b>			
Se establece el modelo (*1) y el sistema (*2) para la implementación sostenible del desarrollo rural a través de la implementación de los proyectos de desarrollo rural en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.	<ol style="list-style-type: none"> <li>Se ha ejecutado más de un caso de excelencia que puede proponer como el modelo de desarrollo rural en cada municipio</li> <li>Se ha asignado los recursos humanos necesarios para implementar el modelo de desarrollo rural en la Gobernación, la USFX y los municipios</li> <li>Se ha establecido una sección para la investigación, interacción y formación de recursos humanos en la facultad de Ciencias Agrarias de USFX que apoya las actividades de desarrollo rural integral con la asignación de personal necesario</li> </ol>	<p>Registro del proyecto</p> <p>Información organizacional de municipios y Gobernación</p> <p>Datos de USFX</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Están seleccionando casos de buenas prácticas en los mini-proyectos.</li> <li>Está previsto que los docentes y el personal de USFX que han estado involucrados en el proyecto participarán en los proyectos a ser implementados por el Instituto de Desarrollo Rural.</li> <li>La gobernación está realizando por su cuenta proyectos de desarrollo rural y ha contratado a agrónomos necesarios.</li> <li>El Instituto de Desarrollo Rural empezará a operar a partir de 2014, utilizando las instalaciones existentes en Villa Carmen, Ballinca.</li> <li>Está previsto que la construcción de nuevas instalaciones del instituto en Yotala terminará en 2015.</li> <li>USFX piensa asignar a los docentes de CR al Instituto de Desarrollo Rural.</li> </ul>
<b>Artículos de la Evaluación</b>			
<b>Logro de los Resultados</b>			
1. Se ha formado el recurso humano como núcleos para el desarrollo rural integral en las comunidades y	1. Están capacitados 10 docentes de USFX, 8 técnicos de la Gobernación, 9 extensionistas de los municipios, 9 planificadores de los municipios, y los líderes de las comunidades (al menos 10% de beneficiarios)	Registro del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Los docentes de la universidad, 8 técnicos de la gobernación, 9 extensionistas de los municipios, 9 planificadores de los municipios están capacitados.</li> <li>El líder se define como persona que lleva a la práctica lo aprendido en la capacitación. Respecto a Zona 1, se han formado</li> </ul>

<p>los municipios, la Gobernación y la USFX.</p>	<p>2. Se ha elaborado material didáctico y una currícula reflejando los resultados de la ejecución de los cursos.</p> <p>3. En una sección para la investigación, interacción y formación de recursos humanos de USFX, se ha ejecutado 1 curso para técnicos y 2 cursos para agricultores por año.</p>	<p>Registro del Proyecto</p>	<p>47 Ilderes.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•Respecto a Zonas 2 y 3, están en proceso de recopilación de datos y análisis.</li> <li>•Se han elaborado materiales didácticos de 18 temas.</li> <li>•Respecto a la currícula, se elaborará de acuerdo con actividades a ser desarrolladas en el Instituto de Desarrollo Rural.</li> </ul>
<p>2. Se ha establecido un modelo de proceso de desarrollo que abarcan desde la formación de planes para la implementación de desarrollo rural a través de implementación basadas en los planes del desarrollo rural</p>	<p>1. Las 36 comunidades de 9 municipios cuentan con su propio plan de desarrollo rural.</p> <p>2. Se está ordenado una lista de las técnicas que pueden utilizar para la conservación de Recursos Naturales y el mejoramiento de vida familiar basando resultado del monitoreo y la evaluación de cada mini proyecto y proyecto piloto.</p> <p>3. Ha sido sistematizado el ciclo de desarrollo con la metodología de planificación participativa, ejecución, monitoreo y evaluación de las actividades de desarrollo rural integral.</p>	<p>Registro del Proyecto</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Puesto que el Instituto de Desarrollo Rural no está en operación todavía, la capacitación ha sido realizada por el proyecto.</li> <li>•Respecto a la capacitación de agricultores, se han llevado a cabo 211 cursos de capacitación en 21 comunidades durante 5 años del proyecto (2009-2013). Por falta de datos, no se ha podido confirmar el número de participantes en los cursos organizados al inicio del proyecto. Según datos existentes, el número total de participantes ha sido 2635.</li> <li>•Respecto a la capacitación de técnicos, se han llevado a cabo 24 cursos de capacitación con la participación total de 287 personas.</li> <li>•36 comunidades objeto del proyecto tienen elaborado el plan de desarrollo rural. Pero el plan no es quinquenal sino anual.</li> </ul>
<p>3. Los municipios, la Gobernación y la USFX obtienen recursos económicos de fuentes internas y externas para la implementación del desarrollo rural.</p>	<p>1. Han sido sistematizados los procesos para la obtención de los fondos</p> <p>4. Extensionistas, planificadores de los municipios y los encargados de la Gobernación y USFX comprenden el trámite de solicitud de financiamiento.</p> <p>5. En 36 comunidades los documentos de solicitud de financiamiento están elaborados</p>	<p>Registro del Proyecto</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•El borrador del manual está terminado. Se imprimirá en marzo de 2014.</li> <li>•Se encuentran en proceso de elaboración. Está previsto que el primer borrador estará terminada el 20 de diciembre de 2013 y se imprimirá en febrero de 2014.</li> </ul>
		<p>Registro del Proyecto</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Se ha elaborado el manual para la tramitación de obtención de fondos.</li> <li>•Los responsables de las zonas y los técnicos de municipios prepararon los formularios y documentación y dieron la explicación al presentar la solicitud.</li> <li>•Se realizaron 20 reuniones para la explicación general y la instrucción sobre la elaboración de documentos.</li> </ul>
		<p>Registro del Proyecto</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•36 comunidades presentaron por lo menos una vez la solicitud para obtener los fondos.</li> </ul>

	adecuadamente para los proyectos de desarrollo rural integral 6. En 36 comunidades de 9 municipios invierten los recursos financieros obtenidos.	Registro del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 14 proyectos obtuvieron fondos a través de la solicitud presentada con el apoyo del proyecto y fueron ejecutados.</li> <li>• Se convocó el comité de coordinación una vez durante el período del proyecto y participaron 6 municipios.</li> <li>• Están haciendo preparativos para la construcción del Instituto de Desarrollo Rural de USFX bajo el liderazgo del rector y terminará la construcción en 2015.</li> <li>• El comité de coordinación no ha sido convocado.</li> </ul>
4. Municipios, Gobernación y USFX han operado adecuadamente el comité de coordinación para precisar el lineamiento de desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca.	1. Se ha establecido el comité de coordinación para realizar el desarrollo rural integral en la zona norte del Departamento de Chuquisaca, y están acordado el rol de los municipios, Gobernación y USFX. 2. El comité de coordinación se reúne periódicamente para consultar y coordinar las actividades de desarrollo rural integral	Entrevista con rector  Entrevista con los expertos japoneses.	
Implementación de inversión	¿Ha sido la inversión implementada oportunamente? Parte japoneses(expertos, equipos, capacitación), Parte Boliviana(contraparte, salas de trabajo, equipos)	Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Parte japonesa: La inversión de parte japonesa ha sido implementada en término general oportunamente. Sin embargo, hubo casos de que no se pudo desembolsar el dinero aunque estaba presupuestado como el caso del equipo para análisis de suelo.</li> <li>• Parte boliviana: La inversión de parte de USFX ha sido implementada en término general oportunamente. La gobernación y los municipios han aportado como insumo el cemento, etc. Sin embargo no existen documentos que demuestren su insumo cuantitativamente.</li> <li>• Parte del proyecto: No pocas veces la adquisición de equipos y materiales requirió más tiempo o más dinero de lo previsto, lo cual acarreó el retraso en la ejecución de actividades.</li> <li>• Algunos municipios han asegurado el presupuesto propio y ejecutado el proyecto.</li> </ul>
Condición previa	¿Ha cambiado la condición previa: "Los 9 municipios contratarán por lo menos 1 extensionista cada uno a su propia cuenta"?	Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	

## ANEXO 12-2: Proceso de la Implementación

Artículos de la Evaluación	Información y Datos Necesarios (Indicadores)		Encuentros del Estudio
	Información y Datos Necesarios categoría mayor	Información y Datos Necesarios categoría menor	
¿Qué tipo de modificación o corrección se ha introducido en el plan o el sistema de ejecución para lograr los resultados		¿Qué problemas han sido detectados durante la ejecución del proyecto y cómo se han solucionado?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Ante el cambio de las circunstancias, los expertos japoneses, USFX y los municipios están desarrollando el proyecto aprovechando los resultados de la cooperación técnica anterior.</li> </ul>

previstos?	¿Se han incorporado actividades adicionales? En caso afirmativo, las razones de su incorporación	Confirmar la existencia de actividades adicionales.	• Están desarrollando actividades de acuerdo PDMver3 y "las 10 recomendaciones" de la Misión de Evaluación de Término Medio. • Se están manifestando los efectos concretos a través de la mejora de la calidad de vida (generación de ingresos, mejora de la dieta diaria, la reducción de emigración temporal por trabajo). Por consiguiente, los métodos de transferencia tecnológica del proyecto han sido adecuados.
¿Ha sido adecuado el método de transferencia tecnológica?	¿Ha sido adecuado el método de transferencia tecnológica para lograr los resultados? En caso de haber método inadecuado, indique en qué área y en qué sentido se considera inadecuado. ¿Cómo se ha solucionado?	Confirmar la relación de confianza, la comunicación y las opiniones de agricultores.	
¿Ha sido adecuada la apropiación del proyecto por parte de las entidades ejecutoras del país receptor?	¿Ha sido adecuada la asignación de contrapartes? ¿Ha sido adecuada la provisión presupuestaria?	¿Ha sido asignado el personal adecuado como contraparte? Confirmar la situación presupuestaria de las organizaciones relacionadas.	• La asignación de contrapartes de USFX y los municipios han sido adecuados. • Aunque ha habido casos de retraso a causa de la tardanza en la adquisición de equipos y materiales, la provisión presupuestaria ha sido en general apropiada. • Los mini proyectos han arrojado los resultados tangibles y los agricultores también los aprecian favorablemente. El hecho de que algunas comunidades que no han participado en el proyecto estén solicitando el proyecto demuestra el alto nivel de interés por el mismo.
¿Ha sido pertinente el sistema de gestión del proyecto?	¿Tienen los municipios de las áreas objeto del proyecto, la universidad y la población de comunidades el alto nivel de reconocimiento y participación en el proyecto? ¿Se ha convocado CCC en momentos necesarios y han sido abordados los temas necesarios? ¿Ha funcionado satisfactoriamente el mecanismo de comunicación de las partes que integran el proyecto (expertos, personal de organizaciones relacionadas y contrapartes) a través de reuniones periódicas, etc. ? ¿Cómo se ha monitoreado el avance del proyecto?	Confirmar el grado de involucramiento de las organizaciones relacionadas en el proyecto. Confirmar la frecuencia de la reunión de CCC, temas abordados y la conclusión. Confirmar el reparto del rol correspondiente a cada organización y el sistema de dirección. ¿Existe el sistema de monitoreo y evaluación para mini proyectos y proyectos piloto?	• Se celebraron 4 reuniones de CCC. • La comunicación interna del equipo del proyecto ha sido en general buena. • Las actividades basadas en PDM se dividen en 4 áreas que no están asociadas entre sí y cada una de las áreas por separado ha realizado anualmente "planificación-ejecución-monitoreo". • Se ha realizado en torno a los expertos japoneses la recopilación y el análisis de los mini proyectos y la asociación de 4 áreas para sistematizar la información del proyecto.

	¿Ha sido fluida la comunicación entre los expertos, organizaciones contraparte y el personal contraparte?	Confirmar la frecuencia de reuniones y temas abordados.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No ha habido problemas de la comunicación interna del proyecto, ya que se ha celebrado mensualmente la reunión general y semanalmente la reunión de los encargados de las áreas para compartir la información contribuyendo a solucionar los problemas.</li> <li>• Se ha informado semanalmente a JICA de la situación del proyecto.</li> </ul>
	¿Ha sido fluida la comunicación y la cooperación con la oficina de JICA Bolivia y JICA matriz?	Confirmar el estado de comunicación entre el personal relacionado con el proyecto y JICA.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• El proyecto ha brindado el apoyo logístico al proyecto de riego ejecutado por Dinamarca.</li> <li>• Hubo ocasión de participar puntualmente como entrenador en el proyecto relacionado con riego ejecutado por GLZ.</li> </ul>
Relación con otros cooperantes	¿Cooperan con otros donantes? ¿Hay duplicidad en la cooperación?	Confirmar la colaboración con otros donantes.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Factor favorable: Participó en las ferias de las comunidades, contribuyendo a socializar las actividades del proyecto.</li> </ul>
Los factores desfavorables y favorables		Confirmar los factores desfavorables y favorables.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se aplican como criterios de evaluación los 5 ítems de DAC (pertinencia, efectividad, eficiencia, impacto, sostenibilidad) y se lleva a cabo el proceso de evaluación por medio de entrevistas y visitas a los sitios del proyecto. Todo el proceso de evaluación se realizará en forma participativa con la participación de todos.</li> <li>• El proceso se llevará a cabo en torno a ingenieros agrónomos o el líder del proyecto.</li> </ul>
¿Han tomado medidas adecuadas para atender las recomendaciones de la evaluación de término medio?	¿Cuáles son los parámetros concretos en los criterios de la evaluación del proyecto piloto? ¿Han terminado la transferencia tecnológica?	Confirmar las medidas tomadas y los aspectos mejorados con respecto a las recomendaciones de la evaluación de término medio.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se han tomado medidas respecto a las recomendaciones que el proyecto ha podido atender.</li> <li>• Por otro lado, no han sido atendidas suficientemente las recomendaciones que tienen que ver con los factores externos como el establecimiento del comité de coordinación.</li> </ul>
	¿Disponen de medidas para encarar el descontento que la población puede manifestar al finalizar mini proyectos y proyectos pilotos?	Confirmar las medidas tomadas y los aspectos mejorados con respecto a las recomendaciones de la Evaluación de Término Medio.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• El proyecto ha alcanzado el objetivo y terminará como está programado.</li> <li>• Por otro lado, como el proyecto ha tenido buena reputación, otros donantes y ONG tienen la intención de continuar el proyecto.</li> <li>• No han conversado con VIPFE.</li> </ul>
¿Es necesario continuar y desarrollar el proyecto?	En vista de la situación actual, ¿es necesario continuar y desarrollar el proyecto?	Confirmar las opiniones de los expertos japoneses.	
	¿Tienen algún arreglo o acuerdo con VIPFE sobre el futuro del proyecto?	Confirmar con los expertos japoneses.	

## ANEXO 12-3: 5 Ítems de Evaluación Pertinencia:

Artículos de la Evaluación		Información y Datos Necesarios (Indicadores)	Fuente de la información	Encuentros del Estudio
Artículo mayor categoría	Artículo menor categoría			
¿Concuerdan el objetivo del proyecto y el objetivo superior del proyecto con las necesidades de las áreas objeto del proyecto y de la sociedad?	¿Concuerda el proyecto con la necesidad de establecer el modelo de desarrollo rural y el sistema de ejecución en la región norte del departamento de Chuquisaca?	Plan de Desarrollo Agrícola de Bolivia, documentos relacionados.	Información relacionada	<ul style="list-style-type: none"> <li>Las áreas rurales del departamento de Chuquisaca son uno de los lugares más pobres donde el índice de pobreza alcanza el 90%. Como consecuencia de la agricultura extractiva que se ha practicado en estas áreas, se han agravado los problemas de la erosión de suelo y el agotamiento de recursos hídricos, lo que ha conllevado la disminución de la productividad agrícola y sumido a la población en la indigencia. Por ello, el proyecto concuerda con las necesidades de las áreas objeto del proyecto.</li> </ul>
¿Concuerda con las necesidades del grupo de la población objeto del proyecto?	Grupo objeto en PDM: ¿Cuáles son las necesidades de las 36 comunidades en la región norte del departamento de Chuquisaca?	Confirmar las necesidades del grupo objetivo.	Registro del Proyecto Entrevista con el personal del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Las necesidades del grupo objeto son desarrollar el sistema de riego, y mejorar la capacidad productiva a través de la recuperación de suelo y el mejoramiento de la tecnología agrícola para lograr mejorar la calidad de vida.</li> <li>Los agricultores del grupo objeto enfrentan los problemas de la erosión de suelo y el agotamiento de recursos hídricos que han conllevado la disminución de la productividad agrícola y sumido a la población en la indigencia.</li> </ul>
¿Concuerda el proyecto con las políticas de desarrollo de Bolivia?	¿Es considerado como un tema prioritario el desarrollo del sistema de ejecución de desarrollo rural en el Plan Nacional, etc.?	Confirmar si el proyecto concuerda con el plan nacional del gobierno boliviano.	Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Agenda Patriótica 2025 de Bestablece como objetivo el mejoramiento de la productividad. Asimismo, el Plan de Desarrollo del Sector Agropecuario (2011-2015) sostiene las políticas tendientes al acceso al agua de riego, excedentes agropecuarios sostenibles y la generación de ingresos.</li> </ul>
¿Concuerda el proyecto con las políticas de asistencia japonesa y plan de ejecución de JICA para el país?	¿Concuerda con los lineamientos de ayuda para Bolivia?	Después del comienzo del proyecto. Confirmar si no ha habido cambios en los temas prioritarios de ayuda japonesa para Bolivia y el plan de implementación de proyectos para Bolivia.	Documentos relacionados	<ul style="list-style-type: none"> <li>Se consideran prioritarios "Cooperación en el desarrollo social para la reducción de la pobreza" y "Cooperación para el desarrollo económico sostenible" como el pilar de la cooperación, dando un peso específico a la cooperación relacionada con el desarrollo regional desde la visión de la reducción de la pobreza. No ha habido cambios en estos lineamientos después del comienzo del proyecto.</li> </ul>



Relevancia del acercamiento			
¿Han sido adecuados el enfoque del proyecto y la selección de las áreas objeto del proyecto?	Confirmar si hay modelos que sirven de referencia al realizar el proyecto.	Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Las áreas objeto han sido seleccionadas por la parte boliviana. Las áreas seleccionadas están localizadas en el alrededor de las áreas urbanas y no cuentan con las infraestructuras básicas como agua, luz etc. y se considera que la selección ha sido adecuada.</li> <li>Dadas las grandes extensiones geográficas de las áreas objeto y por la necesidad de dispersar las actividades y los recursos económicos en lugar de concentrarlos, los efectos son limitados. Pero el grupo de agricultores seleccionados como objeto del proyecto es el sector de extrema pobreza y ha sido correcta su selección como el grupo objeto.</li> <li>Respecto al impacto fuera del grupo objeto, la finca demostrativa ha ejercido el mayor impacto y se han dado muchos casos de que los agricultores que han visto "el cultivo en la terraza de banco + el sistema de riego + el cultivo de hortalizas" (el sistema conjunto se llama "Replica") en la finca demostrativa han imitado este sistema.</li> </ul>
¿Han sido adecuados la selección del grupo objeto y su magnitud?		Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	
¿Hay posibilidad de extender el impacto fuera del grupo objeto?	Confirmar si ha habido impacto fuera del grupo objeto.	Entrevista con el personal del Proyecto	



## Efectividad:

Artículos de la Evaluación		Información y Datos Necesarios (Indicadores)	Fuente de la información	Encuentros del Estudio categoría mayor
Artículo mayor	Artículo menor			
El logro de los resultados del proyecto	¿Es muy probable alcanzar el objetivo del proyecto? Se establece el modelo y el sistema para la implementación sostenible de desarrollo rural a través de la implementación de los proyectos de desarrollo rural en la Zona Norte del Departamento de Chuquisaca.?"	Confirmar el estado del logro del objetivo del proyecto.	Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	El estado del logro del objetivo del proyecto es como se indica abajo. Indicador 1: En proceso de selección de ejemplos excelentes de los mini proyectos. Indicador 2: USFX tiene previsto involucrar a los docentes y el personal que han participado en el proyecto en los proyectos a ser desarrollados por el Instituto de Desarrollo Rural. Por otro lado, la gobernanza está realizando por su cuenta el proyecto de desarrollo rural contratando a ingenieros agrónomos necesarios para sus actividades. Indicador 3: El Instituto de Desarrollo Rural está en construcción y terminará en 2015. Hasta entonces, las instalaciones existentes en Villa Carmen, Ballanca se utilizará como el Instituto de Desarrollo Rural.
<b>Relación de causa-efecto</b>				
¿Han contribuido los resultados del proyecto al logro del objetivo del proyecto?	¿Han sido suficientes los resultados para alcanzar el objetivo del proyecto? ¿Ha sido razonable la lógica de " Siempre y cuando se logren todos los resultados, alcanzará el objetivo del proyecto"?	Confirmar la coherencia de los resultados y el objetivo del proyecto.	Entrevista con las personas del Proyecto Documentos relacionados.	• El avance de los 4 resultados establecidos en el proyecto se ha traducido en el grado del logro del objetivo del proyecto. Por lo tanto, los resultados son coherentes lógicamente con el objetivo del proyecto.
¿Han influido las condiciones externas?	¿No han cambiado las políticas de las organizaciones relacionadas?	Confirmar las políticas de las organizaciones relacionadas.	Entrevista con las personas del proyecto, Documentos relacionados.	• Las políticas no han cambiado.
¿Hay factores que han contribuido al logro del objetivo aparte del proyecto?			Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	• Desde la visión de los agricultores, el proyecto ha brindado los efectos positivos a través de la generación de más ingresos, la mejora de la dieta diaria y la disminución de emigración temporal por trabajo. Esto ha hecho reforzar más el sentido de apropiación y permitido lograr los resultados más elevados.

## Eficiencia:

Artículos de la Evaluación		Información y Datos Necesarios (Indicadores)	Fuente de la información	Encuentros del Estudio
categoría mayor	categoría menor			
Grado de alcance de los Resultados				
¿Se podrá lograr los resultados?	¿Se han logrado los resultados según programado?	Comparación de los resultados con el plan. Existencia de factores desfavorables.	Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	• Hay un pequeño atraso en la elaboración de listas técnicas sobre algunos ítems. Pero se prevé que todas las listas estarán elaboradas hasta la finalización del proyecto. Por consiguiente, se puede evaluar que el proyecto está logrando los resultados según programado.
	¿Ha sido adecuado el nivel de los indicadores?	El grado de alcance en el momento de evaluación final.	Entrevista con las personas del Proyecto	• El nivel de indicadores establecido ha sido en general adecuado.
Relación entre Inversión, Actividades y Resultados				
¿Han sido adecuados la inversión en términos cualitativo y cuantitativo y el tiempo de localizar la inversión?	¿Han sido adecuados el número de expertos japoneses, la capacidad, y el tiempo y el período de envío?	Expertos japoneses enviados.	Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	• Aunque el volumen de trabajo ha tendido a ser ligeramente excesivo, el volumen, la calidad y el tiempo han sido en general adecuados.
	¿Han sido adecuados los tipos, la cantidad y el tiempo de entrega de equipos donados por el proyecto?	Equipos adquiridos.	Entrevista con las personas del Proyecto	• Se ha formulado 266 proyectos como mini proyectos y proyectos pilotos. Incluyendo el apoyo de la Embajada japonesa a través de los fondos de contrapartida de 2KR y la donación para proyectos comunales, así como la obtención de los fondos bolivianos de MiAgus, ect por la gestión de fondos, la inversión alcanza el monto considerable. Por lo tanto se juzga que la inversión y las actividades han sido suficientes. • Respecto al tiempo de implementación de inversión, el sistema de año fiscal japonés que inicia en abril ha causado siempre el descontento de la parte boliviana. • Aun cuando el cronograma del plan de inversión de ambas partes ha coincidido, solía tardar más de lo previsto en adquirir equipos y materiales (tenían que ser enviado desde Cochabamba porque no se conseguía en Sucre) o costar más dinero (error en estimación de costos, diseño erróneo, costo adicional de transporte, y capacitación) de lo programado. En muchas veces el retraso en la adquisición por parte de la gobernación y los municipios ha causado el retraso en la implementación general del proyecto. • En la segunda mitad del proyecto, se han restringido las actividades que requieren más tiempo para lograr los resultados (caprinos, ovinos, reforestación). Por esta razón en algunos casos no ha podido atender las necesidades locales.

	<p>¿Ha sido adecuado el número de becarios, el contenido de capacitación y el tiempo? (capacitación en Japón y en terceros países)</p> <p>¿Han sido adecuados el número de contrapartes, el tiempo de asignación y la capacidad?</p> <p>¿Ha sido adecuadas las oficinas, etc. en cuanto a la dimensión y la facilidad de uso?</p>	Becarios enviados	Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se han enviado 7 becarios para la capacitación en Japón y 4 becarios para la capacitación en terceros países.</li> <li>• La participación del rector de USFX en la capacitación en Japón ha sido sumamente efectiva para profundizar su comprensión y colaboración en el proyecto.</li> <li>• Ha sido en general adecuado.</li> <li>• Ha sido adecuado exceptuando el aparcamiento que está lejos.</li> </ul>
<p>¿Ha sido aprovechada la inversión suficientemente?</p>	<p>¿Han sido utilizados efectivamente los equipos donados?</p>		Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Los mini proyectos como medio de implementación del proyecto están condicionados, en base a la conversación directa con los beneficiarios, a que ellos mismos aporten una parte de insumos necesarios para garantizar la vida autónoma en el futuro. Puesto que hay aportes de los beneficiarios, tienen una fuerte apropiación.</li> <li>• No hubo</li> </ul>
<p>¿Han sido adecuadas las actividades programadas para generar los resultados?</p>	<p>¿No ha habido actividades innecesarias?</p> <p>¿No ha habido actividades necesarias no programadas?</p>		Registro del Proyecto Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Análisis de suelo: Se consideraba necesario analizar el suelo para la fertilización eficiente de suelo, pero no se ha podido adquirir el equipo de análisis por la cuestión de presupuesto.</li> </ul>
<p>¿Existen algunos resultados obtenidos a través de la coordinación con otros proyectos de JICA o la cooperación con otros donantes?</p> <p>¿Ha habido factores que han contribuido a elevar la eficiencia o han impedido la eficiencia?</p>	<p>¿Ha sido buena la estabilidad de contrapartes?</p>	Resultado de contrapartes asignados.	Registro del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participó como entrenador en el proyecto de riego ejecutado por JICA en coordinación con GIZ. Asimismo, brindó el apoyo logístico para el proyecto de riego ejecutado por Dinamarca.</li> <li>• En la primera mitad del proyecto sobre todo en 2010 recién iniciado el proyecto, hubo cambio frecuente de contrapartes, pero luego se ha reducido el cambio paulatinamente y se ha estabilizado.</li> </ul>

## Impacto:

Artículos de la Evaluación		Información y Datos Necesarios (Indicadores)	Fuente de la información	Encuentros del Estudio
categoria mayor	categoria menor			
La posibilidad de lograr el Objetivo General				
¿Es probable que se logre el objetivo superior del proyecto "Se extiende el modelo de desarrollo rural y mejora la calidad de vida de pequeños agricultores de la zona norte del departamento de Chuquisaca" en un plan de 3 a 5 años después de terminar el proyecto?			Registro del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Las comunidades del alrededor del proyecto están solicitando participar en el proyecto y algunas familias agrícolas han solicitado individualmente el apoyo para la construcción de terraza de banco. Aparte, la gobernación está realizando el proyecto similar a este proyecto. Estos hechos demuestran que el proyecto tiene el alto nivel de apreciación.</li> <li>Considerando que la gobernación está desarrollando el proyecto aplicando la misma metodología del proyecto para 7 u 8 comunidades en la misma zona, incluyendo algunas comunidades que participan en el proyecto, se puede entender que una organización que ha recibido y completado la transferencia tecnológica del proyecto está implementando el modelo de desarrollo rural.</li> <li>Por consiguiente, si se puede construir nuevamente el sistema de colaboración entre la gobernación y USFX, se podrá alcanzar más eficientemente el objetivo superior.</li> </ul>
¿Se contemplan medidas necesarias para alcanzar el objetivo superior?			Entrevista con los relacionados al proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>USFX tiene previsto establecer el Instituto de Desarrollo Rural para continuar el proyecto. Asimismo la gobernación también continuará el proyecto actualmente en ejecución, puesto que hay demandas fuertes por parte de las comunidades.</li> </ul>
Posibilidad de afectar la condición externa el alcance del objetivo superior.		No cambian las políticas nacionales de desarrollo rural en Bolivia.	Registro del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>El departamento de Chuquisaca tiene el índice de pobreza alto en el país. Por lo tanto mientras no se mejore drásticamente el entorno de vida de agricultores, se mantendrán las políticas agrícolas actuales y es improbable que la condición externa afecte negativamente el alcance del objetivo superior.</li> </ul>
<b>Impactos</b>				
Impactos en contrapartes	¿Ha cambiado o no la motivación o la conciencia sobre el trabajo?	¿Se ha producido el efecto positivo o negativo en el proyecto?	Entrevista con los relacionados al proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Se trata del modelo que los beneficiarios pueden implementar sosteniblemente haciendo los esfuerzos propios. Actualmente este modelo se está extendiendo más allá del grupo objeto del proyecto.</li> <li>Se ha podido confirmar que este hecho contribuye favorablemente a motivar a los contrapartes y no hay información de los efectos negativos.</li> </ul>
¿Ha habido el impacto fuera del grupo objeto?	¿Hay casos de que las actividades del proyecto han impactado fuera del grupo objeto?	Confirmar los impactos fuera del grupo objeto.	Expertos japoneses	<ul style="list-style-type: none"> <li>Las comunidades vecinas del grupo objeto están interesadas en los resultados del proyecto. Se han confirmado casos de que ellos reciben instrucción de los agricultores del grupo objeto o tratan de replicar por su cuenta la práctica observando los ejemplos del proyecto.</li> </ul>

		¿Hay áreas que han institucionalizado los proyectos de desarrollo rural aparte de la ciudad de Sucre?	Expertos japoneses	• Como etapa preparativa de la institucionalización, el borrador de Carta Orgánica de los 8 municipios hace mención de desarrollo rural.
<b>Otros impactos</b>				
	¿Hay otros impactos positivos o negativos?	Confirmar los impactos positivos y negativos desde la visión de medio ambiente, pobreza, género, étnica y socioeconómica.	Registro Proyecto del	• Hasta ahora no ha habido impactos negativos en los aspectos de género y etnia por las actividades realizadas. Más bien, hay muchos casos de que los trabajos perseverantes de las docentes universitarias y el grupo de mujeres locales han permitido la generación de nuevos ingresos a través de tejido en telar, cultivo de hortalizas, cosecha y venta de hongos, y contribuido a mejorar la condición de la mujer.
	¿Ha dado la implementación de mini proyectos impactos positivos o negativos en los aspectos de medio ambiente, pobreza, género, étnico y socioeconómico?		Registro Proyecto del	• Se han producido los impactos positivos como generación de ingresos, mejora de la dieta diaria, la disminución de emigración temporal por trabajo.

## Sostenibilidad:

Artículos de la Evaluación		Información y Datos Necesarios (Indicadores)	Fuente de la información	Encuentros del Estudio
categoría mayor	categoría menor			
Aspecto Político				
¿Seguirán ocupando la posición importante los temas del desarrollo rural y el fortalecimiento del sistema de ejecución en el Plan Nacional de Desarrollo y las políticas relacionadas?		Confirmar si el desarrollo rural y el fortalecimiento del sistema de ejecución seguirán siendo temas prioritarios después de finalizar el proyecto.	Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>Se prevé que continuará el apoyo por siguientes razones: que hay muchos agricultores indígenas en el departamento de Chuquisaca, que el gobierno actual considera importante apoyar a las familias agrícolas y además, que el proyecto tiene alto nivel de apreciación. Es posible implementar proyectos bajo el sistema actual sin necesidad de establecer legislación especial. Sin embargo si se logra el establecimiento permanente de instancia de desarrollo rural y el aseguramiento de presupuestos, se mejorará el nivel de sostenibilidad.</li> <li>Todos los contrapartes reconocen que es un proyecto excelente que ha logrado los resultados concretos. Lo prueba claramente el hecho de que otras comunidades que estaban fuera del proyecto están tratando de invitar el proyecto.</li> </ul>
¿Cómo se reconoce el proyecto en las organizaciones contraparte (ministerio de Desarrollo Rural y Tierra, gobernación de Chuquisaca, USFX, alcaldía de los 9 municipios)?			Entrevista con las personas del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>La gobernación ha iniciado por su cuenta el proyecto de desarrollo rural tomando como referencia el proyecto. USFX está</li> </ul>
Aspecto Político y Sistema				
¿Es alta o no la sostenibilidad en la coordinación entre las organizaciones contraparte (ministerio de Desarrollo Rural y Tierra, gobernación de Chuquisaca, USFX, alcaldía de los 9 municipios)?	El sistema de coordinación entre las	Confirmar la sostenibilidad institucional de las	Registro del Proyecto	<ul style="list-style-type: none"> <li>La gobernación ha iniciado por su cuenta el proyecto de desarrollo rural tomando como referencia el proyecto. USFX está</li> </ul>

<p>términos institucionales de "el modelo de desarrollo rural" y "el sistema de ejecución" que el proyecto pretende establecer?</p>	<p>organizaciones y la existencia del sistema que asegure la sostenibilidad de desarrollo rural.</p>	<p>organizaciones relacionadas.</p>	<p>tratando de establecer el sistema para implementar continuamente el modelo establecido por el proyecto. Se prevé que los municipios colaborarán con USFX o la gobernación en función de las circunstancias y es probable que el modelo de desarrollo rural establecido por el proyecto se sostenga por cada una de las organizaciones ejecutoras.</p>
<p>¿Disponen de reglamentos o leyes relacionados, o está previsto su desarrollo?</p>	<p>¿Continuarán las políticas relacionadas de el Plan Nacional de Desarrollo y el desarrollo rural?</p>	<p>Confirmar el desarrollo del Plan Nacional de Desarrollo y el desarrollo rural, etc.</p>	<p>El índice de pobreza suele elevarse en las áreas rurales, no solamente en el departamento de Chuquisaca sino también a nivel nacional. Considerando que hay muchas demandas de apoyo al desarrollo por parte de las comunidades rurales, se prevé que se mantendrán básicamente las políticas actuales de desarrollo rural.</p>
<b>Aspecto organizacional y financiero</b>			
<p>¿Existe la estructura organizacional en las organizaciones para aprovechar y desarrollar los resultados del proyecto? ¿Está asegurada la continuidad del personal?</p>	<p>¿Tienen la gobernación de Chuquisaca, USFX y los nuevos municipios la estructura organizacional y el personal necesario para la implementación sostenible de desarrollo rural?</p>	<p>Confirmar el sistema organizacional de las organizaciones relacionadas.</p>	<p>Respecto a la gobernación y los municipios, está regulado que el presupuesto se suspende al terminar el plan quinquenal y tiene que planificar o ejecutar otros proyectos para asegurar continuamente el presupuesto. Aunque no exista una organización que sucediera los resultados del proyecto de cooperación técnica, USFX está tratando de crear el Instituto de Desarrollo Rural. Por otro lado USFX no cuenta con el presupuesto para continuar actividades bajo la misma modalidad del Proyecto. • Considerando que la gobernación y los municipios, que son organizaciones contratante principales que tienen presupuesto para financiar actividades no tienen el conocimiento técnico acumulado, la cooperación tripartita complementaria es una herramienta para mejorar efectivamente la situación actual.</p>
<b>Aspecto Técnico</b>			
<p>¿Ha adquirido el personal de la organización contratante la capacidad de implementar "el modelo de desarrollo rural" del proyecto después de su finalización?</p>	<p>¿Es adecuado el nivel técnico adquirido por contratantes de la gobernación de Chuquisaca, USFX y los nuevos municipios? ¿Habría posibilidad de extender "el modelo de desarrollo rural" y "el sistema de ejecución" fuera las áreas del proyecto?</p>	<p>Confirmar el nivel de tecnología adquirida en el momento actual.</p>	<p>En cuanto a la tecnología de construcción, se aplica la tecnología que corresponde al nivel técnico del levantamiento, diseño y construcción en Bolivia y se emplean materiales y la ejecución de obra de uso general. Las organizaciones ejecutoras no tienen profesionales como personal fijo y suelen contratarlos según necesidad como contratación de tiempo definido (5 años como máximo, pero normalmente se renueva el contrato anualmente)</p>
<p>¿Es "el modelo de desarrollo rural" y "el sistema de ejecución" que propone el proyecto</p>	<p>Confirmar el nivel de tecnología adquirida en el momento actual.</p>	<p>Registro del Proyecto</p>	<p>Por las razones arriba mencionadas, es muy posible que el modelo se extienda a otras regiones de características similares. Pero respecto al Instituto de Desarrollo Rural que va a ser el receptor de la tecnología de este proyecto, se requiere el</p>



<p>la tecnología fácil de transferirse a otros municipios que no han sido objeto del proyecto?</p>				<p>presupuesto para reforzar experiencias como docentes, la capacidad técnica y desarrollar materiales didácticos y capacitación, etc. Estos presupuestos suelen llegar del Estado y la gobernación. Además, los que conocen mejor las necesidades de agricultores son los técnicos de los municipios que mantienen contacto directo con las comunidades locales. En vista de la situación, es necesaria una entidad que coordine USFX-gobernación-los municipios.</p>
<p>¿Existe el mecanismo para mantener los efectos de transferencia tecnológica cuando se dé el cambio sustancial del personal en la gobernación y los municipios por las elecciones?</p>	<p>La capacidad de gestionar y obtener fondos en la gobernación de Chuquisaca, USFX y los nueve municipios después de la finalización del proyecto.</p>		<p>Entrevista con las personas del Proyecto</p>	<p>• Mientras no se construya la relación de colaboración con USFX, institución en la que el personal se cambia menos por el resultado de las elecciones, no existe en la gobernación y los municipios el mecanismo de mantener la transferencia tecnológica cuando se dé el cambio sustancial del personal por el resultado de las elecciones.</p>
<p><b>Aspecto Financiero</b></p>				
<p>¿Disponen las organizaciones contrapartes de recursos económicos necesarios para aprovechar y desarrollar los efectos del proyecto o tienen la capacidad de gestionar y obtener fondos?</p>	<p>La capacidad de gestionar y obtener fondos en la gobernación de Chuquisaca, USFX y los nueve municipios después de la finalización del proyecto.</p>	<p>Estado presupuestario de parte boliviana.</p>	<p>Registro del Proyecto</p>	<p>• Respecto a la gobernación y los municipios, se desconoce por no disponer de datos sobre la situación presupuestaria. Mientras USFX cubrirá el gasto por su propio recursos como gastos corrientes y fondo del impuesto del hidrocarburo.</p>
<p>Otros</p>				
<p>¿Se mantiene adecuadamente los equipos donados? ¿Se prevé que se mantendrán adecuadamente después de finalizar el proyecto?</p>		<p>Confirmar el sistema de mantenimiento. Confirmar la provisión presupuestaria para el mantenimiento.</p>	<p>Entrevista con las personas del Proyecto</p>	<p>• Actualmente los vehículos del proyecto están bajo la administración de USFX y USFX asume los gastos de mantenimiento. Sin embargo está por decidir a qué organización contraparte se transfieren los vehículos después de finalizar el proyecto.</p>
<p>¿Se mantiene adecuadamente el sistema de riego construido en mini proyectos?</p>	<p>¿Se mantiene y opera el sistema de riego construido en mini proyectos?</p>	<p>Estado de operación y mantenimiento de las instalaciones en los municipios.</p>	<p>Entrevista con las personas del Proyecto. Registro del Proyecto</p>	<p>• Como es la propiedad de un grupo pequeño o de un individuo, se maneja de forma responsable.</p>
<p>¿Hay posibilidad de que la falta de consideración</p>	<p>¿Hay mini proyectos que están enfocados en la</p>	<p>Resultado de la selección de mini proyectos.</p>	<p>Entrevista con las personas del Proyecto.</p>	<p>• Cuando se trata de los equipos que requieren de repuestos por el desgaste de componentes, han ideado depositar agregando los gastos de mantenimiento además de las tarifas del uso. • No hay posibilidad de que sea el obstáculo para la sostenibilidad del proyecto por tratarse de un proyecto que favorece a la mujer, la</p>



<p>hacia la mujer, la gente pobre, la población socialmente vulnerable impidan los efectos sostenibles?</p>	<p>mujer, la gente pobre y la población socialmente vulnerable?</p>	<p>Contenido de mini proyectos.</p>	<p>Registro del Proyecto</p>	<p>gente pobre y la población socialmente vulnerable.</p>
<p>¿Hay posibilidad de que la falta de consideración ambiental impida los efectos sostenibles?</p>	<p>¿Se socializa la implementación de mini proyectos hacia la mujer, la gente pobre y la población socialmente vulnerable? ¿Se toma en cuenta la conservación ambiental al seleccionar mini proyectos? ¿Tienen los mini proyectos en ejecución la consideración ambiental?</p>	<p>Método de socialización de mini proyectos.  Criterios de selección de mini proyectos.  Criterios ambientales de mini proyectos.</p>	<p>Entrevista con las personas del Proyecto.  Entrevista con las personas del Proyecto.  Entrevista con las personas del Proyecto.  Entrevista con las personas del Proyecto.</p>	<p>•Está socializado suficientemente siendo el proyecto destinado a la mujer, la gente pobre y la población socialmente vulnerable.</p>
<p>¿Cuáles son los factores favorables y desfavorables que influyen en la sostenibilidad?</p>				<p>•El proyecto tiene como objetivo la reparación y la preservación ambiental a través de la conservación de suelo.  •El proyecto tiene como objetivo la reparación y la preservación ambiental a través de la conservación de suelo.  •Factor favorable: Que se ha conocido ampliamente que es un modelo de proyecto que logra los resultados concretos y las comunidades que no han sido seleccionadas como objeto del proyecto están solicitando activamente su implementación a USFX, la gobernación y los municipios. USFX, la gobernación y los municipios conocen muy bien la efectividad de este modelo de desarrollo rural y muestran positivamente la disposición a atender la demanda de las comunidades.  • Factor desfavorable: Más que los aspectos técnicos o presupuestarios, mientras que la gobernación, USFX y los municipios no trabajan seriamente la construcción de relaciones con vistas a la continuidad del proyecto, se teme que el proyecto no logre los resultados esperados sin poder aprovecharse de la efectividad de este modelo de desarrollo, cause la frustración a los agricultores y termine truncado.</p>

